滿洲日報

十月一日發行

發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　木村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

日滿合辦の航空會社 滿鐵側重役決定
石本、根橋、佐久間三氏

滿洲航空會社は最近の日滿合辦事業として近く開業する運びに至つたが、出資者は滿洲國政府、滿鐵および住友で社長には鄭垂氏、副社長には豫備役となつた航空兵大佐兒玉常雄大佐が當ることに決してゐる、しかして滿鐵は全資本金の相當額を持つ事となつてゐるので當然重役を出すべく目下人選中だが大體決定、二三日中には發表を見る筈、即ち取締役には石本憲治（鐵道部）及び根橋禎二（技術局）兩氏、監査役には佐久間章氏（監理部）を出ししかしてこれら三氏は滿鐵の他の投資會社における場合のごとく滿鐵に席を置いて兼任するわけで一般業務は專門家たる兒玉大佐以下が見る筈である、しかし本會社の設立計畫には滿鐵經濟調査會が重要な役割を演じて居り事業開始後は鐵道部とも密接な關係にあるので滿鐵も他の投資會社よりも大なる關心をもつてその發達に協力する方針である

我對滿政策の建直し
昨日七省次官會議で審議

【東京一日發】政府は滿洲國正式承認後に於ける我對滿政策の根本的建直しを期し卅日午後四時より霞ケ關の外務次官々邸に外務、陸軍以下七省次官その他關係局課長約三十名參集七省會議を開催

一、滿洲根本對策の樹立問題は前内閣當時三月十一日、各自で事變對策大綱を決したが滿洲國承認に伴ひ如何に右對策を變更すべきや

一、日滿の共存に必要な經濟統制を圖る上内地産業と滿洲産業との利害反する場合これを如何に調節するか

一、對滿恒久策を審議決定すべき基礎的委員會を内閣直屬とするが委員會の構成を如何にすべきや

等に就き三時間半に亘り腹藏なき意見交換午後七時半散會したが確聞するに同日は何等具體的決定を見るに至らなかつた模樣である

滿洲人たる意識を民衆に植えつける
實業政策は先づ「原料品生産」
張實業總長來連談

滿洲國協和會理事長、實業部總長張燕卿氏は協和會を代表して滿鐵首腦部と會見すべく、一日午前八時着急行で來連、ヤマトホテルに少憩の後前日夜來連してゐた協和會役員于靜遠、中野琥逸、山口重次、小澤開策および小山貞知の諸氏と共に十時二十五分滿鐵を訪れ八田副總裁、十河、山西兩理事と會談、同十一時二十分辭去した、

會見後、張燕卿氏は語る

今度の來連は、協和會の成立以來、滿鐵から色々世話になつたのでその御禮と、なほ今後も何分の援助を得たいことを頼むためで、八田副總裁その他の諸氏と胸襟を開いて語り合つた、協和會は今創業時代で、役員は百人ほどだが日々非常な勢ひで會員が殖えつゝある、目下のところではまだ僻遠の地まで及んでゐないが兵匪の平定するに伴ひ漸次奥地の縣城に役員を派遣して趣旨の普及につとめるつもりである、協和會の精神に關する文獻も日本文のものは段々できてゐるからこれを滿文に飜譯して徹底を圖る考へである、協和會の當面の事業として力を入れたいと思ふことは滿洲國民としての意識を人民の腦裡に確實に植えつけることである何分文化の度が低く

人民の多數は中華民國時代二十年の歴史も知らず今なほ宣統帝の時代だと思つてゐる始末だからなか／＼の大事業であるまた日本軍駐屯の意義などもよく知らせたいと思つてゐる、實業部の方の仕事も着々進捗してゐるから一、二箇月には滿洲國の實業政策を明示して實行に着手できやう、大體の方針として第一に農業、林業、鑛業その他一般の原料品の生産に主力を注ぎ、加工工業は第二段とし、重工業にはあまり觸れぬ考へである、たゞ滿洲國は創業の際とて、あらゆる政策の決定が、内治外交の全體と密接な關聯を持つからなか／＼複雜で大事業である

なほ張燕卿氏は一日はヤマトホテルに逗留二日夜歸北の豫定である

謝外交部總長

滿洲國外交部總長謝介石氏は協和會事務局長として一日午前八時大連着列車で實業部總長張燕卿氏と共に來連の筈であつたが謝總長は近く渡日の準備のため各方面との打合せの都合もあり遽に豫定を變更し來連を中止したが謝總長の出

鳩の旅立ち
清楚な標識をつけて けふ最初のスタート

さきに滿鐵に於て廣く募集せる特急第十一號、第十二號兩列車の名稱は既に發表された如く「鳩」と命名され時間改正の新ダイヤグラムに代り一日午前九時下り「鳩」號列車は滿鐵本社の加藤宣傳部長奥村旅客係を始め稻川大連驛長等に見送られ華やかにその最初のスタートを切つた

この日新生の鳩號列車は最後部展望車デッキに直徑約二尺五寸大の圓板に「はと」と平假名とローマ字の金文字を浮かせ、コバルトの清澄な座に快翔する白鳩の列車標を附して今まさに飛び出さんとする鳩そのもの、如き清楚な姿である

定刻正午前九時大連機關區金子機關手の操車する「鳩號」は西田列車專務の發車合圖と共にいさぎよくすべり出で滿蒙將來の平和を暗示するが如く祝福された、鐵路をまつて一路新京へ向つて快走した右につき圖案の考案者加藤宣傳部長は語る

何分決定してから間がないので思ふ樣なものが出來なかつたが日鳩と云つても飛んでゐる羽が少しでも長くなるので鷗の樣になるのでそれを心配して今朝も早く來て見ました、尤もこの鐵の圓板は假りのもので目下東京へ注文してある内地の「燕」や、「富士」「櫻」等に用ひてゐると同樣の硝子で拔いた電燈のつく樣になつてゐる標識も出來て來るがまあ一ケ月位はこのまゝ我慢して貰はねばなるまいがそれさへ出來て來ればもつと感じが出ると思つてゐます（寫眞は（上）大連驛をまさに出發する鳩號、展望車で立つてゐるのがジュネーヴへ赴く岡野海軍少佐（下）改正されたダイヤ）

國際政局と滿洲問題の自主的解決
中野正剛氏の講演（四）

本社主催の中野正剛氏講演會は既報の如く二十七日午後開催非常な盛況を示したが左に連載するのは當日に於ける氏の講演の要領を筆記したものである、氏は演題を特に明示しなかつたのでその要旨を汲んで假に「國際政局と滿洲問題の自主的解決」と表題して置いた、文責を共に題名も亦記者に責任あることを茲に特記し講演者及び讀者の御諒解を願つて置く

顧みれば九月十八日事變發生以來、外務省は國際聯盟に對して遠慮の限りを盡した、然し滿洲事件は環境熟して關東軍にその人あり萬止むを得ざる大衆的壓力の結果起つたものである、事變以來の進行は止める能はず、例へ國際聯盟において十三對一になつても進まねばならぬ、世界の輿論に從つて行ふに非ずしてわが態度を決せば世界の輿論は追從して來るのである、アメリカのスチムソンは日本を國際條約の反逆者であるといつた、然るにわが態度が一度決したら一ぺんにベタッとなつて仕舞つた、かれら獨得の輿論を以てせば遂には日米戰爭の外はないといふが、不戰條約を遂行せんがために日米戰爭を惹起せんとするは何事だ、歐洲大戰は世界大戰の最後にする物に外ならない筈であつたと却て米國輿論の嘲笑を買つた、フーヴァー大統領もスチムソンと見解を異にするとか聞いた。

滿洲事變の最初アメリカではラヂオを以て凡ゆる日本の惡宣傳をなしたが國民はそれを聞いて何んだ戰爭屋の宣傳か、こんなところでうか／＼聞いてゐると滿洲まで戰爭に引張り出されるぞといつた狀態だつたのである歐洲大戰によつて辛き經驗を嘗めつゝある今日東洋まで實力を以て迫ることは絶對にあり得ないのだ、アメリカの海軍力は日本に對して決して優利でない、絶對に日本に對して敗れるといふソロバンが出ることをアメリカは知つてゐる、ソロバンは世界各國共通だ、また或る一部の者はアメリカと英國が共同して當つたらと心配するものがある然し英國は現在印度の問題を控へて何處に來るか、それより日本が印度に對して何かしはしないかと心配してゐる、有識階級の者さへこのことを心配してゐる有樣だ、嘗てインドの革命はインテリの觀念論であつた、然し英國の印度に對する搾取は段々と激しくなり茲において印度の獨立革命はプロレタリアートの論となつて來たのである今後の問題として國際聯盟總會には英語演説において日本一といはれ、國際問題と滿洲の實情に通曉する松岡洋右君がスタッフをなす

……ぐつて行くが結局五十三對一になるかも知れぬ、然し日本が五十三對一の決心をなして居れば何んでもない、若しそう決れば世界列國は日本を毅然として撃つか――といふと決してどうにも出來ない、日本は大體において固い自信を以て立てばよいのだ、勿論この空氣は支那に反映して支那は排日をより盛にするだらうし、アメリカは喜ぶだらう、對支貿易の日本に對する貿易戰において勝つことを目的としてゐるからだ、然し日本はこれにエキサイトしてはならぬ、トリックにかゝる恐れがある、爲替は暴落するだらう、日本はこの時徹動だにしないことは徐々に滿洲國を打つて一丸とする大理想を有する大日本の態度でなければならぬ。

今日日本は調子に乘つて世界に喧嘩を挑む必要はない、滿洲國を承認しこれを守立て日滿政策を一貫して行けば何人にも指摘批判されるものではないと信ずる、萬止むを得ざる時には帝國主義になるのも仕方のないことゝ私は思ふ、私は幾分變つてもビスマルク、モルトケの大方針である、サドワの大激戰に一舉ウインナーを衝いてオスタリーを粉碎しやうとする、この時萬死を冒して止めたのがビスマルクである、オスタリーのため破りはしたがオスタリーを終滅するのが根本でなかつたのである、我國は既に各國に徹底してゐる日露戰爭、滿洲事變の收めたる威武を日本は收め茲において日本は滿洲と合せ如何なる大敵に當る物となるのではなくてまで育て上げるのが日本政治の軌道であると私は東京の一角には日露戰うといふのが居る、最近い、それで軍にエロサー供しやうといふのであるらうといふ、五ケ年計畫ない内が好都合だから來年をやらうといふのだ、を聞かない時はクーデターらうとさへいふ、一、二功名心だけによつての帝治はナポレオン三世時代義と何等の變りもない、費は海軍の方が優つてる後陸軍の費用は嵩まつた境の軍備充實、聯じて準備のため、軍備の充實あると正々堂々と要求しい、それを一部のエロにまごわされるけちないことを私は信じ、かつ

軍事費匡救費以外 新規要求削除
大藏省査定方針決定

【東京一日發】既報の如く八年度各省新規要求十億圓に達するが大藏當局では左の査定方針を決定しこれが削減をなすことゝなつた

一、時局匡救費は三ケ年の既定方針で進み之を二ケ年に短縮する衆議院の決議には應じないこと

一、軍事豫算はこれを別途に審議し不可避もののみこれを認めること

一、官吏俸給の減俸復活に關してはこれを考慮せず

一、即ち以上の中時局匡救及び軍事費の兩費目に關する以外の新規事業費は全額を削除すること

陸軍豫算八億圓
兵備改善を重點に 七日頃迄に決定

【東京一日發】帝國々防の最近の情勢に應ずるを目的とする兵備改善を重點とする八年度陸軍豫算は全體を合せ八億圓に達するため部内に於ても意見一致せず三十日の首腦部會議に於ても決定に至らず更に協議するとになつたが七日頃迄には右豫算中兵備改善に就き三長官會議並に非公式軍事參議官會議を開き諒解を求め八九日頃迄に大藏省に廻附したい意向である、なほ兵備改善の一般施設は次の如し

一、關東軍の諸施設の改善充實

一、防寒施設の擴充

一、滿洲上海兩事變に伴ふ戰用品の復舊

一、對化學戰防禦材の整備

一、教育資材の充備

自力更生吹込

【東京三十日發】齋藤首相は廣く國民に自力更生の決意を促す爲めその趣旨をレコードに吹込むことになり三十日午後一時より官邸に於てコロンビヤ蓄音器會社の技師出張して吹込みを行つた首相のレコード吹込みは初めてゞあるが首相は落着き拂つた態度で演説原稿を持ちながら自力更生の勵讀演説で約六分三十秒を以てコロンビヤ十吋レコードの半面に吹込みを終つてニコ／＼顔であつた、次いで内田外相も同樣滿洲國承認問題から聯盟に對する帝國政府の態度に就き例の大きな調子で吹込んだ、このレコードは全國公共團體や學校等に配布されることになつてゐる

フーヴァ軍縮案 米代表、討議要請
軍縮幹部會秘密會で

【ジュネーヴ三十日發】軍縮代表ウイルソン公使は三十日午前開かれた軍縮幹部會秘密會で兵員の嚴正な縮減を達成する爲めフーヴァ軍縮案の速かなる討議を要請した

獨外相語る

【ベルリン三十日發】ドイツ外相フォン・ノイライト男はドイツの軍縮不參加に就き左の如く語つたドイツの軍備均等要求が保障さるゝに至る迄軍縮不參加の態度を持續する、ドイツは右に就き諸國の安協を期待する、なほフランス政府の入手せりと傳へらるゝドイツの軍備計畫秘密書類なるものに就きては何等關知せぬ

策動の要はない
日本は正々堂々とやる
岡野中佐壽府へ

國際聯盟總會も愈々近づきその成行きは混沌として徒らに豫想を許されないだけに異常な緊張を以て注目せられてゐる折柄今回海軍側より特に派遣せられることになつた海軍中佐岡野俊吉氏は海軍部内きつての支那通として壽府に於ける同中佐の活躍は頗る期待されてゐるが岡野中佐は東京出發以來約一ケ月に亘り上海北平天津奉天等各地を巡り出先官署と打合せ種々調査をなしさき頃來連中であつたが一日午前九時大連發下り鳩號にて愈々渡歐の途についた、出發間際同中佐は語る

問題は種々あるが支那のことは理窟ちや行かない、南支に於ける支那軍の行動は最近は一寸落ち着いて來てゐるやうだがこれとて決していつまで續くか判らない、然し目下の處大した心配もなからう、聯盟の成行がどうあらうとも日本は正義の立場から正々堂々とその意見を闘はせればよい、何も策動する必要はない筈である、何故ならば日本は決してやましい處がないからである

人事

▲張燕卿氏（滿洲國實業部總長）一日午前八時大連着ヤマトホテルへ
▲張格氏（滿洲國協和會委員）同上
▲岡野俊吉氏（海軍中佐）一日午前八時發壽府へ
▲早川富之助氏（新任奉天醫大講師）夫人同伴同上奉天へ
▲藤山一雄氏　今回滿洲國實業部司長より監察院總務處長に轉じたが、二十日公務を帶び來連
▲加藤床希氏（旅順警察署長）新任挨拶の爲め一日市内各方面歴訪
▲大和安市氏（德島日日新報社特派通信員）一日來滿挨拶のため本社來訪
▲中野琥逸氏（滿洲國協和理事中央事務局次長）三十日來連一日
挨拶の爲め來社
▲小澤開策氏（同上中央事務局副處長）同上
▲于靜遠氏（同上中央事務處長）同上
▲大内暢三氏（東亞同文書院長）一日入港大連丸にて來連
▲相生由太郎（福昌公司…）同上

蛇角

あゝリツトン報告の主手かれる、開けて口惜しやはソレとも聯盟？。

◇

少くも日滿兩國だけは、せれば口惜しくもなし、といふところ。

◇

北滿國境方面に加へられ手、邦人の被害深刻、まこと憂に堪へず。

◇

軍縮會議不參加國が出來々聯盟會議不參加國も現はれ出たら？

◇

日滿産業博の内幕、擾攘出品目、催權者も從業者も音が立つ／＼は尤も。

人垣の中の道化や秋祭。

『滿蒙の戰慄』休載

けふ大東京市生る
全市をあげてお祭騒ぎ

【東京一日發】待望久しき大東京市制實施の日だ第卅四回自治記念日と合して延びる東京大躍進の日だ舊都八十二ケ村を併せ十哩五百萬市民を代表して市長永田秀次郎氏は午前十時半宮中に參内五百萬市民の名に於て上表文奉呈の手續をとり十一時半明治神宮に參拜厳かなる祝事を取行ひ更に都下各神社佛閣に特に市長代理を派遣して大東京永遠の繁榮を祈願することろがあつたこれよりさき午前八時永田市長は市長室で新五十區長の新任式を擧行八時半吏員三百名を市會議事室に集めて大東京躍進に關する訓示の第一聲を與へた又市としては時節柄ばく／＼しいお祭騒ぎを差控へ午後一時半から日比谷新音樂堂で永田市長の挨拶に次ぎ尾上菊五郎丈の俳優學校生徒の時代劇時代劇二幕舞踊その他六時半から公會堂で大東京生誕の夕が開かれ全國に中繼放送をするほか市内

居住

八十歳以上の高齡者に對して東鄕元帥倉富男その他約一萬人に記念扇を配り市電氣局では恒例の花電車八臺を全線に運轉この他新に東京市に編入された大森渋谷初め各區では提灯行列揭燈行列等の手古舞等景氣直しの大騒ぎ武藏野の月の入る午かけて祝賀氣分隅々に溢れるお祭騒ぎであつた

市場電報

（銀塊及爲替、神戸日米、東京株式、大阪株式の相場表）

世界知識

十月號・獨逸政局の解剖

不安に戰く獨逸政局
ヒットラーの戰術
獨逸帝政運動の現狀
獨逸共産黨の大躍進
怪物ヒットラー解剖
次の米大統領は誰か
支那政局の推移
熱河問題と湯玉麟
アンコール大佛蹟
米大陸自動車橫斷記
アリューシャン群島の旅
歐洲の樂園スウイス
國際外交奇聞
露支密約大秘錄　伊集院齊

科學畫報

大飛躍の十月特輯號

寄生植物の智慧
雌雄の換羽と産卵數
台灣海岸の風蝕作用
ラヂュームの魔力應用
面白い民族表情の研究
精巧な航空用寫眞機
發光塗料と發光物質
第二極年とは何にか
短波無線の驚異的發展
原子エネルギーの應用
北日本航空路の處女飛行
飛行機研究富士山上の氣流
野球の力學　内藤補夫

發行所　新光社

本紙讀者が選定した旅大北道路八景
權威ある詮衡で決定

旅大北道路の開通を記念し且つその古蹟景勝を紹介するためにわが社は嚢に北道路八景の選定を本紙愛讀者を通じて汎く募集中であつたが、果然旅大の異常なる關心と興味を集中し大盛況裡に九月十五日投票を締切り、爾來數回に亘る本社員實地踏査を根據とし審査委員および旅大篤志專門家多數の參加を得、精密周到にして權威ある實地踏査を前後二回に亘つて完了し、更に愼重公平なる詮衡の結果いよ〳〵茲に左の如く旅大北道路八景および當選者を決定した

一、磊山屯(入選者二十四名) 旅順市明治町十二ノ一 菅辰男氏

二、大東溝(入選者二十九名) 旅順市外田家屯 久保田二郎氏

三、牧城子(入選者四十三名) 大連市大和町三三 松永フミ子

四、双臺浦(入選者三十一名) 大連市大和町三三 關光博氏

五、玉仙臺(入選者四名) 旅順市朝日町 内山身治方 小鉢勝利氏

六、長春庵(入選者二十一名) 大連市信濃町二二八番地 松井商行内 吉末俊雄氏

七、火石嶺(入選者三十三名) 大連市久方町十 小島靜子

八、水師營(入選者六十四名) 大連市光風臺 筧鳴鹿氏

南道路の清楚な海岸線の美景なるに對比してこの北道路は雄大にして壯重なる山野眺望を恣まにせるは洵に妙を得たるものといふべく兩々相俟つて旅大の緊密なる交通と沿道開發に資する力ははかり知れないものがある、わが社は大正十四年南道路の開通に際して旅大八景を選定し今またその好對照たる旅大北道路の新八景を選定して世に喧傳する所以のものはこの重要なる交通路の開通をしてよりよき効益と開發繁榮を冀ふ微意の一端に外ならぬ、新たに決定した八景勝地にはそれぞれその地に縁故を有する徳望の名士に依頼し近く記念碑の建立に着手する豫定である、終りに臨みわが社のこの計畫に御賛助下さつて實地踏査及び審査決定にあつた多大の御援助を賜つた小川大連市長、永山旅順市長清水關東廳土木課長、中村技師ら關東廳の職員外米内山旅順民政署長および入江滿電專務以下滿電當局に對して深厚なる感謝の意を表するものである

警務局長室で騙す
小林又七支店が日滿産業博を相手取り告訴せん

日滿博當事者のインチキ的行爲は一今や大連市民の前に曝け出され一大な社會問題化してゐるが、關東廳警務局長室を舞臺に原理事長が千圓の騙取を行つたといふので被害者たる市内大山通小林又七支店では杉野辯護士に依頼し目下告訴の準備を進めてゐる

右に就き小林商店の語るところによれば、福券附入場券印刷代一千圓が滯納したので、小林商店では今後の印刷を拒絶したところ宮部理事は關東廳が産業奬勵補助金として日滿博に下附すべき金一千圓の下附指令書を小林商店加藤外交員に見せ「この通り關東廳から兩三日中正隆銀行宛金一千圓を送金して來るから暫く待つて呉れ」と安心させ引續き印刷の依頼に應じてゐたが、兩三日經ても何等一千圓送金の模樣もないので更らに博覽會幹部に掛け合つたところ「それほど心配するなら君の方で直接關東廳から受け取つて呉れ」と下附金指令書を加藤外交員に渡し、同氏は小林商店の受領書を作成し關東廳に赴いたところ當日佐藤會長並に原理事長が關東廳に先廻りをしてをり加藤外交員が警務局長室に於て一千圓を受け取らんとしてゐるところへ原氏が現れ原理事長は加藤氏の腕を拖して室外に連れ出し「産業補助金として下附される金を債務のかたに渡したとあつては博覽會の體面に係るから一時だけ我々の手に受けらせて呉れ」と懇願し一千圓を受取つたまゝ今日に至るも小林商店の領收書で關東廳から一言を左右にして支拂はないといふにあり、その不徳義な行爲に小林商店では極度に憤慨してゐる

帳簿調査を債權者團でする
虫のよい態度に憤慨

日滿博債權團下島實行委員長以下十五名の委員は一日午前九時から大連警察署長室で石井署長立會の下に原博覽會理事長外石田、宮部兩理事と會見、債權辨濟に關する誠意ある回答を求めたが、期待すべき何等回答を得られぬのみか、原理事長は終始責任を回避するが如き態度に出で石井署長から「君は誠意がない」と注意を促されるが如き場面を演出し結局博覽會側で債權者團に帳簿一切を提供し實行委員の手で帳簿調査を行ひ各債權の振分けと不正記入の發見に努めることゝなり何等結論に到達せず有耶無耶の裡に十一時會見を終つた、それより實行委員等は原理事長等の無誠意に憤慨し直に博覽會の帳簿一切を取り寄せ大連署應接室に於て木原、相川兩辯護士立會の下に帳簿檢査に取りかゝつたが過般博覽會側から債權者團に提出した債務總額は實に十六萬四千百十圓の巨額に上つてをり、その中には

日光館貸	二三、〇〇〇圓
貿易協會出資	一九、〇五〇圓
借入金	二七、七六七圓
旅費借入	二、〇〇〇圓

合計七萬一千八百十七圓といふ莫大な債務が計上されてゐるが日光館貸の如きものは内部的關係のもので一般債務として計上するは不都合であり、協會出資も原理事長が主宰者となつてゐる日滿貿易協會の出資でありこれも一般債務とは見做されない、借入金並に旅費借入の如きも博覽會關係者から借入れた金が加算されてゐる模樣で自己の懐から出た金額まで一般債務として計上してゐることは餘りに虫のよい態度であると債權團ではその不誠意を鳴らし徹底的帳簿檢査のうへこれ等不正記入は排除し大連市民が有してゐる純然たる債權のみを書き出し佐藤會長並に理事者中から私財を投げ出させるか或は其他の方法を以て債權辨濟を迫りいよ〳〵方法の盡きた場合は非常手段に訴へるべく態度を決し目下委員總出動で帳簿檢査を行つてゐる

滿洲里の邦人全部を片端から逮捕す
領事館屋上から應戰し戰死
海拉爾、布哈圖も遭難

【ハルビン特電一日發】滿洲里を脱出して來哈した某滿洲國人談によれば二十七日朝十時三十分頃停車場近くで三發の銃聲を聞いたがこれを合圖に灰色服の支那兵が市内に前進して來た、一部は直に日本領事館に向つた、間もなく小銃機關銃の亂射を聞いた、領事館屋上から間もなく日本人數名が機關銃で交戰したが、護路軍が手榴彈を投げ込み殆んど全部戰死した、國境警備隊(内邦人約六十名あり)は勇敢に應戰したが十數名の日本人隊員戰死し多數の負傷者を出し衆寡敵せず武裝解除されたらしい、稅關員は地下室によつて應戰したがこれ又武裝解除された四道街に日本人四名の死體が横たはり驛プラツトホームには日本人稅關員が一名殺されてゐた、二十八日支那兵及び便衣の支那人は市中の日本人男女を片端しから逮捕し始め馬車に乘せて連行するのを見た飛行機は廿七日二、三回旋廻したが支那兵が盛んに射撃したので引返して行つた札賚諾爾附近に不時着した、との噂であつた、その内にファインゴリといふ外人將校がゐて頻りに日本人を捜してゐたがその談によると日本人五十二名が逃亡したとのことだつたまた海拉爾で日本人八名、布哈圖で一名殺害四名捕縛監禁された

遭難旅客機を解體
搭乘者全部を虐殺

【チチハル三十日發】四子山で遭難した旅客機は三十日午後三時頃張田九軍が機體を分解し同機に積込んでゐた貨物を有蓋貨車に積込んでゐるのを二回目の調査に行つた飛行機の報告で判明したがハイラルに輸送する模樣で搭乘者は虐殺された事確實となつた

札免公司員無事と判明

【ハルビン特電三十日發】二十七日行方不明となつた旅客機捜査のため二十九日朝チチハルを發した飛行機は午後二時チチハルに歸つたがその報告によれば伊勒克特西方地區を隈なく捜査したが發見せず札免公司員は無事である布克圖札蘭屯は平穩異常なく低空飛行したるも射撃されなかつた

一寫眞說明

1、牧城子の城門2、大東溝沿岸の美景3、水師營會見所4、長春庵の天仙聖母廟5、火石嶺海軍陸戰隊記念碑6、磊山屯血の出る木から案子山の雄姿を望む7、双臺浦海岸8、玉仙峠平原の眺望

海軍機流れる

旅順西港着水中の海軍飛行機四臺は卅日夜の突風の爲め流されたので三臺は海軍側にて港内に繋留し得たるも一臺は遠く老虎尾半島方面に流出したので朝日丸を急派今朝抑止無事港内に運び來つた

天氣豫報

二日 北西の風晴一時曇

滿潮 午前十一時二十分 午後十一時四十分

干潮 午前五時十分 午後五時十五分

各地氣温 一日午前十一時

大連	旅順	營口	奉天	長春
二五度	二二度	一九度	一八度	一四度

明日大連運動場土俵で 第一回相撲豫選會
主催 滿洲日報社
後援 大每大連支局

臨時競馬 第四日目午前

大連競馬秋季臨時競馬四日目は一日午前十時より星ヶ浦にて開始されたが午前中の成績左の通り

▲第一競馬(新古呼三頭)千八百米 第一着石河(奥田騎手)二分十六秒二、第二着黑龍(六馬身)第三着旭昇(大差)
【配當】(單)十一圓九十錢(附加券)一等百四十八圓四十錢、二等四十二圓四十錢、三等廿一圓二十錢

▲第二競馬(各抽七頭)二千米 第一着光腕(山下騎手)二分四十二秒四、第二着多嘉保(一馬身)第三着天龍(半馬身)
【配當】(單)十六圓八十錢(複)一着八圓七十錢、二着十圓二十錢(附加券)一等百九十二圓、二等六十四圓、三等三十二圓、以下八圓

▲第三競馬(新古呼四頭)千八百米 第一着別嬪(足立武騎手)二分十九秒四、第二着三共(一馬身)第三着大五(大差)
【配當】(單)七圓六十錢(附加券)一等二百五十六圓四十錢、二等七十三圓二十錢、三等三十六圓六十錢

▲第四競馬(秋抽五頭)千八百米 第一着鳥海(福島騎手)二分三十六秒四、第二着五光(一馬身半)第三着豐龍(半馬身)
【配當】(單)七圓八十錢(複)一着五圓三十錢、二着六圓四十錢(附加券)一等二百七十二圓七十錢、二等九十圓七十錢、三等四十五圓三十錢、以下二十二圓六十錢

國難日本刀（111）

高桑義生作　京極佳夕畫

女の國（六）

わびしい秋、つめたい秋。

小松はもう一度鏡に顔をうつした。ほつと嘆息した。

小松――かの女はその昔のお加代だつた。千駄木の植甚の娘お加代である。

あの頃の清らかな明眸には、浮世のかげがあつた。でも、妖麗ななまめきが底深く秘められてゐる白菊を思はせた氣品の高い美貌は今は熟しきつたあでやかさと、妹力にかゞやいて、色香のふかい、盛りの女の美しさである。

純粹な娘だつた頃のお加代。

さうして、廓第一の容色艶名をうたはれてゐる現在の小松。

かの女の身の上にも、幾變轉のあつた事を、その相違がはつきりと語つてゐた。

十年ひと昔――まもなくひと昔にならうとしてゐる。たつてしまへば短くも迅い。が、その歳月の間に、人の身はどんなに變化するか知れないのである。

遊女になつたお加代――かの女が幸福でなかつた事は明らかであらう。

紛黛のかげに、憂愁をかくして生きて來た。

人間は不幸である、人生は苦痛である――けれども、生きて行かなくてはならない人間、人間の運命……。

さう思ふのだつた。

彼女は、鏡の顔を見るたびに、あさましい姿をうつし見るたびに、でも、かの女にも、ひとつの願ひがあつた、夢があつた。

上月弓之助――かれだ。

あの頃、弓之助の言葉は、お加代にとつて不可解だつた。が、その後の、現在の小松には、およそ了解されたのだつた。

遠い海のかなた、異國……弓之助の志す處。

彼女は弓之助の消息を知らなかつた。運命はいつも皮肉だつた。知るべく願つてゐる者には、知られない。

何のために異國に渡つたのか？

誰も。嫌ふ紅毛人の國に――弓之助の處意は、依然としてわからなかつたが、戀する者は、聴くは考へない。

深い仔細があるに違ひないさ。それよりも、御無事でゐられるだらうか？

何ものよりもそれを祈つた。弓之助の無事息災を、さうして、いつか再び相見る日を、祈つた、待つた。

はかない望みだ。でも、たゞひとつの光明だつた。それのみにすべてをかけて、お加代は生きてゐる。

ひつそりとした部屋の空氣だつた。

くらい隅では、こほろぎが鳴いてゐた。その昔、草深い千駄木の古家で、きいたこほろぎ――おなじ鳴く音も、聞く身の上によつては、違ふのだつた。

涙がおちる。――

賑やかな騒ぎ、憂ひを知らぬ人の聲だ。が、その響きにまじつて、かすかに出船の笛の音が、尾をひいて、港の夜の哀愁を告げる。

「小松さんえ、小松さんえ……」

廓特有の聲が、遠くから聞こえて來た。

小松はバッと胸をつかれた。

草履の音が部屋の前でヒタリと止まつて、襖が開いた。

「花魁え……」

「あい……」

「お内證で、お呼びですよ」

「はい」

「すぐ行つて下さいよ」

草履の音が、ヒタヒタと消えて行く。

小松は立ちあがつた。力ない裾さばきで、冷やかに光る廊下をわたる。

月があつた。その影を仰いで、

（あの方は、何處に、何をしてゐられるのであらうか？……）

涙がはらはらと落ちてこぼれる。

噂話

けふからまた河合映畫を上映する寶館では今後毎週四本立で押し通し▲秋の夜長に大衆ファンのお好み通り尺數の足らぬところを卷數で補つて御目をよくする▲近く映樂館で上映豫定の「愛よ榮光あれ」に目下東京カフエーにゐる現役女優久米廊子が出演してゐる▲また今日から「月魄」と共に好評のオリムピック發聲ニュースの第三報第四報を上映するが▲流石運動全盛都市だけに各館が積極的に動かなかつたこのニュースが結構呼び物になつてゐる▲日活のメトロ映畫配給で帝國館が早くも「ターザン」の豫告宣傳を開始▲東京マネキン倶樂部所屬のマネキンが來連すると東京からの放送、昔ほどの人氣があるかどうか

本社特選 新棋戰（其六）

先六段 △平野信助
平手 六段 ▲飯塚勘一郎

【圖は四八桂迄の局面】

▲持駒 歩

△平野氏持駒 角香歩歩

△	▲
五三歩成	同 銀
四五桂	六八成香
同 金	四七馬
三三桂不成	同 桂
四九飛	四八金
同 飛	同 馬

累計七十八手

【土居八段講評】飯塚君の六八成香は早いこの手は何時でも指せる故あとの含みに殘しておき一旦四四銀右、三三桂、同桂と穏かに指して攻勢に轉ずべき處である。平野君の三三桂は運用を誤つてゐる、五三桂ナラズ、三一玉、四九飛、四八金、同飛、同馬、三四歩打と指さば尚面白い局面になるに相違ない。

◇◇月魄◇◇ また新派悲劇の觀客層を狙つた新興映畫で原作は有名な菊池幽芳の通俗小說、入江不二が脚色し渡邊新太郎の監督で森静子、河津清三郎、高津慶子主演で映畫化したものカメラは川崎紫次郎（映樂館上映）

（日刊）　滿洲日報　昭和七年十月二日（日曜日）　第九千五百號　（一）

解決の『意見』ならば報告書は無意味

…發表と共に嚴正檢討はするが…　軍部豫め態度表明

【東京一日發】リツトン報告書發表に先立ち陸軍では一日午後零時四十分その態度につき左の如く發表した

リツトン報告に對する軍部としての正式の意見はいづれ報告書檢討後發表せらるゝ筈であるが同報告に對する陸軍の態度は調査團本來の使命が事態の眞相を調査するに鑑み支那及び滿洲の實情殊に軍事行動に關する事實の調査を重點とし冷靜にこれを檢討して誤謬があつたなら嚴正に指摘する筈である、**尚調査團の滿洲問題解決に關する意見はその使命上重大視する必要がないので滿洲の事態の變化と我既定方針を飽まで主張を貫徹する方針である**

徹宵の鑵詰で死力を搾取

外務省開廳以來の物凄い飜譯陣

【東京一日發】三十日午後七時封印が開かれたリツトン報告書は外務省の一室で三十六名の飜譯委員が徹宵の努力に各十二三枚配布された飜譯コツピーは午前五時頃飜譯を終り委員は揃つて歸宅したが推敲委員は更に嚴密に目を通し午前七時から總動員されたタイピスト五十名に渡され七、八名の修正委員が懸命に努め一日中に完成し二日朝印刷に廻し原文二百部譯文二百部の印刷は同日夜九時の發表定刻までには完了したいと物凄い馬力をかけ何しろ外務省始まつて以來の大騷ぎである

十九國繼續委員會　支那の要請を審議

一日開會に決定す

【ジユネーヴ三十日發】聯盟總會十九國繼續委員會は一日午前十時開會し聯盟規約第十二條第二項所定の報告書提出期間の延長期間を確定することを要請した顏惠慶の九月十八日附書翰を審議することゝなつた

【ジユネーヴ卅日發】特別總會議長兼十九ケ國委員會委員長ベルギー外相イーマンス氏は顏惠慶の七月一日總會の報告提出期間延長承認決議に對し遲滯なからしむる爲め新決議を附加せんとの要求に就き一日午前十時半から十九國委員會を開き審議することゝなつた、支那代表部はこの機に左の如く提案せんとしてゐる

一、今春の特別總會決議は上海滿洲兩問題を一括して取扱ふ意向を明かにした

一、報告書を理事會で審議するのは誤りで總會にて審議すべきである

一、依つて支那は十九國委員會にてこの正式決定を望む

併しイーマンス氏は十九國委員會の十四國は理事會所屬にして結局委員會は理事會の方針を支持し報告は又理事機關の理事會にて審議せらるゝならんと語つてゐる、尚支那代表の職能は日本が滿洲の形勢を現在以上に變化せしめないやう處置を執られたしとの懇請につきイーマンス氏は廿四日理事會でデヴアレラ氏と同樣日本の承認を遺憾とする

鮑代表内田外相の交驩

滿洲國駐日代表鮑觀澄氏は夫人同伴二十九日午前八時三十分東京驛着入京、一旦麴町山王ホテルの借事務所に旅裝を解き直に外務省を訪問內田外相と會見着任の儀禮的交驩を行つた【寫眞は會見中の向つて左鮑代表、右內田外相】

移民生活八十日

滿洲移民實習所實績

一〇、食物

渡滿後先づ實習生等の齊しく苦痛を感じたのは食餌の急變であつた。從來の米食を全然廢して滿洲人同樣包米や高粱を常食とすると云ふ事はかなり困難な事である。然しそこ迄に生活を切つめて行きそれに慣れて行かなくては到底滿洲で農民生活を續けて行くことは事實上不可能なのだから已むを得ない。包米（トウモロコシ）が決してそんなにマヅイものだとは云はない、然しこれを常食として三度が三度これはかりで活きて行かなくてはならないと思ふと聊か考へ度くなるのが人情である。然し實習生達の固い決意の前にはそれも大した問題でなくなつて來た。習ふよりも慣れろで今日では平氣で滿洲人並にこれを食べる事が出來、これによつて活力を養ふ事は慣らされて來た。

現在實習生一人一ケ月の食費は約二圓七八十錢で一日僅か十錢にも充たない程低廉である。試みに每日の獻立を記すと

▲朝食　包米ビンズ（トウモロコシの粉を水で練り團子にして燒き或は蒸したるもの）米湯、漬物

▲晝食　包米ビンズ、米湯、漬物

▲夕食　包米ビンズ、米湯、味噌汁、野菜煮（一日置き）漬物

と云ふ狀態で、一ケ月一回の豚肉及び時々農場內の池から漁る魚類（鯉、鮒、ハゼ、ボラ等）が何よりの御馳走である。米湯と云ふのは乾飯一日一人當り二十匁を煮出した重湯の事で、これを湯の代用に兼ねて補助食としてゐる。

每月二十六日を上陸記念日として此日に限り夕食一回だけ米飯をとることにしてゐるが、當日はまるで御祭騷ぎの喜び方で四五日も前から此の日の來るのを待ち焦れてゐる有樣は實に悲慘なる滑稽である。

一一、健康狀態

風土或は食餌の急變が健康に及ぼす結果に就いては十分の考察を要する點があらうと考へる。勿論吾人は醫師でもなければ榮養學者でもないからこれが專門的討究は暫く措きこゝには單に顯著なる現象を擧げて研究に資する。卽ち入所以來八十日間に於ける疾病休業者に就いてこれを見れば、疾病休業者實數三十六名、延人員百二十五名で內譯左の如し

疾病別	實數	延人員
下痢	一一名	三〇名
腹痛	三名	五名
風邪	七名	一六名
頭痛	六名	一六名
神經衰弱	二名	一四名
耳疾	一名	三名
扁桃腺炎	一名	一五名
痔疾	一名	九名
外傷	四名	一七名
計	三六名	一二五名

實習生三十七名中三十六名は疾病によつて障害され、無休養は僅かに一名に過ぎない、尤も右疾病休業者と雖も其程度は極めて輕微なるも渡航前その悉くが健康者であつたに見れば、これを輕々に看過することは出來ぬ。

右の內最高率を示すところの下痢（十一名）腹痛（三名）等消化器系疾患の多くは常食とする包米の不消化なると生水を飲み過ぎたることに原因するものと見られ、これに次ぐ風邪及び頭痛は日中と夜間との氣溫の相異甚だしきがため に寢冷せると日中暑熱の激しきに因るものなるべく、神經衰弱の二名は、大陸特有の氣壓に威壓せられたる結果と思考するが目下夫れ等の原因に就ては專門家の鑑定を乞ひ善後策講究を急いでゐる。

次に最も著るしき現象は僅々九十日間に於ける各自體重の激減である。左に數字を以てこれを示せば

▲渡航前の總體重（三十七人）五百六十四貫六百匁強

一人平均體重…十五貫二百匁強

▲現在（九月二十日）に於ける總體重（三十七人）五百三十六貫四百匁強

一人平均體重…十四貫四百匁強

となり總體重に於て渡航前に比し二十八貫二百匁の減少を見、一人當り平均に於ては八百匁を減じてゐる。更にこれを個々に就て見るに

▲渡航後體重を增したるもの

最大　三百五十八匁

最小　百六十三匁

平均　二百五十一匁增

▲渡航後體重を減じたるもの

最大　二貫七百三十匁

最小　五十匁

平均　一貫三百九十匁減

となり體重を增したるもの僅かに二名のみなるに體重を減じたるものは殆ど全部の三十五名を數へ體重を增したるもの、一人平均二百五十匁なるに對し減じたるものは、その五倍強の一人當り平均一貫三百九十匁を示してゐる。

而も僅々九十日を出ですして、何等疾病のあらざるに二貫七百匁以上の體重を減ずるが如きは極めて不可思議なる事に屬し、その原因の奈邊にあるかを究むるは刻下の急務なるが、假りにその原因が吾人のひそかに推測するところの食餌の榮養不足にありとすれば今後の滿洲移民政策遂行上實に由々しき大問題と云はねばならぬ（完）

本稿はさきにルンペン移民團といはれて滿洲へのわが最初の集團移民として渡來し爾來約三ケ月、大房身で實習生活をしてゐる三十七名の實習記錄である、今後わが移民が愈々多く渡來せんとするの際、この記錄は少なからぬ參考となり資料となると思ひ、こゝに揭載した次第である

昭和製鋼所滿鐵案　中島商相も承諾す

きのふ拓相と協議

【東京一日發】昭和製鋼所設立案に關し永井拓相は中島商相と會見協議したが滿鐵案は

一、昭和製鋼所は半製品のみを製造すること

一、昭和製鋼所の製品は內地市場を壓迫せざる立前を採つてゐる、との二原則ある爲め中島商相もこれを承諾したと

日午前十時永井拓相と會見昭和製鋼所設置案を提出し四十五分辭去した、依つて永井拓相は中島商相と十時五十分より會見八幡製鐵所との關係その他に就き協議する處あつた

製鋼所案内容

【東京一日發】確聞するに昭和製鋼所案の內容大體左の如し

一、資本金　八千萬圓

一、年產額　四十萬噸

一、着手　昭和八年度　但し二年後より製品生產

一、製品は　半製品

一、設立場所　鞍山

リツトン報告　羅部長に手交

【南京三十日發】聯盟調査團書記テーラー氏は今朝上海から來京し午後六時（東京時午後七時）リツトン報告書を國民政府外交部長羅文幹に手交した、外交部は徹宵報告書の飜譯に着手した

露支復交々涉一時打切り

南京政府の方針決定

【南京三十日發】日、露、滿の關係漸次具體的接近を見、露支の復交々涉は露國側が殆ど問題にせざるに至つたので本日の國民政府行政委員會議は露支復交々涉を一時打切るに決した

學良軍事費に官吏等の減俸

【天津三十日發】張學良は國家救濟と稱し河北省內全部の官吏軍人を始め鐵道從業員に至るまで今後俸給の二割乃至三割を醵出せしむべく本日發令した、右はジユネーヴから顏惠慶の寄せたる滿洲國治安攪亂を勸誘せる電報に刺戟され義勇軍增援の軍費に充當の爲と見らるゝも半ば私腹を肥やすため保留する模樣である

伍堂理事　拓相と會見

【東京一日發】滿鐵伍堂理事は一日午前十時…わけのものでもない氏は餘り語るを避けてゐる模樣であつたが、一日午後一時四十分發列車にて南下し三日大連出帆の船で上海に歸り更に改めて來滿の豫定であると

日滿間の關稅交涉急速に開始か

大連海關問題を機に

在華紡績二重課稅問題に對し滿洲國政府に陳情し交涉不調に終つたと傳へらるゝ船津、立川、權野三氏は三十日午後一時二十分奉天歸着、ヤマトホテルに於て特務部の國際法の權威齋藤良衞氏と二階一室に於て面會し

協議した、その內容を仄聞するに、上海紡績業の事變以來の事情から滿洲國の新關稅改正による打擊を說明し、日滿交涉より緩和策をとる具體方法を協議した模樣である、日本としては大連の特殊地域に於ける滿洲國關稅の存在であり、稅關の機能が果して無條件に布告を容認し、絕對に公布と共にこれを適用し得べき本質を有するものなりや、合法的手段として全權部を經由し、滿洲國に二重課稅の合理的適法の交涉を陳情する模樣である、關東廳としてもまた全權部としても本問題の經過如何は關東州內の各種工業製品が滿洲國に輸入される場合、例へば金州、福紡の如き（上海、青島紡は滿洲國の輸入を目的とした生產工業ではないとしても）に對し將來關東州の稅制問題にもやがては

關係を有し、現在又は將來關東州に勃興せんとする諸工業政策上からいふも、滿洲國の一方的の關稅改正は行はれざるべく、從つて根本的に禍根を一掃する意味から當然滿洲國關稅改正實施以前に全般的日滿關稅の協定を決定すべきものである、よつて本問題を機として日滿兩國の關稅會議の開催により圓滿に日滿關稅協約が締結さるゝに至るであらうと期待するものが多い【奉天電話】

愛河に稅關

滿洲國で新たに設置　一日から徵稅開始

…未だ開始されなかつた綏芬河稅關の處置については濱江關で對策考究中のところ先ごろ列車不通のため綏芬河に停滯中であつた輸入貨物に對しこの程綏芬河分館主作文が上海總稅務司の命と稱して徵發したことが判明したため濱江關では稅務部の指令を受け愛河に稅關を設置し十月一日から徵稅事務を開始することゝなつた、因に綏芬河現在滯留中の貨物は百三十一車で稅金二十三萬圓である

苦境だけを

船津氏語る

二重課稅による在支邦人紡績業者の實狀を陳情のため新京に赴いた船津辰一郎氏は歸途再度奉天に立ち寄り三十日午前全權部を訪ひ長時間に亘つて熟談し更に一日總領事館を訪問した訪問の記者に語る

私達は只在支紡績業者の苦しい立ち場を新京政府に陳情しただけでこれによつて二重課稅が免ぜられるか何うかは今の所判らぬ、稅務司長は仲々むづかしいと云はれたが別に駄目だと聲明されたのではない

滿洲國でもメートル制實施

滿鐵經調會から答申

滿洲の度量衡は清朝時代の舊制がそのまゝ繼承されしかも各地に種々な地方的慣習があり不統一を極め、不便この上ないので、滿鐵經濟調査會では軍の諮問によりこれが

統一につき調査中であつたがいよいよ成案を得たので近く答申することゝなつた、しかして經調案では度量衡の基準としてはメートル制より完備したものなくここに世界的標準で滿鐵も先年これを採用してゐるのでこれと一致せしむる意味よりもメートル法の採用を可としてその旨を答申することになつてゐる、しかし、交通不便で文化低き滿洲の邊僻の地までこれを及ぼすには、日本における

前例より見るも不可能に近いから當分は、中央官廳や社外鐵道で採用し、漸を逐ふて各地に及ぼすことになつてゐる

米劵借替條件

【東京一日發】大藏省發表＝政府は十月一日支拂期日の米穀證劵（第六回）千五百萬圓の內三百萬圓を現金償還し殘額千二百萬圓はこれを借替發行するに決定した其の要項左の如し

一、名稱　米穀證劵（第八回）

一、發行額面　千二百萬圓

一、割引步合　八厘五毛

一、發行日　和和七年十月一日

　　支拂期日　七年十二月一日

一、發行方法　預金部引受

海軍思想普及部　部長に將官級

【東京一日發】海軍思想普及に關し現下の重大時局に直面し岡田海相は從來の軍事普及委員會を擴張し一局に等しき組織となすに決し最近の部長には上海事變に活躍した鹽澤少將を拔擢するに決し近く公式に發表されるが名稱は海軍々事普及部又は普及班とするらしく仕事は陸軍の新聞班と同樣の仕事をなす外內外諸般の事情調査及び海軍思想普及に當るはずである、なほ全國に十六の出張所を設け國民との連絡を密にし國民の海軍を建設すべく活躍することになつてゐる

英內閣閣僚後任

【ロンドン三十日發】オツタワ協定に反對して辭職した者の內、內相、スコツトランド事務相、國璽尙書の三閣僚の後任は卽日決定したがその後決定せるもの左の如し

任鑛山大臣　アーネスト・ブラウン

任宮內省財務次官　サー・ジヨージ・ペネー

任自由黨院內副幹事長　ジヨン・モリス・ジヨーンズ

◇…その內ブラウン、モリス、ジヨーンズ三氏はサイモン派の自由黨員、ペネー氏は保守黨下院議員

參拜しませう勇士の慰靈祭

二日朝八時半埠頭待合所　うらる丸で悲しき凱旋

林總裁　陸相を訪問

【東京特電一日發】林滿鐵總裁は今日荒木陸相を官邸に訪問し滿鐵の近況につき報告をなし旁々人事問題に關して懇談陸相の意見をもきゝ辭去した、又總裁は午後三時半滿洲國駐日代表鮑觀澄氏の訪問を受け滿鐵狸穴社宅に於て種々懇談するところあつた、なほ伍堂理事は今日正午丸の內工業クラブに於て永井拓相、川田事務次官と會見昭和製鋼所設立に關する件その他重要問題につき報告指示を受けるところあり午餐を共にした

在滿小學校長優遇者決定

撫順奉天長春の三市

【東京一日發】小學校敎員優遇令の實施に伴ひ朝鮮臺灣滿洲で最初の恩典に浴するもの一日付で發令されたがその中滿洲關係左の如し

撫順千金寨尋常小學校長　瀧川嘉一郎

奉天彌生尋常小學校長　星野彥松

長春室町尋常小學校長　上原種藏

滿等官七等を被待遇（各通）

電氣協會の座談會

滿洲電氣協會では第四回朝日會を來る三日午後四時大連ヤマトホテルにて座談會開催、終つて晚餐會を開く、申込は電二一七一七番へ因に會費は金一圓

社説

支那の滿洲擾亂策
膠柱的法理と人類の大道

ジユネーヴではリツトン報告書が近く公表せられんとし、各國代表がその審議準備に入らんとする昨今、ジ市に於ける支那代表から其の本國に宛て丶、滿洲の大擾亂を決行すべきやう勸告の密電を發したと報ぜられる。蓋し之れにより滿洲國治安が維持せられ居らざる證とし、以て國際聯盟に於ける支那の主張を有利に導かんとするものたるは勿論である。

◇

ジユネーヴから斯うした勸告は來なくとも、張學良の風に滿洲の擾亂に全心を傾けつゝあるは疑ふ可らざる所にて、既に其の證跡も十分に舉げられてゐる。或は滿洲國内に於ける從來の匪賊を懷柔して義勇軍と爲し、之れに相當の名譽的地位と金錢とを支給し、若くは滿洲國の官吏や軍隊を買收し、或は支那本部より軍人、密偵を派し、或は鐵道を破壞し列車を襲撃せしめ、或は滿洲國人や歐米人を拉致せしめ、或は日本人を拉致又は虐殺せしめ、或は日滿要人の暗殺を計畫する等、あらゆる手段によりて滿洲國を擾亂せんと企圖してゐる。最近續々として發生する匪賊の蜂起、滿洲國官吏軍人の叛逆行爲、陰謀の暴露、鐵道の事故、拉致虐殺等の事實は何れも其の反映にあらざるはなく、既に捕縛せられたる者の所持せる物品、書類、口供等によりて、十分に之れを立證することが出來る。

◇

殊に最近暴露せられた張學良の義勇軍將士表彰法及び人民抗日表彰法なるものは、甚だ注目すべきものである。其中には、若し日本人を拉致し、一名につき一百圓を給し、同じ日本人でも軍人ならばその相場も高く、大將は三萬元、中將は二萬元、少將一萬元、佐官五千元、尉官二千元の割合にて給することゝなつてゐる。これだけなれば理由も明白であるが、不思議なることには、第三國の人民に對しては特に高價を支拂ひ「日本人以外の外人、殊に英米人一人を拉致せる者には、一千元を給す」とあることである。これは要するに滿洲の不安狀態を諸外國人、特に英米人に誇張せんが爲めの張學良の詭計に外ならない。

◇

張學良の滿洲擾亂策は更に一歩を進めてゐる。曰く「若し人民が抗日鄉軍を作つて日軍と戰ふならば、其地方は三ケ年の免稅、縣城を襲ひて自ら縣長公安隊長になつたものには、本領安堵の墨附を出す、若し義勇軍の機密を漏したものは、五族を銃殺す」といふのである。支那の民族性や習慣其他の事情から見て、之れが頗る効果あるべきは推測さるゝ所で、以上の擾亂計畫が殊に頻繁になりたるは、此の密令が勵行せらるゝ結果に外ならない。

◇

併しながら斯くの如き詭道的計策によりて、果して支那が國際上有利の地歩を占め得るであらうか。又之が果して國際聯盟を動かし得るであらうか。假令聯盟を動かし得るとするも、果して世界の人心を動かし得るだらうか。云ふまでもなく斯くの如きは目的の爲めに手段を擇ばざるものである。しかもその目的たるや、張學良の私慾の爲めに過ぎない。最も善意に見た所で、南京政府の勢力範圍擴張に過ぎない。假令之れが國家の慾望なりとするも、それが人道を害して世界を毒するものならば天下の公理より見れば私情に外ならない。滿洲國の擾亂は此の私情の發露であつて、滿洲國並に日本が營々孜々として其の治安を維持し、政治を改善し、滿洲在住民はいふまでもなく、汎く世界全人類の爲めに安居樂業の天地を開拓せんとするに拘らず、支那は之を妨害せんとするものである。

◇

此事實から見れば、滿洲問題は單に國際法の問題ではなく、人類大道の問題である。國際聯盟に於ける各國代表者は多くは法理に拘泥する人達であるが其の法理たるや、膠柱的法理であり、且つ東洋の現在の實情に通ぜざるものである。故に彼等の多くは概念的東洋の上に、膠柱的法理を當て嵌めんとするものである。聯盟の認識不足の議論に世界が惱まさるゝのは多くは此の故である。日本は今や天職として聯盟會議を正當な途に導くべき地位に立つ。此際日本は支那側の非人道的擾亂の事實を暴露するが如きは、その膠柱的理論に反省を與ふ可き好機緣を作るものであらう。殊に近時の滿洲擾亂は、其の自然の發生にあらずして、斯くの如き不自然煽動の結果であることを諸外國に知悉せしむることは、彼等に滿洲國創造並に成育の事實を認識せしむる爲めに頗る必要なることゝ思ふ。

◇

旅大北道路八景を語る
麗らかな好景觀 香はしき史實
北八景ヴァライテー

讀者から選ばれた旅大北道路新八景は五十五ケ所の指定應募地から公平嚴密に選定されたもので、史料において勝景においてそれぐ有力な多くの特徴と異色を有つてゐる

磊山屯――路傍の老櫟を中心に高崎聯隊の忠魂碑附近を含む

◇…怪奇な傳説を有つ櫟の老樹は路傍に茂り案子山の雄大な山容につづいてグレート大連の全景をパノラマの如く一眸のうちに展することが出來る、高崎聯隊の將士を祀るさゝやかな記念碑も近く日露役當時の第一師團長伏見宮…

大東溝――勝名山、杏…由家屯および案子山を含む

◇…白樺林に續く沿道の丘…母國の風景を思はせるに相應…景勝である、河床橋の東二丁餘…ープの邊り鞍子山の眺望は一…南識た、山林一帶秋の茸狩に…

牧城子――老爺廟を含む廟附近

◇…州内の古都金州につぐ第…の古都、古色蒼然たる唐時代の…墟を續つて興味津々たる史蹟…を藏し老爺廟には樹齡二千年…はれる老槐あつて好話題に富…營城子に至る附近一帶いたる…る歷史資料が多い

双臺浦――双臺溝海岸の…

◇…黄龍尾半島に抱かれた…潮の美景は夏家河子以上と…

玉仙臺――玉石峠の改稱にして玉仙山、信臺子を含む

◇…倭寇防備の狼臺のあたり雄…

長春庵――天仙聖母廟を中心とする附近の山林地帶

◇…松柏の山林地帶は秋の紅葉によく…日露役當時野戰病院のあつ…

火石嶺――偲ケ丘を…

◇…旅順を圍繞する戰跡…のうちに眺め得て感慨深き…「海軍陸戰隊重砲隊陣地」…がある

水師營――日露役會見所および關帝廟から龍眼水源養林地帶を含む

◇…乃木、ステッセル兩將の會見所は餘りにも有名である…廟の蕭寂あらたかな關帝廟…

南八景に堂々對抗する 立派な史跡景勝地
審査員 入江正太郎氏談

嚴選された 變化に富む風趣
審査員 清水本之助氏

産業上以外に 道路を利用
關東廳內務局長 日下辰太氏

歸つて見て
東上の途 石村生

今朝、下の關に着いた。舊友と…要談もすんだので、スグ朝鮮經由…輔連の積りであつたが、倦内地…土を踏んでみると何となく懷…なり、且つ友人が折角此處まで…たのに東京に行かぬとは、何た…ことだ、ボク田舎者になつても…る、東京の現狀に觸れないで、…がわかるものかと、頻りに東上…勸めるので、俄に心機一轉、同…することゝなつた、外に出ると…な氣になるものと見へる、ソコ…人生行樂の興味も湧いて來る。…矢張り內地はいゝ、何遍來て…

產業開發のため 地方組合を組織
來連中の中野協和會理事談

卒業生を慰問し 要人に敬意を表す
大內同文書院長來連談

傭員昇格
滿鐵社報で發表

市勤續吏員 表彰式

記念スタンプ 押捺成績

駒井長官赴奉

八相

鐵輪馬車の難
愛民生

沿線と歡送迎

人事

關東廳辭令(十一日附)

はるびん丸

市場電報

神戸特產

大阪株式(長期)

大阪株式(短期)

大阪綿糸

神戸期米

大阪期米

東京期米

[illegible]

明るい國民

◆…「ソウエート映畫はいゝれエ、あの重い調子が何とも言へないよ」と現代の若い人々はソウエートの憂鬱味を樂しんでゐる、元來ロシア人は憂鬱を好む人種で、日本人は憂鬱を樂しむ人種のやうである、然し何れも健康的ではない

◆…このソウエートに於て「憂鬱の蝿を驅逐せよ」或ひは「笑ひの總動員」などといつたやうなスローガンが政府當路者の間に頻りに叫ばれるやうになつて來た、そうして直にソウエートは、第二次産業五ケ年計畫を實行するに先だつて、笑ひの全國的運動を試み、民族性格の革命を行ふ計畫を樹てた、これは國家の進歩と繁榮は國民の朗かな氣分から生れるといふ意見に基くものである

◆…日本には昔から「笑ふ門には福來る」といふ譬ひがある「笑ひ」の必要は今更言ふまでもなく、よく知り過ぎてゐるのだ、唯精神的に行きつまつた現代人の生活が、本當の笑ひを忘れさせてしまつてゐる、そして極端な刹那主義に走つた現代人のセンシブルな神經は、日本人を憂鬱を樂む人種にしてしまつたのである

◆…我々はもつと笑はなければならない、家庭においては勿論のこと、あらゆる場合に健全な笑ひを求めて朗かな、明るい國民とならなければならない

チューリップの露地栽培

春の花に魁けてながめられて 手もかゝらず開花率一〇〇%

チューリップの鉢栽培は相當普及してゐるやうですが、花壇に色とりどりのチューリップをずらりと並べて花を咲かせる露地栽培は滿洲では未だあまり一般化されてゐないやうです、滿目たゞ灰色の滿洲の冬を室内に咲かせて樂しむ室内栽培も結構ですが、雪の消えたばかりの庭の花壇に春に魁けて咲き揃ふあの可憐なチューリップの姿は又となく嬉しく輝かしいものです。室内栽培も完全な溫室をお持ちの方はよいのですが出窓や居室内でお育てになればよほど氣をつけても三割の開花を得るのが上乘ですが、露地栽培ですと第一手がかゝらない上に百%の開花率ですから經驗のない方にも氣樂に栽培出來ます、農事試驗場の試驗によりますと大連は勿論開原以南であれば何處でもこの秋に露地に植えこんで越冬出來ますし、開原以北新京附近でも防寒防風設備をよくすれば大丈夫露地栽培が出來ます

露 地栽培に適當な種類はダーヴィン、チューリップでこれは性質が丈夫で莖が伸びて背高く大輪で、値段も鉢植のアーリー種よりもずつと安いのです、名稱は一球五錢、混合球は百球三圓程度ですから花壇に數多く植込むには混合球で結構です、植込むのは十月中が適當ですが、北側に建物などあつて北風のあたらない陽當りのよい場所を選みまづ土を全部堀返し充分施肥してをきます、原肥は充分腐蝕した牛馬糞に油粕を混ぜて七八寸の深さの所に一寸厚さに敷きます、その上に柔かくこわした畑土を二寸厚さに敷き表面を均して圍い花壇などでしたら豫じめ五寸位づゝの距離を置いて印をつけ格好よく球根を一個宛上向に並べます、大變密生するのが好きな方は三寸置き位でもよいのです、チューリップはあまりバラバラに遠く植えるより群落を作らせた方が見事です

球 根の上にはやはらかい畑土を五寸ほどかぶせ、霜が下りるやうになつたら枯葉や枯草を覆ひ風にとばされぬやう上に土を少しかけて防寒してやります。かうして冬中はそのまゝ置けばよいのですが、北風のあたる所は北側に風受けを拵へてやります、三月下旬にもなつて雪や氷が解けましたら速かに上の枯草を取去り、風のあたる所は周圍に葦簀を立てゝ日中の暖い光線をあてゝやります、時々除草をして肥料の足りない場合は薄い油粕汁をやりますが、瘦土でない限り原肥を充分やつて追肥をやらない方が安全です、二寸ほどに伸びたら乾いた時には時々灌水し、蕾がふくらんだら追肥は絶對に止めます

若 し開花せず葉が黄色くなつて凋むやうでしたら掘上げて風通しのよい所で一日位かげ干しにして紙袋に入れて保存して置きますと又翌年の役に立ちます、かうして四月下旬か五月初旬には美しく咲き揃つた花が見られますが、それから鉢にうつすなり、切花にして室内を飾るのも一興でせう、ヒヤシンス、アマリリス、フリヂヤ、クロッカス、百合、水仙、アネモネ等も同樣露地にも鉢にも向きますが今恰度植込の好時機で同協會でも良種を豐富に取揃へてあります

敬神崇祖修養週間

一日から大連神社の秋祭に際して 大廣場小學校で實施

大連 大廣場小學校では今十月一日の大連神社秋季大祭を期して向ふ七日間を特に敬神崇祖修養週間として兒童に神社參拜、家庭では神佛禮拜、年長者や兩親などへすべき挨拶、兒童らしい失禮を缺かぬ程度の禮儀等をこの期間に實行させることになりましたが鈴木同校長は家庭に次の樣な希望を述べてゐます

家庭 でも敬神崇祖に就ては充分注意されてゐられることゝ思ひますが、兎に角こちらの兒童は敬神や崇祖の念が一般に薄い樣に思はれます、それに年長者に對しても度々失禮になる樣な言葉遣ひなど度々聞きますがこれを改めさせるには家庭でこの方に力を注いで戴かなければ效果を擧げることは到底できないものです、幸ひ大連神社秋季大祭を機會に敬神崇祖修養週間を設けますので、家庭でも自分の家とか祖先に就ては北方に生れたり幼い時に渡滿した位で子供は大底知らないので、この際に系圖とか家柄とか、先祖が活動した跡などに就いてお話し下さいましたら

子供 の家に對する尊敬や、愛着の心を一層強く深くし、祖先崇拜、感謝報恩の念を養ふことができ、從つて三者から敬神崇祖といつた樣なことを喧ましくいはなくとも無自覺の中に敬虔の念を深くし年長者に對する態度、言葉遣ひも自然に改めることができると思ひますので、この學校の催しを意義あらしめるため出來るだけの力を家庭でも注いで欲しいと思ひます

洋樂物に羽

ダンス熱昂まり— 當分浮ばれぬ日本の聲樂板 —近頃レコードの賣行

し んみりとレコードに親むこのごろ、どんな種類のレコードが一番多く迎へられてゐるかを大連市内の二三の蓄音器店に就てしらべて見ました、最近洋樂ものが素晴らしい賣行きを示してゐます、これは一部には勿論ヴアイオリンの纖細なメロデイやヴオーカルやシンフオニーのやうな大物を心靜かに味はうといふ熱心な好樂家もありますがこのごろの大連のダンス熱がこの洋樂の隆盛を招來したのが最大の原因であり從つて「春のワルツ」とか「君とひとゝき」といつたやうなダンスものやジヤズがその大半を占めてゐます

ダ ンスとシネマ熱の勃興は又流行歌や映畫主題歌のレコードが次から次と製作しますがこれも羽が生えてとぶやうな賣行で當分普通の日本の聲樂レコードはこれに壓倒されるでせう、たゞこの間に無邪氣な可愛い童謠や勇壯な軍歌ものが依然相當な賣行きを續けてゐるのを見ますと日本も未だ未だ大丈夫だと心強く感ぜられます、一方に洋樂の普及した反面に秋はしんみりとしたクラシックなものに心を惹かれると見えて三曲や、長唄や、淸元や、粹な端唄や小唄も相當迎へられてゐますが、近年目立つて歡迎されて來たのが浪花節で

こ れは「神崎東下り」「淸水次郎長」といつた古いものもありますが時節柄滿洲事變や肉彈三勇士などを取扱つた新作が素晴らしい人氣を集めてゐます

滿洲婦人歌壇

甲斐水棹

○濤の音ひびかふ聞けばこの夜ごろ天界の動きも秋づきにけり

○庭草に虫鳴り啼く夜ふけは有待輪廻の身を思ふなり

○蛙子は轢かれゐにけり場末街の土に寒ざむ降る朝しぐれ

○道に交す言も戰の上をいひて邦人の心一つに動けり

○心驕りて背きし友よ年ふけて汝はさばかりも敗れたりしか

家庭顧問

胃脚氣とやらで毎夜痛んで困る自宅療養は……

【問】私は二ケ月程前から胃部のところが毎日五、六回夜の八時頃からひどく痛んで困ります胃病ではないかと色々手當いたしましたが一向効果がありませんでした、ある病院で診て頂きましたら胃脚氣と申されました。何か自宅で出來る良い養生法がありましたら御教へ下さいませ(市内女)

【答】胃カタルか輕い胃潰瘍 斯んな食物と手當てを

土井三郎

直接診察して見ないと、はつきりしませんが胃加答兒か或は輕い胃潰瘍かも知れません、一般に女子には男子より胃潰瘍が出來易いことがあります、檢便をして潜血液があるか、蟲卵でもあるか、又は消化の樣子などを調べて貰ふ必要があります、食物は消化し易いカロリーに富んだ刺戟性の少い軟かいものを選み、痛みのひどい時は重湯、蔗糖液、飴湯、うどん粉汁、葡萄糖等を攝り、疼痛が止んだら牛乳流動食か百合根、芋、馬鈴薯、トロロ芋、ホーレン草等の裏漉を用ひ、次第に並粥、パン等に移り次に固形食に變へます、輕い魚肉の擂り肉又は小魚の肉などは最も適當なものですが、牛乳は胃液の分泌を促進する作用が強いから初期には却て惡い結果を見ることがあります、これも赤ん坊の樣に薄めて少量づゝ靜かに飲めば差支へありません、總て食事の際は咀嚼を充分にすることが必要です、喫煙は鹽酸の分泌を増加し蠕動を亢進させて疼痛を増惡することもありますが、又時には胃部を溫めて痛みを輕くすることもありますから體質によつては用ひても差支へありません、若し脚氣がありましたら疼痛をなほしてから脚氣の手當にうつられたがよいでせう

愈よお魚の季節で、お値段は

コレラに祟られて夏の魚市場は氣の毒なほど淋れてゐましたが惡疫が終熄を告げたこれからは魚にも油がのつて美味しいお魚がいたゞける樣になります、お魚は凡て産卵期前の油ののる秋の魚が美味しいのですが、今どんなお魚が市場に出て又美味しいのでせうか、大連信濃町公設市場の調べをお傳へしませう

……◇……

鰤も大分大きくなりましたがこれは百目八錢から十錢、サバで一四二十五錢から三十錢、カレヒも今が美味しく百目二十五錢から三十錢で、今は干カレヒが美味しく戴けます、

スズキは二十五錢—三十錢▲サワラ十五錢—二十錢▲ボラ二十錢—二十五錢▲エビ十五錢—二十錢▲グチ五錢—八錢▲カナガシラ八錢—十錢▲ホウボウ十五錢—二十錢▲タコ二十錢—二十五錢▲アナゴ二十錢—二十五錢▲カキ十錢—十五錢

鯛はこれから澤山出て美味しくなります

……◇……

生鰤で五、六十錢、氷鰤で三、四十錢、まぐろ八十錢—一圓二十錢といつた相場ですがこれも毎日の相場によつてずつとお値段の相違があるわけです、日本人は一體に内地から來る高いお魚を求められる傾向があり、こちらに多いグチとかホウボウなど餘り歡迎されない樣ですが、この樣な魚もお料理次第では非常に美味しく戴けるものです

學校の催物

▲大連伏見臺小學校では二日午前八時半より同校庭に於て秋季運動會
▲大連日本橋小學校 同上
▲大連常盤小學校 同上
▲大連松林小學校 同上
▲大連南山麓小學校 同上
▲大連下藤小學校 同上
▲大連朝日小學校では午前八時より同上
▲大連春日小學校 同上
▲大連早苗高等小學校 同上
▲大連大廣場小學校では午前九時より同上
▲大連聖德小學校 同上
▲大連嶺前小學校では三日午前九時より鳴鶴臺西部空地に於て擬戰開催

滿日各地版

警官二百五十名で鮮農の收穫を保護
關東廳領事館で決定

【奉天】稻の收穫時期を控えて奉天總領事館では吉林、新京、鐵嶺、奉天、撫順、遼陽における鮮農の刈取りに對する現地保護のため奉天署と打合せをなし更に關東廳から警官派遣方打合せのため總領事館の共華津官補が出張中であったが、種々具體的方法を纏めて二十九日十五時二十九分着歸奉した氏は語る

鮮農の刈取りに對し愈々警官を派遣し現地保護をなさしめることになった、その警官は二百五十名で奉天署からこれだけ派遣せしめるだけの餘裕はないので關東廳から新に配置されることになった、これだけの警官を何處に何名派遣するかについては尙本署とも打合せをなし詳細な方法を決定する積りであるが、收穫時期となってゐるので十月一日からこれに取掛りたいと思ってゐる何分區域が廣大であるため仲々容易なことではない

保稅倉庫は各要地に設けよ
奉天だけでは徹底せぬ

【奉天】日滿貿易の統制と滿洲國の稅制徵收の根本からみても滿鐵附屬地に保稅倉庫の設けられることは必要である、然し奉天一ヶ所だけ保稅倉庫を設けるだけでは徹底しない、既に貨物の交通路は間島龍井村を經由した北鮮方面の吉敦線移入と安東、大連、營口等の從來の海港からするものとあり、この點から保稅倉庫としては安東、奉天、長春、其他樞要都市にこれを設けることが必要であるといはれ、滿洲國側としても徵稅の徹底を期する上において最も合理的のものとなり保倉設置は圓滿に解決するものとみられてゐる

吉會線は安奉線に大打擊を與へぬ
新任關東軍交通監督部長 大村卓一氏の赴任談

新任關東軍交通監督部長大村卓一氏は村田秘書及び星野、藤原兩囑託を帶同赴任の途二十九日午前六時四十五分通過北行したが停車中ホームに降り立ち送迎の官民に對し謝意を表しつゝ左の如く語った

大急ぎの赴任で今後に於ける方針など全然考へても居ず又たお話する樣な材料もない、安奉線及び朝鮮線が吉會線の開通に依って大打擊を受けると云ふ噂さが頻りにある樣だがそんな事はあるまい、特に鮮內と南滿方面への物資輸送は無論從前通りだと思ってゐる、兎に角歐亞連絡の大動脈だから打擊なんてある筈がないではないか、それに東京、新京間の從來の所要時間約七十時間をスピイドアップすべく目論んでゐるからそうなればまづ十五時間から二十時間短縮され樣し、尙は一層のこと有利となるだらう、何れ近々具體化す模樣だから一般に懸念してゐる樣な一時に大打擊のある樣な事はないと云へる

關東軍軍用定期航空奉天本部

滿洲棉花會社實棉買入期日

【旅順】本年度に於ける滿洲棉花株式會社の實棉買入期日は左の如く發表された

▲旅順十月（廿五日）十一月（一、八、十四、十六日）十二月（一、十、二十一日）一月（十一日）
▲營城子十月（二十二、二十六日）十一月（二、二十二日）十二月（八、二十三日）一月（十、二十一日）
▲大連十月（二十日）十一月（四、十、十七、十八、二十五日）十二月（五、六、十五、廿一日）一月（七、十八日）
▲二十里堡十月（二十八日）十一月（十二、廿四日）十二月（三、十二、二十日）一月（九、十六日）
▲普蘭店十月（二十四、卅一日）十一月（七、十一、二十八日）十二月（七、十四、二十四日）一月（十一、二十日）
▲三十里堡十月（二十七日）十一月（九、十一日）十二月（九、二十六日）一月（十四、二十三日）
▲貔子窩十月（二十七日）十一月（二十九日）十二月（十七日）一月（十七日）

撫順中學の驛傳競走

【撫順】撫順中學では三日體育デーにつき例に依り龍鳳以西新屯、萬達屋、老虎臺、東崗、炭礦長宅、學校間の驛傳競走を決行するが、當日は選手以外の全校職員生徒一齊に沿線に出て應援につく筈で盛況を豫想されてゐるが、總延長約一萬五千米で昨年のレコードは白組の一時間五十秒であった

撫順附近の滿洲人三分の一方引揚ぐ
當局で人心動搖を極力防ぐ

【撫順】匪賊の再襲來說や燒打事件に怖えた撫順附近の滿洲人は過日來陸續として撫順から避難を開始し、郷里の山東方面に歸る者が多く既に全住民の三分の一を以てゐるといふが人心の動搖は守備隊長、炭礦長等の安全保證に關する布告により多少緩和された模樣なるも、尙歸省する向ありかくては撫順の將來のためにも甚だ香しくないといふので、當地實業協會は目下右避難者の足を留むべく附屬地內華商團と協力し可及的市內の空家を斡旋して避難者を住ませることに努めてゐるが、已にさなきだに華工北滿進出の折柄華工不足

華工不足に大惱み

に惱める當地土建業者の如きは一般人夫は勿論大工、左官、機械職工等の熟練工まで或は缺勤し或は他地に避難する等の狀態であるため一層手不足を感じ目下建築中の細川組東七條小學校は期限に間に合ふべくもなく野田工務所でも困ってゐると

傷病兵慰安の爲音樂會開催
鞍山中學の音樂部が

【鞍山】鞍山中學校の觀劇會音樂部では全く自發的に滿洲事變勃發以來各地に於て戰功を樹て名譽の負傷を被った傷病兵士の慰安を行ふべく計畫を樹て愈々具體化し決定したので、先づ遼陽衛戍病院を見舞ひ傷病兵一同の爲めに慰安音樂會を開催することに申し合せ數教諭に相談し、二日の日曜日に之を實行するそうで目下毎日放課後練習會を開いて居る

陶家屯に忠魂碑

【公主嶺】陶家屯の匪賊討伐に奮鬪名譽の戰死を遂げた獨立守備隊栗崎大尉以下勇士の忠魂碑を懷德縣公署の一手により陶家屯驛の西方高地に建設近く除幕式を擧行すべく目下これが準備に係員は多忙である

白系露人が巡查奉職を希ふ
近く數百名を募る

【奉天】奉天に居住してゐる英、米、佛、獨、蘇の各國外人は約八百餘名である、其のうち民會式の會合場をもってゐるのは白系ロシヤ人の約五百名と六十餘名のタタール人、百三十二名のユダヤ人である、タタール白露人等は滿洲國の獨立により日本がこれを承認し愈々滿洲國政府も堅實となり、やがて滿洲國が明るい王道政治によって在住民に平和が齎されるものだと考へいづれも前途に希望をもってゐる、特に白系ロシア人は從來の東北政權下に壓迫されて來た不安の境遇から脫れることができたので滿洲國の健實な歩みを期待し、奉山線其他の各鐵道警備のため路警署に巡查として奉職することを願ってゐる、現在約百五十名のものが奉天線に雇はれ溝幫子、錦州其他に配置されてゐるが、人員不足であるため近くハルビン方面から數百名募集し約六百五十名の人員をなして嚴重路警の任務につかしめる方針である、新附の民として白系露人は滿洲國人同樣待遇されるので非常に感謝してゐる、サウエート國籍人は事變前までは約百餘名居住してゐたが、時局不安のために本國へ引揚げたるもの多く、現在サウエート政府も滿洲國を承認する傾向があるので弗々歸來するものとみられてゐる、なほ新國家承認の意志を持つポーランド人は滿速通のフックス商會と合…師の七、八名であるが、ポーランドはソウエート政府より早く承認をするだらうといふてゐる、其他英、米、獨、佛の各國人も大した減退を示して居らぬが兵工廠其他舊東北政權時代に顧問技師又は飛行家として雇傭されてゐたもの、或は兵工廠に品物を納入してゐた者らは餘儀なく引揚げた、奉天も漸次大都市となって行くので外人の數も增加し、門戶解放、機會均等の實も現はれて來るであらうと

鮮農の移民は明年から實施

【奉天】鮮農の滿洲移民については一切總督府において立案し來年度から鐵道沿線の水田地、奉天、遼陽、鐵嶺、長春、吉林等の可耕地を選定し移住せしめる計畫で來年度までに各地の調査に着手する豫定であるが、滿洲農民を壓迫する性質の移民でなく、滿洲の未墾荒撫地をして價値あらしめるので滿洲國としても歡迎してゐる

天下好逮捕の單巡捕を拔擢

【旅順】過日旅順管內双島灣に來襲の鯨山出身の海賊頭目天下好を逮捕した山頭村巡捕張際雲に對しては旅順警察署に於て表彰方考究中であったが一日附で巡捕長に拔擢された

不埒な盜み
軍部關係の品を盛に窃取す
工事請負を奇貨とし

【奉天】愛媛縣宇和島生れ市內紅梅町卅三番地菊池英一（三九）は昨年十月頃より關東軍野戰航空廠の工事請負をなしてゐたが、之を奇貨として本年九月廿日頃まで同廠內にあった航空用揮發油八罐、十五馬力發動機一臺、同三馬力一臺、ポンプ二臺、チエンブロック一臺その他兵工廠にあった印刷機、機械器具を數十回に亘って窃取、之を日滿人に賣却不正利得をなしつゝあった處遂に兵工廠憲兵分隊の手によって檢擧され窃盜被疑者として廿八日一件書類と共に身柄は不拘束のまゝ奉天總領事館に送られた、尙被害額は數千圓に上る見込みであると

鄭家屯に雹降る

二十八日午後三時ごろより豪雨中降雹あり、直徑三分大にして一面ナフタリン球をふりまきし如く氣溫頓に降下す

伸行く鳳凰城の道路大改修
鮮人百數十名を使ひ

【鳳凰城】警察署の新設、飛行場の新設、電燈の新設等々で漸く發展して行く當地はこれに伴ひ驛貨物大倉庫の增築、多數官舍や駐屯地の新築であちらもこちらも鑿の音、鎚の音勇ましく今は殆ど空地もない迄に建ち並び立派な市街を形成しつゝあるが一方目立って惡いのは街路である、殊に驛前大通りは車馬の交通頻繁で雨後の如きは最も甚だしい、秋は紅葉の鳳凰城も之がため市街美を損するのみでなく衛生的から見ても甚だ良くないので警察署ではこれを遺憾とし自治會と協力して毎日失業鮮人百數十名を使役し非番警官總出で監督に當り街路の大改修を爲すことに決定し三十日から之れに着手した

撫順一色吳服店の裁判沙汰

【撫順】市內東三番町二〇番地合資會社一色吳服店の出資者（二千圓）たる同町二二番地伊藤吉藏氏と勢力出資者一色市次郎氏との係爭事件は今春三月伊藤氏は帳簿檢査の結果一千九百餘圓を一色氏が橫領消費し又妻女松代氏は窃盜犯なりとして撫順署に訴訟を起したが結局消費貸借として不起訴となりゐたるところ同氏は今回更に飯島辯護士を代理人として商法違反の訴訟を提起目下撫順警察署に於て取調べ中であるが一方一色氏夫妻は右不起訴處分となると同時に今度は有川辯護士を代理人とし伊藤氏を相手取り橫領、窃盜の告訴狀を提出中のもので、この復雜な係爭事件がどう解決されるか興味をむけられてゐる、なほ同會社は去る昭和五年十月前記條件で登記され營業を開始したものであるが、その後一色氏は毎年度報告もせず帳簿の檢査もさせず當時伊藤氏の出資せることゝなれる金二千圓の財產を費消してゐるといふのであるが登記と實際財產は果して合致してゐたるや否や當局でも疑問を挾んでゐるやうである

旅順の九月中產地證明

【旅順】九月中における旅順港よりの產地證明を與へた輸出工業品は左の如し

名稱	件數	數量	金額
牛肉	三件	一,七〇〇貫	一五,三六八圓
生糸	三件	三三三貫	一七,三〇〇圓
家畜飼料	一件	六六四貫	三,一〇〇圓
麵屑	同	一四六貫	一,一四〇圓
鷄	同	六〇〇羽	四三〇圓
生鷄	二件	三五,〇〇〇羽	三,四〇〇圓
苹果	七件	六,四〇〇貫	一,三〇〇圓
硅石	一件	一,五五〇噸	四,一六〇圓

天野○團長來吉

吉林電話　吉林には思ひ出深き我が天野○團長は二十五日午前九時チチハルより飛行機にてハルビン新京を經て午後一時四〇分吉林飛行場に到着、直に師團司令部に多門師團長を訪ひ軍務の報告をなしたる後當地某所に於て某要人と秘密打合せあり、午後六時より師團長の招宴に臨み廿五日は一泊翌廿六日午前九時五分發奉天、遼陽方面へ向った

聯隊出動す

吉林通信　數河より引上げた第○○聯隊は昨報廿六日五時三〇分○兵○○隊と共に吉林發○○線を經て○○方面に出動せり

匪賊、食糧難で水稻を刈る
公安隊が出動討伐す

【鐵嶺】縣下白旗寨には義勇軍第三六六團と稱する千餘の一團蟠居し民家に司令部を設け橫行しつゝあるが、食糧に窮し附近の水田に稔ってゐる水稻刈取りを計畫し多數の滿洲人を使役刈取らしめつゝある模樣にて、縣政府は法庫縣境に出動中の公安隊を此方面に出動討伐せしめ鮮農の水稻刈入れを保

刈入れ中の六名人質となる

【鐵嶺】二十八日朝五時頃縣下鎭盤（鐵嶺大甸子中間）に於て鮮人金碩祿（三〇）安炳浩（二三）金東植（二三）の三名が滿洲人三名と共に水稻の刈入れ中、突然長銃九所持せる匪賊十名が現はれ驚き騷ぐ前記六名を威嚇し人質として拉去南方に逃走せりと急を知った金碩祿の弟は正午頃鐵嶺に逃げ歸り屆け出た

昌圖附屬地東方でわが警官隊苦戰す
開原署長救援に赴く

【開原】昌圖附屬地東約一邦里の石山に頭目濟龍の率ゐる三百名の匪賊團來るとの情報により、開原警察署昌圖派出所員と關東廳遊擊隊が三十日午前二時これが討伐に向ったが、賊のため包圍され衆寡敵せず苦戰に陷った、急報に接し守備隊は同午後二時出動、開原警察署では非常召集を行ひ、寺田署長自ら率ひて午後二時三十分應援に向った、前記遊擊隊員のうち○名は午後六時附屬地に歸着したがあと○○名の消息は午後七時尙不明である

戒嚴令漸く解かれ 吉林の邦人激增す

城內外共平和に輝く

【吉林】本月十日午後七時事變の重大化により戒嚴令布告されて以來こゝに半ケ月餘、城內外の情景も戒嚴令下にありては火の消えたる如く道行く人の影もなく靜かな夜の街に聞ゆるは勇ましき皇軍の靴音許り、全く戰場そのものゝ如くなりしも今や戒嚴令も解除され

吉林省城は全くの平穩我國の滿洲國正式承認によつて日滿の親交も愈々親密となり、この吉林に安住の地を求めてくるもの、數增加し邦人のみにてもその人口五百人の增加を示し、この外滿鮮人の來吉したもの多數獨立一周年を迎へた昨今益々平和は輝きつゝある

組によつて四年振りに行はれる華やかな大會の序幕は切つて落された、賑かな樂隊の音に市民は和氣靄々、興味深きプログラムは展開された、が午後四時過ぎの驟雨により進行を阻まれ變り易い秋空を恨んだ、然し小雨なので競技はそのまゝ續行したが五時頃約三十分に亘る豪雨にグランド使用不可能となつた爲め遺憾ながら中止するに至つた、尙當日の各種競技優勝者に贈られた主なる賞品は次の如くであつた

優勝銀楯（四百繼足）王介公縣長
同　上（八百繼走）王　健　楨氏
銀カップ（百米）　安東運動具店
同　上（四百米）同
置時計（マラソン）高岡縣參事
銀製色瓶（千五百米）孫　榮　明氏
同　上（自轉車競走）同　氏
野球時計（障碍物）徐　鐵　珊氏

注文殺到すれど 新米は出廻らぬ

撫順の精米所休業同樣

【撫順】匪賊橫行のため撫順縣下及び背後地たる新賓縣下の水稻は立穗の儘にて刈取出來ず、從つて本秋の新穀は目下漸く二百石內外の出廻りを見たゞけで、頗る不活潑で大連方面の注文殺到に引きかへ現物不足で關係商何れも弱つてゐるし、殊に精米所も日鮮人經營の六ケ所があるが、殆ど休業に等しく百數十名の從事員等は失業してゐる

小野田セメント 鞍山に工場設置か

【鞍山】多年の懸案であつた小野田セメント會社大連工場は鞍山に昭和製鋼所が建設されることに關いて來て滿洲に於ける洋灰界が漸次多事ならんとする形勢にあるので、最近著るしく鞍山に分工場設置が具體化した模樣であるが、尙關する處に依ると最初のプランにより滿鐵會社及小野田の合資をもつて一會社の設立を見るもの、如く觀測されて居る

州內苹果を 內地へ續々送る

【旅順】關東州產の苹果輸出は爾來滿洲果實組合に依り極力その販路を開拓し、最近漸くその眞價を認識せられるに至つたが、本秋は已に去る二十八日第五回の輸出を行つた、卽ち種類は紅玉で大阪へ三百箱門司へ百五十箱臺北へ二百箱小計六百五十箱に達し、同日迄の總輸出數は二千六百五十箱に達してゐる

匪賊が刈入の 保險料を徵收

一天地二元で協定

【營口】匪賊頭目振軍は約五十名の部下と共に先頃より西樓窩、蓮花泡兩部落に滯留、同村長に對し刈入保險を申込居りしが、遂に一天地大洋二元の保險料を以て協定成立を見たもの、如くである

安東市民 運動會成績

【安東】待ちこがれた安東市民大運動會は爽凉の風吹き渡る二十九日六道溝大トラックに於て賑やかに開催された、秋空をゆるがせて炸裂する煙火の音に市民の心は早くも會場に飛んで十時過ぎには續々と詰めかける老若男女に依つて棧敷は埋められ學校生徒の可愛い聲援に大會氣分は漸く高調に達した、これより先午前九時全員起立「君が代」合唱裡に國旗を掲揚し多田會長の開會の挨拶後百米第一

旅順で逮捕した海賊の頭目老九事李德仁（33）

開原縣警察隊が 金山好一味擊退

【開原】開原縣警察隊三百餘名は九月二十九日午前九時城內を出發し、開原縣第七區金家寨馬家寨一帶に在る金山好の一味安天下の率ゆる二百餘名の賊徒討伐に向ひ、午後三時馬家寨前方に於て賊と遭遇し迫擊砲を以て猛擊し南方に擊退した

鞍中の競技會

【鞍山】十月三日は全日本體育デーに相當するので鞍山中學校職員會主催のもとに同日午前九時より同校々庭に於て秋季陸上競技會を開催すべく目下同會に於て計畫中であるが此の度は春季の家族會と異り記錄本位の競技會につき各色別班毎に目下猛練習中である

奉天醫學會の演題

【奉天】奉天醫學會は十月三日午後四時十分から滿洲醫科大學醫院第五講堂に於て開催演題左の如し

一、三叉神經痛の解後頭蓋窩手術法に就て　松井　敏行
二、市販化學藥の純度に就て　山下　泰藏
三、淋巴球數による百日咳診斷　稻葉　逸好
四、實驗的「ヂフテリー」後麻痺の研究（第三報告）　牧　常彥
五、牛の攝護腺より吾々の得たる一新成分「フォルステリン」の研究（第二報）蛙蚪虫の發育に及ぼす影響に就て　寺田文次郎　和田　信夫

營口のコレラ 防疫機關を撤廢

魚介類移出も解禁

【營口】今年營口に於て日滿關係當局協同に依るコレラ豫防は豫期の成績を擧げ虎疫も愈々終熄狀態に至りたるを以て當局は先頃より解除方を關東廳に對し申請中の處九月末日を以て解除の旨指命ありたるが爲特設せられたる防疫機關も撤廢せられた從つて十月一日より生鮮魚介類の移出禁止等も解除され平生に復せり

夫に病死され 黑髮を切る

【奉天】夫の病死と共に黑髮をプッつり切つた貞操夫人……市內葵町廿一番地長副島藏氏は嘗てウエルフホフ氏紫斑病といふ珍しい病氣で滿洲醫大醫院に入院中であつたが、夫人かさりさんの懸命な看護もその甲斐なく遂に眠るが如く黃泉に旅した、この不幸に逢つたかさりさんはまだ二十七歲の若さで失望の色も見せず、夫君が小學校の教員として勤めその感化を受けたゞけに志操も健氣なもので、夫君の死去と共に房々しい黑髮も何の惜氣もなく根元からプッつり切り「妾は永久にあなたの妻であります」と誓つたのである、尖端に尖端を行き女の貞操觀念は漸次乏しくなりつゝある奉天に於てこれは珍しい夫君に仕へる夫人の龜鑑として附近の人々の專ら賞讚の的となつてゐる

旅順

◇市中の噂◇

旅順署が六世天下好を捕へた事は近來にない大手柄、而もそれには營內會屯の保甲制度が與つて力ありしこと、將來の警備政策上の好參考資料である▲この點、新署長加藤警視就任のはなむけとしたい、同警視の旅順署長轉出は森本課長の可愛い子に旅させる老婆心に因るといふ▲右により林局長は懷刀久下沼警視を側近に常置せしめ得、一擧兩得である、加藤氏も清水、久下沼兩前署長の要領に倣ひ部下を信頼し自らは餘り手を下さず悠然と構へてゐるがよろしい▲市議の改選期が切迫して來たが兎角議論倒れになる市會をリードすべき不偏不黨組の一團を入れ、新空氣注入の案が後任市長問題と共に某要路に於て考究されてゐる▲市長も市政に明るい少壯有爲の材を推すべく、市を老朽監官の姥捨山たらしめてはならない、人材を得られなければ年俸一萬圓位の有給市長を輸入しても良からう、半額位は關東廳の補助を仰ぐ事も敢て至難でなからう

旅順放送

▲新任關東廳商工課長山中德二氏は三十日在旅各方面を歷訪就任の挨拶を述べた
▲敦賀町五九四谷ミサコ（九）二十九日鼻ヂフテリヤと診斷
▲八島町八幡木孝子（三）吉野町六辛島敦（二）兩名は二十九日赤痢疑似と診斷さる

▲旅順神宮奉贊會では三十日午後二時から幹事會を開催若林氏永山會長より從來の經過報告に今後の方法に就き打合せを爲す處があつた

營口 秋季大祭

當地に於ける一大年中行事たる營口神社秋季大祭は來る十月三日盛大に擧せられる事となつた、尙大祭次第として宵祭の儀を二日午後七時より執行後例祭の儀が三日午前十時半より行はれ正午社務所に於ける直會式を以て終る筈であるが之が爲營口に於ける日本側各銀行は例年に倣ひ當日休業すと

鞍山 三交代に還元

製鐵所で

鞍山製鐵所では時局勃發以來現場の三交代勤務制所の勤務方法を二交代に改めて居たが、最近時局も稍平靜となつたので其の中に日本人の從事員に限り十月二日より舊の三交代に還元する事となつた

遺骨凱旋

本溪湖守備隊の戰死者上等兵土屋政雄氏の遺骨は三十日午後二時五十三分着列車にて鞍山に到着し守備隊第六大隊本部樓上貴賓室に安置され佛教團及び有志多數參拜し一夜を明し一日午前九時二十四分發列車にて官民多數の見送りを受け大連驛經由懷しの故鄉へ還送せられた

撫順 硬球野球大會

鞍山體育協會野球部主催の全鞍山硬球野球大會は既報の如く滿鐵本グランドに於て開催されるが、昨年優勝した實業軍も參加に決し二十九日午前十時より製鐵所應接室に於て再協議抽籤の結果十月一日から左の組合せで大會の幕は切つて落されるが一般野球ファンに頗る期待されて居る

▲第一回戰二日午前九時實業對庶務
▲豫備戰一日午後四時會計對製造
▲第二回戰二日午前十一時五星會對豫備戰勝者
▲決勝戰午後二時より開催の筈

橋本少將來撫

關東軍憲兵隊司令官橋本少將は三十日午前八時十分着列車で高級副官上砂少佐及び奉天憲兵分隊長增岡少佐を帶同して來撫、小川分遣隊長の案內にて直に撫順分遣隊に入り小川隊長以下隊員に對し一場の訓示を行ひ諸處巡視を終へたる後炭礦事務所、守備隊、憲兵隊千金分遣所を視察、縣公署に敬意を表して炭坑、製油工場を視察し同十一時五十分離撫した

小林助役退院

滿鐵本線湯崗子驛匪賊襲擊の際銃火を胃して勤務に從事中賊彈にあたて重傷を負ひ鞍山滿鐵醫院に收容され加療中であつた湯崗子驛助役小林宗次氏は愈々全治して約五十日振りの二十九日目出度退院した

鳳凰城 二十周年記念式と慰靈祭

鷄冠山小學校では來る十月一、二の兩日同校創立二十周年記念式並に歸幽職員兒童慰靈祭を擧行する が行事次第は次の如くである

十月一日
午前九時記念式擧行、午前十一時慰靈祭擧行、正午祝賀宴、午後一時學藝會開催、午後八時記念映畫會
十月二日

鐵嶺 小學校運動會

午前九時成績品展覽會並にバザー開催、午後一時記念運動會開催

吉田中尉の芳志

鷄冠山守備隊吉田中尉はさきに北滿水災義捐金として金二十圓也を寄附したが今又鷄冠山小學校へ金三十圓也と同地幼稚園へ金五十圓也を寄附した

鳳凰城小學校では來る十月四日午前九時より同校々庭に於て陸上大運動會を擧行する

仁戶田軍醫正凱旋

當地衞戍病院仁戶田軍醫正は本年一月三十日長春に於て野戰病院隊を組織しハルビンに進出更にチチハルに出動して第一線に立ち一部は遠く克山附近にまで進出して戰傷病兵を收容し大水害と鬪ひつゝも八ケ月間克く其任務を果して廿九日午後一時五分着臨時列車にて凱旋したが、驛頭には在鐵官民百名歡迎し記念撮影後仁戶田軍醫正より出迎へ官民に對して謝辭あり前田時局後援會長祝辭を述べ一行二十六名のために萬歲を三唱し解散したるが、一行は凱旋と言へ編成を解かれたものでなく當分の間鐵嶺衞戍病院に於て待機するもので近く再び命令によつて出動するやも知れずと

傷病兵に新聞贈呈

鐵嶺婦人職合會では二十七日幹事會協議の結果なすべき幾多の計畫あるも取敢す、日滿婦人の交驩會を戰傷病兵慰問に每日の新聞紙を贈つて慰安を與へるに決定した、而して日滿婦人交驩會は滿洲側の意嚮を聞き期日會場交驩方法を定める筈、戰傷兵慰問の新聞贈呈は會員が各家庭に於て讀む新聞を纏めて贈るべく近く着手すると

戰傷兵來着

チチハル野戰病院に收容されてゐた戰傷兵中七十一名は二十九日朝五時着列車で到着當地衞戍病院に收容された

開原 金山好開原を窺ふ

義勇軍司令金山好の部下打天下、安天下振乾坤の率ゆる五百餘名は九月二十七日午後一時三十分開原縣第五區前後施家堡一帶の地點に移動し來り、打天下振乾坤の率ゆる三百名を殘し安天下は二百名を率ゐ金家寨馬家寨一帶に侵入し附近各村落に十騎二十騎の斥候を出し開原附屬地及び開原城內の狀況を偵察せしめつゝある模樣であると

匪賊と交戰擊退す

開原縣西北部縣境警戒中の開原縣警察隊第五六中隊及び田家窩棚自警團は九月二十七日午後四時三十分、金溝子西方約三邦里開原縣張家窩棚に於て匪首天樂の一味二百餘名に遭遇し、交戰約三十分にして賊を擊退し人質三名馬四十五頭荷馬車二輛を奪還したが該賊團は九月二十八日早朝慶雲堡に入つた模樣であると

四平街 ドロンゲーム

保線區對驛の軟式野球

當市軟式野球大會の準優勝戰保線區對驛戰は昨二十九日午後三時半より南グラウンドに於て施行されたが篠原、小高の兩軍投手懸命の好投に一對一の儘補回戰に入つたが兩軍共チャンスなく結局十二回の裏でドロンゲームを宣せられたが近來にない熱戰だつた（主審島

公主嶺 署長の更迭

公主嶺警察署長齋藤直友氏は今回關東廳警務課奉天兼務に榮轉後任として本廳より警部中村延一郞氏來公すと

四平街 輸組利子引下

田氏）

當地輸入組合にては曩て組合本部より貸付金の利下げに關し滿鐵會社に申請中の處此程承認の報に接したので、一日より當分の間貸付金百圓に對し從來の日步二錢五厘を二錢に引下げること、なつたが之に伴ひ商團積立金も同日付にて貸付金一百圓迄を金四十錢（從來二十錢）に改正卽日實施すること、なつた

劇場改造

四平街劇場の所有者驛前池田耕氏は過般來同劇場內部の徹底的改造に着手し、日夜使用者を督勵して工事の進捗を計つて居るが近く竣工の運びとなつたので來る十月五日頃同氏主催の下に披露を兼ねた第一回興行を行ひ、爾後活動常設館として活躍する由であるが全く面目を一新し、昔の面影更に無き同劇場は四平街市の公衆娛樂機關としての使命を果すであらう

保安隊の出動準備

懷德縣長春田氏指揮の討伐により伊通縣城を占據した大匪賊團を擊退後、二十六日同縣景家臺子に五百餘名匪賊來襲との急報に保安隊及警察隊出動交戰擊退、歸公後間もなき二十九日又復該匪賊來襲し放火掠奪を演じ山中に逃走したのでこれが討伐のため保安隊は出動準備中である

五勇士遺骨通過

北滿匪賊の討伐に名譽の戰死を遂げた長春步兵第四聯隊山本伍長以下五勇士の遺骨は三十日午前十時五十五分當驛着の南行列車にて着過ホームには佛教團多數官民整列靈柩車を默禱拜送した

洮南 領事館事務所充實

鄭家屯領事館南洮南事務所は從來部長一名巡査一名にて日鮮人の增加と相俟ちて手不足を感じ人員の增加を必要とされて居たが廿八日鄭家屯領事館より邦人巡査一名鮮人巡査二名轉任し來つた

第三大隊開通へ

四洮線邊昭附近に又もや千五百の匪賊現はれたる爲め洮南獨立守備第三大隊は大隊長岩田中佐指揮のもとに廿八日午前六時討伐の爲め開通方面へ出動した

鄭家屯 憲兵一行歸來

二十六日出發し義勇軍第一大隊司令于海川一味の者を引取りの爲め蒙古博王府に向へる鄭家屯守備隊十名と花田永谷兩憲兵二十七日歸鄭の豫定なりしも歸來せず氣支ひ居りし處、二十八日午後二時無事歸來す一同愁眉を開く于海川は蒙古軍護送し來り行き違ひになりしものなり

于海川の自白

憲兵隊に於て取調べ中の于海川の自白する處に依れば當地守備隊に石油を振掛け放火する豫定でありしと言ふ又當地豪商に連絡ある模樣なり

通遼に襲來す

通遼に匪賊襲來す敵は三百餘直に擊退し我負傷者七名を出せり

お化粧の常識　七

寫眞化粧の仕方

◇白粉は何が良いか？◇

林長二郎丈

映畫の方で長らく苦勞致して居りますに因んで、寫眞化粧の仕方に就て、少しお話し致して見る事に致します。

寫眞化粧――別に斯んな言葉が有る譯でも有りませんが、兎も角も、此寫眞を撮る時には一体如何な心得で化粧をしたら宜しいか？といふ意味のお話をする積りなので、何しろ對手は機械の容赦は無し、唯光線だけが頼りと云ふ譯でございますから、自然寫される方で工夫が要る事に成るのです。

茲で、皆樣――と申しました所で勿論御婦人の方々ですが――其皆樣方にお尋ね致して見たいのは從來濃化粧で一体生々とした寫眞が撮れた事が御座いませうか？何と無く、云はゞ

人形式に寫りは

致しませんでしたか？と云ふ事。假令それ程濃く無くとも、兎角に白粉して撮つた寫眞は從來何と無く、もう一つパッとしない、つまり鮮然と寫らないと云ふ恨みが有りましたに相違ございません。

ところが、最近に成りまして此寫眞が實に鮮然と撮れる白粉ができましたのです。美粧料として凡ゆる意味から非常に評判の宜しい白粉ですから、最早御存知でせうが、それは日本で初めて出來た、チタニウムに或る特殊の成分を配合して創つたといふサーワ白粉の事で御座います。

此白粉の發明されました動機といふものが、人体に有毒な含鉛白粉を何うかして驅逐して了はうと云ふ所に在りましたのださうで、夫には古來一番美しく附着と云はれて居た

含鉛白粉が相手

な丈に其苦心も想像の外で、純無鉛で無害なのは勿論其化粧効果に於ても含鉛白粉に優らなくては成らない道理、然も遂によく之に成功致しましたのが、即ち此サーワ白粉なので御座います。

そして、此白粉の寫眞うつりが從來に無く鮮かに鮮然するといふのもつまりは其化粧効果の素晴らしい事を證據立てる一例に過ぎない斷定なので、一口に申しまして、此白粉の効果は

生々として明るい

ので御座います。極自然に冴え冴えとした仕上りですから、自然從來の樣に何と無くボヤケると云ふ感じが些しもありません。

從つて其寫眞効果も從來に無く生々と、生地を透した明確さに寫るわけで御座いますが、その理由としては、紫外線の反射する性質が此白粉には在りますからで、此事實が取りも直さず其お化粧を明るくもさせ、又寫眞うつりを鮮然ともさせ、同時に太陽光線に日焦する事をも豫防させる事に成るので御座います。

そして之からの夜長の雷燈の下でも其白い美しさが變らないので御座います。

それに此白粉は、從來に無く分子が細かくて附着が頗るよく、特に伸びる力が

三倍以上もある

といふ事實が、一層自然なお化粧つまり從來の塗潰し式の白粉とは全く違つた効果を現す事に成りますので、同時に汗や脂に崩れたり亂れたり、或ひは粉が浮く等いふ事も無く、實際驚くほども、其美しい化粧が永保するのですから、全く珍らしく優れた白粉が出來たものと云はざるを得ません。

斯うした良い白粉が出來て見ますと、寫眞を撮るにしましても非常に有利に成りました譯で、殊に之から追々と秋冷に向ふに從ひ、お召物等も自然寫眞効果のよい黒つぽい色に成るわけですから、一つ早速此サーワ白粉で試して御覧に成るのも面白からうかと考へます。さて、

寫眞化粧の仕方

ですが、サーワ白粉なら粉でも煉でも水白粉でも、或は固形白粉でも總て同じ性質ですから同じ効果が得られますが、大体の要領と致しましては、普通の化粧よりは白粉なり、從つて紅なりの濃淡を一層多く致して宜しいので、つまりは例の顔を變へる化粧法、例へば眼の小さな方でしたら之を大きくする爲に紅を加減して其睫毛の上に加へますとか、又顎の出た方でしたら其處の白粉を一層薄くするか、或は下へ紅を布くとか云つた樣な仕方を可也強く用ひて宜しいので、殊に鼻筋を通す白粉は高い方でも施すべきだと考へます。勿論此鼻を高くする仕方に致しましてからが

眼頭の所から

小鼻の兩側へ薄く紅を布く仕方も有ります事等は皆樣既に御承知の如くで、茲に紅と云ひますのは矢張此白粉と同じ系統のサーワ頬紅の事で、或ひは都合でサーワ口紅を用ひられても差支へは有りませんわけですが、然し此頬紅は水刷毛がよく効きますから特別に好都合で、又極自然なお化粧が出來るので御座います。（序でながらお化粧品は總て出來る限り、同じ系統の同じ製造所のものを使ふべきは勿論の事と存じます。）

それから口が大きければ口紅は眞中だけにして、周圍は白粉を伸ばして置くとか、總て私共俳優の化粧法が應用出來ますわけで、要するに平生の化粧とは少し強くするのが宜しいので、そして態度は決して堅く成らず、口も奥歯を嚙合せる程度で、自然に樂な氣持で

レンズへ向ふのが

秘訣と云へば秘訣で御座います。

次に丸顔は正面、中高の長顔は横寫しが宜しい樣で、椅子へ掛ける場合は淺く掛け、特に手まで寫す場合には必ず忘れずに之へもお顔に適ふ程度の白粉を施さなければ、飛んでも無い結果に成る譯で御座います。

序でながら一般に薄色や柄の細かなお召物は兎角引立ちません。

本社主催 相撲豫選大會

土俵上に榮光輝く 由緒ある優勝旗

けふは果して誰が手に歸するか

全滿の精鋭(四校五組)出場

本社主催、大每大連支局後援の全國中等學校相撲大會豫選會は愈々今二日午前十時より大連運動場プール内假土俵に於て全滿の精鋭四校五組出場の上爭覇されるが、永年滿洲學生相撲界のために多大の盡力をなしつゝあつた故金子雪齋翁主宰の振東學舍では本社のこの擧に贊同し併せて斯道奬勵のため同社が主催せる全滿學生相撲大會の優勝チームに授與し來つた榮ある優勝旗を本社に讓渡することゝなつた、振東學舍主催の全滿學生大會は十餘年前中絶されたが榮ある優勝旗は最終年度の優勝校たる大連商業が現在保管せるものであるが、或大會の如きは大連商業と醫大とが勝點同點となり遂に勝敗決せず優勝旗の旗を大商に、棹を醫大にと別々に授與したといふが如き貴に由緒ある優勝旗で、保管者たる大商も本社への移管讓渡を快諾されたので本社では明二日土俵修祓式後土俵上において大商より振東學舍に優勝旗返還を行ひ更に振東學舍太田誠氏より本社佐賀局長にこの榮ある優勝旗の讓渡式をなすことに決定した、尚本社ではこの榮ある優勝旗を永久に記念するため每回優勝校に授與し持ち廻ることに決定した、入場式の式順左の如し(入場無料)

入場式 午前九時 大連運動場

一、午前九時開始
一、土俵修祓式　沙河口神社宮司
一、選手入場式
一、君ヶ代合唱　一同唱和
一、優勝旗返還　大商より振東學舍太田誠氏へ
一、優勝旗讓渡　大田誠氏より本社佐賀營業局長へ
一、開會の辭　佐賀營業局長
一、審判注意　審判長　淺見淺一氏
一、相撲開始

秋祭り

氣は澄みたり 社前の賑はひ 大連神社例祭

一日は大連神社秋の本祭である、この日神社では午前十時より祭典を執行、金井民政署長代理、竹中滿鐵總裁代理、小川市長、大内市會議長、石本氏子總代等の玉串奉奠あり小學校を代表した南山麓小學校を始め各小學校、女學校、中等學校生徒、一般市民の參拜引もきらず神社では拜殿に於て大神宮御下賜の御神寶その他寶物の拜觀を許し社務所新館では活花會あり小學生徒の劍道及仕舞多流の奉納樂曾我酒家喜劇等もあつて境内頗る雜沓した、沿道また今流行の模型飛行機、風船玉その他の玩具店ズラリと軒を並べ子供達の足をとめてゐる、市中目貫の區には大國旗が交叉され戸每には國旗軒燈など吊るされいつになく人出も多く、いかにもお祭氣分が溢れ賑はつた

沙河口神社 お祭り氣分滿溢 秋晴の空に打揚げ煙火

沙河口神社の秋祭り本祭りは一日午前十時から執行、河野社司及び各神官修祓の儀あり次いで嚴かな

ラグビー戰延期

二日午後二時より大連運動場に於いてキックオフされる筈であつた大連倶樂部對旅順工大ラグビー戰はハンデイキヤツプレースのため延期不日對戰することゝなつた

祭りの賑はひ (一日大連神社前所見)

端艇競漕 第二埠頭で

海事思想普及の意味で滿鐵では七年振りで短艇レース大會を二日開催しオール持つ手に漲のしぶきをかけ秋の海上スポーツのトツプを切る事となつたが同日は午前十時出帆定期船うらる丸で内地に悲しく向ふ勇士の遺骨を奉送の後第二埠頭を去る九十米のところに約二十米の間隔をおいて三コース作りゴールは甲埠頭より百二十米のところに作り滿鐵色別選手のレース一般選手のレース等々、恐らく歡聲が海上に上る事であらうが當日はルーフを色別應援席にベランダを招待席、一般の觀覽席にあて岩壁を役員席として一般の出入を禁ずることゝなつた

大會組合せ左の通り

一回　スカール豫選A、前十時二十分▲衣川、近藤、佐藤
二回　招待レース豫選、十時三十分▲A組海務局大連病院▲B組三國際運輸、水上警察、滿電▲C組大渚、福昌
三回　スカール豫選B十一時廿分▲村田、北村、山田
四回　天狗レース、十一時卅分あみだ會、北斗、鐵工中老組
五回　色別對抗豫選十一時五十分▲A赤組燭濤▲B黄組綠組▲C樺組、海老茶組
六回　スカール豫　選後○時卅分▲弘田、長野、河村
七回　女子スカール獨漕
八回　彌次レース、○時四十分▲A組KGCクルー工場C詰所G▲B組機關區B詰所一用度課▲C組詰所B所埠頭庭球消費B▲D組工場B詰所F▲E組バツテン詰所C七桂會▲F組第三埠頭分室用度課▲G組詰所E消費A詰所A▲H組機關區A工場實習▲I組詰所D同H調度係▲J組海龍、監理部▲K組はるびん丸
國際滿電▲L組第三埠頭本船係代辨係
九回　スカール決勝三時卅分
十回　招待レース決勝　四時
十一回　判察レース決勝　四時半
十二回　色別レース決勝　五時

書道展

王義之の書風を再現する 呂大乾氏書道展覽會

曾て北平政府時代歴代内閣總理の秘書であつた呂大乾氏は夙に王義之の書風を再現すると稱されて居たが、二、三の兩日滿鐵社員倶樂部樓上に於てこの力作にかゝる展覽會を開き一般の來觀を求むる由【寫眞は呂氏の筆跡】

雲明見山高木落知風動高下 不達人斜陽落秋影　呂大乾

署長案には覺えがない

當の石井署長語る

關東廳警務局長室に於て日滿産業博覽會の原理事長が小林又七支店の加藤外交員を敷き當然受領すべき補助金一千圓也を騙取し未だに返濟してくれないといふ事件に關し關東廳警務局は語る

石井大連署長の提案により債權者の手で博覽會を經營し福券を發賣するといふ救濟案に對しさきの大日債權者下相談會の席上某債權者は署長案なりとして一般に諮るところあつたが右につき當の石井署長は左の如く釋明した

博覽會が不始末の結果を招いたことは甚だ遺憾に思つてゐる、その後始末を如何にするかといふことに就いては目下債權者團で協議中であつてその代表者が私に債權者團が代つて四萬圓福券の發賣を行ひたいから許可してくれといつて來たのでその方法が妥當であり實行の可能性あれ

補助金の下附を否認

警務當局談

補助金を下附した覺えはない、勿論下附することにもなつてゐない、また警務局長室で金錢の授受をやつた事實もなく、やるやうにもなつてゐない、傳へられることは何かの誤りではないかと思ふ

帳簿査閲續行

博覽會債權者團實行委員は一日午前十一時から午後四時まで大連署應接間で博覽會の帳簿檢査を行つたが疑問とする箇所續々と發見されて今さらその亂雜振りに一驚を喫してゐる、實行委員等は三日早朝より引つゞき帳簿檢査を行ふことゝなつた

裏切り者 毆らる

産博事務員

大日滿協事務所囑託市内美濃町三一番地西坂巳○(三○)は三十日開催の債權團相談會に出席したところ博覽會事務員大瀧源一、奧村憲一兩名は「お前は裏切者だ」と怒號して毆打し前額部外數ヶ所に全治

大塚中尉以下の遺骨着く

香煙縷々たるなか 悲しき思出も新に

北滿全線に亘る今次事變に際し赫々たる武勳を殘して名譽の戰死を遂げた航空兵中尉大塚義治氏以下三十四勇士の遺骨は一日午後四時四十五分大連驛着列車で輸送指揮官石川正航空兵中尉以下十名の戰友並に遺族等に護られてしめやかに到着直に攝津町常安寺に安置したが驛頭に手向の香煙縷々として立のぼり軍部關係者を始め公私機關代表、町内有志學生等多數出迎へ殊に去る九月二十日吉林南方にて壯烈な戰死を遂げた齋藤歩兵少尉の未亡人ゆき子さんが遺兒一男二女の手を引いて從ふ姿は人々の新たなる涙を催さしめた、また大塚航空兵中尉は去る十六日月光を浴びて事變記念日に際し夜間警備飛行中不幸奉天西南方に於て敵彈を受け勇敢にも不時着せんとしたが遂に力盡きて顛覆や倒し直に手當を加へたが遂に一語も發せず陣歿を遂げたもので同氏は遺骨に代る生前氏の英姿を語る寫眞を破壞せる愛機の翼の支柱で作れる額に修めあるのが人目を引いた、なほ三十四勇士の遺骨は一日午前十時出帆うらる丸にて故山に歸るが例に依り同日午前八時半より埠頭待合所に於いて故勇士慰靈祭を執行する筈である(寫眞は大連驛にて)

臨時競馬

四日目の午後

一日の星ヶ浦競馬第四日目午後よりの成績左の通り、尚當日の馬券賣揚は七萬三千六百五十五圓

▲第五競馬(輕速歩六頭)三千二百米　第一着日新(李騎手)八分十五秒一、第二着旭慶、第三着愛國(配當)(單)六圓二十錢(複)一着四圓六十錢、二着四圓八十錢

【附加券】一等三百六十七圓廿錢、二等百廿二圓四十錢、三等六十一圓廿錢、以下廿圓四十錢

▲第六競馬(各抽九頭)二千米　第一着昇龍(福島騎手)二分四十五秒二、第二着水天(一馬身半)第三着青鳳(一馬身半)(配當)(單)六圓二十錢(複)一着六圓、二着五十圓、三着廿五圓十錢

【附加券】一等五百九十八圓五十錢、二等百九十九圓五十錢、三等九十九圓七十錢、以下十六圓六十錢

▲第七競馬(新抽七頭)千八百米　第一着寶山(二渡騎手)二分三十二秒一、第二着一星(鼻)第三着日輪(三馬身)(配當)(單)四圓(複)一着五十圓、二着九圓四十錢

【附加券】一等六百九十四圓五十錢、二等二百三十一圓五十錢、三等百十五圓七十錢、以下二十九圓八十錢

▲第八競馬(各抽六頭)千八百米　第一着海拉爾(二渡騎手)二分二十七秒一、第二着美川(三馬身)第三着若榮(六馬身)(配當)(單)七圓五十錢(複)一着六圓十錢、二着六圓六十錢

【附加券】一等八百八圓八十錢

▲第十二競馬(各抽甲八頭)千六百米　第一着旭(大多福騎手)二分十一秒二、第二着鳳翔(五馬身)第三着橘(半馬身)(配當)(單)九圓十錢(複)一着五圓四十錢、二着六圓二十錢、三着七圓

【附加券】一等七百八十五圓七十錢、二等二百六十一圓九十錢、三等百三十圓九十錢、以下二十六圓十錢

▲第十三競馬(各抽六頭)千八百米　第一着角凌(奧田騎手)二分廿二秒四、第二着豐(五馬身)第三着日之丸(二馬身)(配當)(單)六圓五十錢(複)一着六圓十錢、二着九圓二十錢

【附加券】一等五百二十八圓、二等百七十六圓、三等八十八圓以下廿九圓三十錢

淋病無料治療

根治請合

淋病は藥療其他の療法では到底根治至難慢性となり永久苦しむ人多し

一、淋病治療と經驗

當地に開業以來數年間斯病の治療に從事經驗するに透過光線治療に限る全治期間は人に因つて多少長短の差あるも全く根治せぬ者はなし

一、透過光線の特徴と効力

本光線は殺菌、治療の二作用を起し且つ身體に苦痛なく骨肉患部を通し淋菌を確實に死滅せしめて必ず根治す

一、滿否實驗の爲め初日一回無料
一、無効の時は料金返還す

大連市大山通二の四二(林洋行横入丸越染物店隣)
滿生堂透過光線科本院主
ジ・ピ・エル　荒川泰

タク解散申請

過般臨時總會で組合解散の決議をした大連自働車營業組合では一日山田組合長が贊成者十九名を代表し解散認可の歎願書を大連署に提出した

小銃射撃會

けふ射撃場で

大連市民射撃會主催本社後援の第五十四回小銃射撃會は二日午前八時半より春日池畔同會射場に於て擧行するが參加規定左の如くである

▲射撃開始午前八時半▲距離二百米▲姿勢立▲射彈五發▲使用銃三八式歩兵銃▲射撃料會員三十五錢、會員外八十錢

實業野球大會

大連新聞社主催の實業野球大會第一日一日の戰績左の如し

▲鐵道工場三A―二電友倶樂部(午後零時四十五分開始、二時二十五分閉戰、審判立石(球審)高橋(壘審)兩氏)

電友	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
鐵道	0	0	0	0	0	1	0	2	A	3A

(鐵道)田下谷島田下金木野 / 野高中出千宮寄青中 / 348726915
(電友)田部木武川串岡川岡 / 松岡玉菀菊大嶋古松 / 394165728

▲大連OB一三―八映畫倶樂部(午後三時〇五分開始五時十分閉戰、審判井上(球審)工藤(壘審)兩氏)

(OB)033 022 040 | 13
(映畫)011 000 213 | 8

日曜の催し

▲妙心寺讀錄提唱　二日の日曜より午前九時に變更
▲日曜講話　二日午後二時より本派本願寺關東別院にて左記演題にて開催
抱かれるよろこび　杉本布教使
二種深信　進藤布教使

大連日曜學校

一日午後一時から本派本願寺大連日曜學校では西本願寺別院で同校の開校二十二周年記念として秋の集ひを催した、式典後遊戯童話、童謠劇の餘興に大賑ひであつた

銀行團リーグ戰

銀行團リーグ第三日正隆對鮮銀戰は十月一日午前十時半實業球場に於て鮮銀先攻に開始(球審武井壘審大瀬)八對九Aにて正隆勝つ

安樂椅子

市會の名物男鈴木盲太郎君つくぐ述懷して曰く、俺は十三の歳から盲目になつた、ソレで俺は當時何になろうか、政治家になるか僧侶になるか、ソレとも按摩にならうか、一生を選らうか……といろく迷つたもんだ。

……◇……

で迷つた揚句最初は僧侶にならうと佛門に入つた、併し俺の性質では何うも大成するやうな見込みがないので俺は僧侶を諦めて按摩になつた、だがそれでも滿足しなかつた、でさうく政治家となるべく決意し臺灣に渡つたのである。

……◇……

當時臺灣には兒玉將軍が總督として居られたので將軍に會ふべく每日官邸に詰めかけたが最後に望みが叶つた時將軍は「俺しに來たか」と問はれるから「私の親分になつて下さい、然うすれば何もかも打ち明けます」と答へた、その時將軍は「コレは面白い男だ、よし望み通り親分になつてやらう」と云はれたので政治家になりたい希望を述べ弟子入りさせて吳れと懇願した

……◇……

ソレで俺は將軍のお指圖により當時政務總監の後藤伯を先生として按摩をしながら政治の講義を聞いたもんだ、出張の時でも臨作をお願ひし將軍や伯の按摩をやり一面市中の流しもして地方長官の批評など聞いて來ては報告の役を勤めたりした。

……◇……

その後俺は代議士にならうと決心したが肝腎の親分(故兒玉將軍)も先生(故後藤伯)も次ぎの親分(故犬養前首相)も皆亡くなつて代議士もさうくなれないふ今日の始末さ、は相變らずいふことが大きい。

曙の鐘 (424)

倉田潮　河野想多畫

曙（四）

マリアは春木が堅くたえ子を諦めてゐることを知つて、ひそかに心の中で驚いた。同時に彼女は初めて春木に逢つた時に感じた不思議に甘く温かい心の動揺を覺えた。彼女は かつて春木に 逢ふまで、さう云ふ心のときめきを感じたことがなかつた。が、初めて春木を見た時と、そして今と、彼女は二度はつきりとかつて知らなかつた不思議なものを心に感じたのだつた。

「これが戀と云ふものかしら」

一人春木の部屋を逃れて川岸の跡崖を歩いてゐながら、彼女は我知らずさう呟いた。同時に烈しい心の苛責を感じて自分の口を兩手でおさへた。

「たえ子さんと春木さんを再び結婚させる爲めに、こゝへ來てゐる自分が、その對手に戀するなぞと云ふ卑怯な行ひをしてい、だらうか」

それは到底マリアが己自身を許すことの出來ない罪惡だつた。彼女は二度とさう云ふことを考へまいと決心した。

しかし、次日春木と話してゐると、またもマリアは不思議な快よい羞恥と遙かな甘いあこがれを感じた。同時に彼女は已に恥じて眞紅になつてうつむいた。

「マリアさん、何うかしたのですか」

と春木は心配さうに訊いた。

「いゝえ」

と彼女は 答へて なほ紅くなつた。が、それをまぎらすやうに、

「春木さん、あなた、もう外が歩けて」

「歩けますとも。散歩しませうか」

「この邊は景色がいゝわれ」

「川ぶちまで行つて見ませう」

二人は連れ立つて外に出た。夕闇のこめた川の面は油色に光つて宵の明星が波の間に影を映して躍つてゐる。河鹿の聲に交つて、山鶯の聲も聞こえた。

「吊橋がもう少しで夕闇に消えやうとしてゐるところなぞ、まるで畫のやうだわれ」

「ほんとに自然はいゝですれ」

二人は次第に濃く立ちこめる夕闇の中に白い浴衣を浮立たせて、河原におり立つた。マリアの白い素足が殊更白く目立つて見えた。河原には五寸もあるやうな月見草が咲いてゐて、白い蛾が靜かにその上を舞つてゐた。

「あら、村の人があんなに岸に立つてこつちを見てゐるわ」

とマリアは背後に振返つた。

「何か云つてゐるやうですれ」

さう春木が云つた途端に、山の人の太い大きい聲が、笑ひを含んで

「新婚で御たのしみ」

とからかふのが聞えた。マリアはさう云つて冷かされるのをかへつて氣持よく感じたが、直さう云ふ感情を抱く自分を省めて苦い顔をした。そして、已の心にさし迫つた危險を逃れる爲めに、早く春木にたえ子との結婚を承知させればならないと思ひついた。

「春木さん、あなた、たえ子さんのことを今一度思ひ返して下さらない。私、東京へ出る時、引きうけて來たので、あなたが承知して下さらないと歸れないわ」

と彼女は云つた。すると、春木は冗談のやうに、

「歸れなければ、何時でも私とこゝで暮してゐればいゝではありませんか」

「他人の二人がそんなこと、出來ないわ」

「では二人で結婚すればいゝでせう。マリアさんとなら、私は何時でも結婚しますよ。でも、あなたがいやだから駄目だ」

「まあ、御冗談ばかり」

とマリアは危く答へたが、春木が、自分と結婚してもよいと云つた一言は、たとひそれが戯れであつたにせよ、マリアの心に深い感銘を刻みつけた。彼女は甘く幸福な感情に麻痺されて、目の前が明るく燃え出すやうにすら感じるのであつた。

新刊紹介

▲東洋貿易研究（第九號） 世界經濟恐慌の研究、支那の對外貿易（錢莊による爲替管理の提唱）苦境に喘ぐランカシア綿業、事變終熄後に於ける上海工業、佛領印度支那の旅（マンダリン道路に沿ひて）諸國の關税に關する法規改正（滿洲國、中華民國、佛領印度支那、暹羅、比律賓、蘭領東印度、英領北ボルネオ、英領印度、シシリア、土耳古、ザンヂバル、濠洲）北滿市場に於ける本邦品と水災の影響、一九三一年に於ける世界自動車工業、印度に於ける世界自動車工業、印度に於ける綿製品輸入近況、盤谷にけるアルミニユーム製品、南阿聯邦に於ける靴下、領事査證送狀制度と排日貨、ソウエート聯邦と日本、漢口血魂鋤奸團の暴状、一九三一年のケニヤ・ウガンダ對外貿易、北滿水害と暴利取締令の公布、東洋時事日誌（定價三十五錢、發行所大阪市北區中ノ島大阪市役所産業部調査課）

けふの放送

大連 JQAK　十月二日

▲午後零時十分ニュース
▲午後三時三十分ニュース
▲午後六時十分ニュース
（以下内地中繼六時三十分）
▲落語「今戸燒」三升家小勝
▲清元（七時）「今様須磨の寫繪 村雨松風」淨瑠璃清元榮壽太夫、同同志壽太夫、同同壽美太夫、三味線同正壽郎、上調子清元壽之輔
▲歌澤（七時四十分）（一）海晏寺（二）玉川 唄歌澤相模、三味線同寅右衛門
▲新内（八時）「明烏夢泡雪 山名屋の段」淨瑠璃富士松加賀太夫、同同綾瀬太夫、同同曾根太夫、三味線同時壽郎、上調子同鳴門
（以下大連放送局より八時三十一分）
▲連續新講談「赤穗義士打入戰譜」第二席白龍六郎
▲ニュース
▲氣象通報

第九回 滿日特選碁戰

先相先先番　四段 向井一男　三段 蒲原繁治

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

【5】

●八一レの九　○八二レの八
●八三チの八　○八四チの七
●八五ルの九　○八六ヌの八
●八七ヌの九　○八八ソの一
●八九ツの二　○九〇ロの十三
●九一ニの十四　○九二チの九
●九三チの十　○九四ワの九
●九五ワの十　○九六カの八
●九七リの八　○九八への十三
●九九ホの十四　○一〇〇リの七

對局者の感想

白曰く　九二九六と二目を提つては豫想外よくなつたように思ひました

まんが日曜附録

童話 小さな社(ちひさなやしろ)

橋本きよし 作畫

青々と高い空が晴れ渡つて居ます。秋のおひる一寸過ぎ。重なりあつた山々は陽の光にまぶしい程輝いて居ます。この奥深い山々の間を流れて居る谷川も銀の帯の様に光つて音もなく静かです。先刻から赤い帽子を冠つた様に頭の赤い嘴の黄色い綺麗な小鳥がその川べりの岩の上に、じつと眼を閉してウツラ、ウツラと氣持ちよささうに居眠りをして居ました。夢を見て居るのでせう。急に近所で大きな物音がして小鳥は思はず飛び上る程驚いて眼をさましました。

「何だ、一體今の音は、おそろしく大きな音だつたが」可愛らしい丸い眼をキヨロキヨロさせながらあたりを見まはしました。川上の山からきり出されて流れて來た丸太が小鳥の休んでゐた岩に突き當つた音でした。「何だビツクリさせる、死んだお母樣に逢つた夢を見てゐたのに、惜い事をした、けれどもう仕方がない。空も珍しく晴れ渡つて近頃にないよい天氣だ。今日はこれからあの木に乘つて川を下つて行つて見よう」

ひとり言をいひながら頭の赤い小鳥はピヨンと流れて行く丸太に飛び乘りました。丸太は小鳥のお客樣を乘せてボツクリボツクリ音を立て乍ら流れて行きました。大分下つた頃です右側の岸から聲をかけたものがあります。それは仲良しの青い帽子を冠つた小鳥でした。「僕は下へ見物に行つて來るんだよ。君も一緒に行かないか」「氣をつけないと下は危い所があるさうだから」「ああ、有難う、ぢや行つて來るよ」

ボツクリ／＼相變らず丸太は流れ午唄を歌つて居ます。

「隨分長い川だ、何處まで行つたら、おしまいになるんだらう」ソロ／＼小鳥はあきて來ました。その時ゴーツといふ物凄い音が下の方で聞えて來て乘つてゐた丸太が激しくグラ／＼と動き出しました。

「さあ大へん、今のうちだ」斯ふ思ふとパツと、そばの高い岩に飛び移りました。

「あゝ怖かつた」今まで自分の乘つて來た丸太を見ると不思議々々グル／＼と川の眞ン中で廻りはじめて見てゐるうちに逆立ちになつてクル／＼廻りながら川の底へ吸ひ込まれてしまいました。

「變な事があるものだ」小鳥には何が何やらサツパリわかりません。

×　×

さあそれではこれから私が小鳥に代つてお話をしませう。川下の村の人達はいつも川のずつと奥の奥の方にある山へ丸太をきりに行くのでした。だが車や馬の通る路もないのできつたその丸太は川に流して村まで運ぶのでした。それが何時の頃からか幾らきつて流しても流しても一本も村まで流れて來ないのです。

「これはおかしいぞ」村の人達は大勢寄り集つて相談をしました。「こんなに幾らきつても／＼一本も流れて來ぬ様では骨折り損の疲れもうけだ。一度流す丸太と一緒に川を下つて見たらわかるだらう」といふ事になつて或る日の事五六人の元氣な若い人達が岩から岩と渡り乍ら丸太と一緒に川のふちを下つて來ました。恰度赤い帽子の小鳥が丸太の沈んで行くのを見たところまで來てその人達も矢張り其處で丸太が沈んでしまふのを見つけました。「あゝコ、だコ、だ、しかし何だか物凄く深さうな、氣味の悪いところだな」龜の様に首をすくめてのぞき込みました。青黒い水が渦を巻いて何ともいひ様のないおそろしい淵です。村の人達は又大勢集りました。

「誰かあの淵へもぐつて見る人は無いか」皆顔を見合せて默つてしまひました。見て來た人は尚更のこと、話に聞いた人達まで氣味悪く思つたからです。その時部屋の隅の方から「私がやりませう」と叫んだ者があります。それは村でも評判の親孝行者で水もぐりもなか／＼上手な幸吉といふ青年でした。「幸さん大丈夫かい」「えゝきつとしらべて來ます」「それでは頼んだよ、氣をつけてな」

大勢の村人は幸吉を取りまいて翌朝村外れまで見送つて來ました。幸吉は教へられた深い淵まで來ると岩の上からしばらくジツと水を見てゐました。その時また上の方から一本の丸太が流れて來ました。幸吉は裸になりました。丸太が逆立ちしました。沈みかゝりました。幸吉は飛び込みました。そして丸太と一緒に沈んで行きました。

×　×

一方村の人達は村外れに集まつて幸吉の歸りを今か今かと待つてゐました。日も暮れかゝる頃幸吉はカラになつたお賽錢箱をぶらさげて歸つて來ました。「あゝ幸さんだ幸さんだ」皆ワーツと聲をあげました。幸吉の話によると、川の底へ丸太と一緒に深く／＼沈んで行くと一人の美しいお姫樣が白い衣を着て坐つてゐました。よく見ると何百本とも知れぬ澤山の丸太を積み重ねた上に坐つてゐるのです。お姫樣は幸吉を手招きして云ひました。「私はこの川の主ですが社がありません。社を作つて下さつたらこの丸太はお返しします。これからも、もう材木は沈めません。社がないので居るところがないのです」と淋しさうに話しました。幸吉は社を造る約束をして歸つて來たのです。

村人は幸吉に厚くお禮をいつて早速その翌日丸太の沈む淵の岩の上に小さな社を造りました。するとと川の底から澤山の丸太が浮上つて來ました、それからは流す木は一本も間違ひなく村へとどく樣になりました。

×　×

矢つ張りよく晴れた日です。赤い帽子の小鳥が新らしく出來た小さな社の前でキヨロ／＼珍しさうに眺めながら話してゐました。「これはいゝ、又遊ぶ場所が一つふえたよ、ねえ君」＝をはり＝

第十四回 こどもの考へもの

どちらの端を持つてきつてゐるか

みなさん、寫眞をよく見てください、いまハガキをハサミできつてゐますが、紙のどちらの端を手で支へてゐるのでせう？、右ですか左ですか、わかつた方は來る九日までに大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附録係」あてにハガキでお答へなさい、いつもの樣に二十名に限りご褒美を差あげます

左　右

ご褒美の中の森永製のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱は必ずつづきをしたさうです

第十二回の答 自轉車のり

第十二回は自轉車にのつてゐる人を眞上からシヤシンにとつたものでした、相變らず皆さんがよく當てるので、今度も籤をひいて左の人々にご褒美をあげることにしました、沿線の方には本社から直接お送りしますが、大連の方にはハガキを差上げますから本社でそれと引きかへにご褒美をお受けとりください

×　×

手工 焰の上でくる／＼まわる花の傘

けふはローソクの焰のうへでクル／＼まわる花傘の作りかたをお教へいたしませう、先づ古ハガキのうへに直徑三寸の圓をかき（甲圖）のやうに中心から周に向つて約四十五度ほど切りとります、次に六七個の梯形を描き、その點線のところだけを殘して他の實線のところを小刀で切りぬきます、こうして出來た梯形は（乙圖）の樣にジヨウゴ形にはつて梯形は點線のところから斜に上の方に折りあげます、今圓形の臺の眞中に火箸の樣なサキのとがつた棒を立て、これにジヨウゴ形の傘をのせ、下からロウソクをともしますとその傘はクル／＼と廻りはじめます、ではどうして廻るのでせうか、わからない方はお家の方か先生におききなさい、なほ傘にクレイヨンで色をぬれば一層うつくしいわけです

夏休みに働いて兵隊さんに献金

三重日赤少年團員

毎日々々の新聞や雜誌にあらはれる我が日本の兵隊さんの大變な働きは、滿洲にゐる子供のみなさんはじめ、内地の子供達も大へん感心し、兵隊さんの働きをありがたく思つてゐます、そうして慰問金や慰問品の募集のさきは一番さきつて働いてゐますが、伊勢の桑名郡野代村にある三重日赤少年團では夏のお休みを利用して、お百姓のお家にお手つだひに行つて、田たがやしたり、蠶を飼つたりしてためたお小遣ひを集めて七圓十五錢のお金が出來たので、少年團のひとり／＼が滿洲にゐる兵隊さんをなぐさめるやさしいお手紙を書いてお金と一しよに、伊勢の津の聯隊區司令部に送りましたが、このやさしい少年達の行ひにはさすがに強い司令部の兵隊さん達も泣いて大よろこびをして、さつそく滿洲の兵隊さんに送るやうに手つづきをしたさうです

すお菓子やさんの支那事變の「慰問兵士を勞りませう」と書いた箱にお入れください

當籤者

▲奉天藤浪町原昇▲長春露月町大石重生▲蘇家屯驛山内實▲大石橋永昌街宮本義滿▲奉天若松町大竹孝子▲金州八里庄有馬四郎▲旅順市千歳町茂木武美▲旅順市乃木町臨光千代子▲大連市吉野町長谷川よし子▲大連市三河町中村惠美子▲大連市二葉町渡邊ヨシエ▲大連市須磨町宮西一子▲大連市外星ヶ浦立花豐吉▲大連市花園町井上登▲大連市東公園町國森美津子▲大連市淡路町高橋キヨコ▲大連市沙河口白金町森高博德▲大連市鳴鶴臺杉山繁三▲大連市濱金町寺岡テイ▲大連市大江町大松キミエ

アジアノカミサマ

コレ ハ インドシナ ニ アル『ベイヨン』トイフ タテモノデ、クメルジン トイフ イマカラ 二千ネン モ マヘニ ヒルマ ノ クニ カラ ウツッテ キタ ヒトタチ ノ シソン ガ 千二ヒヤクネン マヘ コシラヘタモノ デス、ココ ニ ホリツケテ アル オホキナ カホ ハ『アジア ノ カミサマ』デス ガ ズット ムカシ デモ コンナ リッパナ ホリモノ ガ デキタ ノ デス カラ オドロク デハ アリマセンカ

大昔の人のお墓 ドルメン

今の人も及ばぬ昔の人の努力

滿洲に七つもある

昔々、さても大昔の人々は、大きな石や岩を神樣のやうに尊んでをりました、天照大神が、天の岩戸の中にお隱れになつたことは、よく皆さんも知つてゐることでせう、又皆さんは小さいとき、よくお母さまやお兄さまから、桃太郎さんの鬼ケ島征伐のお話をしていただいたこと、思ひますが、その鬼ケ島の恐ろしい赤鬼や青鬼は、あちらの岩影、こちらの岩影に住んでゐたとお話して下さいましたでせう………

エジプトのピラミットを知つてゐますか……西洋の文明はエジプトから生まれたとまでいはれてゐるエジプト、そのエジプトのピラミットは、今から五六千年も前に何萬人といふたくさんの人々の力で大きな石やれんがを積み重ねて造つた大きな、方錐形のお墓なのです、これはエジプトの王樣のお墓です、このピラミットもやはり石を尊んでゐた證據であります、この滿洲にはピラミットのやうな立派なものはありませんが、そのかわりドルメンといふものがあります、やはりドルメンも大昔のお墓の一種だといはれてゐます、ドルメンについては奉天教育專門學校附屬小學校の久原市次先生がくわしく調べられてゐます、今日は久原先生のお書きになつた御本によつてドルメンのお話をしませう

ドルメンは大へん大きな石でつくつたもので、テーブルの形をしてゐます、つまり三つか四つの壁石に大きな天井石が支へられてゐるといふ形であります

熊岳城温泉のある熊岳城南方の許家屯附近にあるドルメンの天井石の大きさを測つてみますと、長さは實に八メートル四二、幅五メートル六五、厚さ五四センチといふ大きな石で、試みに比重を二、六として、この石の重量を計つて見ますと、實に七〇メートル噸もあるのです

今日のやうに電氣や蒸氣でどんどん色々なお仕事が出來て行く時代でも、さて……いざこの大きな石を運ぶとなると、なかなか大變でせう、それだのに、今から五六千年も、又は一萬年も前に——何の機械もない、唯人間の力だけをたよりにしてゐる大昔の人々が、どうしてこの大石を運んだことでせうか、非常に不思議に考へられますが、又非常に興味のある問題ではありませんか、このドルメンには文字が書いてないので何のために造つたものやら、また、いつの頃のものかもわからず、昔の本にも何も書いてないので全く雲をつかむやうな話ですが、多分これはお墓の一種だらうと今の人々が考へてゐるだけです、それにしてもこんな正體の知れない、不思議な怪物が、南滿洲のあちらこちらに實際今の世までのこつてゐるとは大へん面白いではありませんか

さて、南滿洲にはあちらこちらにドルメンが殘つてゐると言ひましたが、まづ關東州內から申しますと、大連から金州をすぎて、城子疃といふところへ行く鐵道線に、金福線といふのがあります、この金福線の沿線で、普蘭店管內の亮甲店に二つあります、それから南方に一つ、それから前に申しました許家屯に一つ、續いて析木城に二つ、大石橋の北の方、分水驛の東に一つ、つまりみんなで七つになります

こんなドルメンは滿洲だけにあるのではありません、ヨーロッパの方ではイギリスにも、フランスにも、又その他西部ヨーロッパにもあります、たゞ東部ヨーロッパには見つかりません、それからアフリカの北部にも、またアメリカにもあります、アジア地方では滿洲と朝鮮とに一番たくさんあります

そして滿洲にあるドルメンは朝鮮の北部の平安南道や黄海道にあるドルメンもよく似てゐますから、大昔、滿洲から朝鮮方面にかけて住んでゐた人類は、同じ種類の人々であつたと考へることができます………

日本の內地にもドルメンのやうに大きな石で作つた大昔の人々の遺跡があるにはありますが、滿洲あたりにあるドルメンとは、少し樣子が變つてゐます、さうして同じ系統のものはまだ見つかりませんから、日本の島に人間が住むのが滿洲あたりより遲かつたか、あるひは少し人種が變つてゐたものと思はれます

次に少しお話しなければならないのは、今から五千年——または一萬年前ごろ、この地球に住んでゐた人たちのことですが……ドルメンを造つた頃の人類はどんな生活をしてゐたのでせうか、今、ドルメンの附近から出てくる遺物には色々の石器があります、石器といふのは石でつくつたいろいろの道具のことでして、それで學者はこの時代を石器時代といつてゐますが、石の斧だの、石の庖丁だの、石の矢じりだの、石の劍だの、それから石の槍だの、石のおもりだの、石の鏨だの、石の環だの、いろいろなめづらしいものがドルメンのあるところからはたくさんみつかります、これはみんな石器と呼ばれてゐます、その他に木でつくつた色々の道具もたくさんあつたことゝは思はれますが、何分ずゐ分大昔のことですから、みんなくさつてどこかになつてしまつたことでせう、滿洲で見つかる石器は、みんな大變、きれいに磨かれてゐて、石の庖丁の中には、とてもすばらしく、今にも切れさうなものもあります、日本內地や朝鮮から出る石器も同じやうによく磨いてありますが、ヨーロッパやアフリカのものは磨いてないものが大變多いやうです、大昔の人々は始めのうちは、自然の石だ、手ごろのものをそのまま使つてゐたのですが、しまひには磨きをかけて使ふやうになつたものと思はれます

ところが、こんな石器は今でも、滿洲の土人や、北極のエスキモー人などが、さかんにつかつてゐるから面白いではありませんか、土人や、エスキモー人たちは、いまだに石器時代そのまゝの生活をつづけてゐるのです。

又このほかに土でつくつた道具もたくさんつかつたと見えて、薬をかけない粗末なお皿や、とつくりや、おちやわんが石器といつしよにたくさん出てきますが、これもまた大ていはこわれて、形が全部そろつてゐるものは大變まれです、土器には表に、直線や、斜線や、曲線、點線などで、ちようど幼稚園の子供が書いたやうな、簡單な模樣がかいてあります。

大昔の人々は今までにお話したやうな石器や、土器や、木器をつかつて、毛のむしやむしやはえた恐ろしさうななりをして、木の實をたべたり、鳥やけだものゝ生の肉をたべたり、お魚を生でたべたりしてゐたのです、さうして、何のためか、あの大きな石のドルメンを造り、今の世にまで殘してゐたものです、おそらく、大昔の人がドルメンを造るときの努力は、今の人がヤマトホテルや、東京の丸ビルや、ニューヨークの摩天樓を造るより、ずつとむつかしい仕事だつたことゝ思はれます、何と人間の力は恐ろしいではありませんか

みなさん、私達も大昔の人々がドルメンを造ることに一生けんめいであつたやうに、數千年、數萬年の後の人々から感心されるやうな立派な仕事をしやうじやありませんか。

寫眞の説明

(い) 分水(大石橋の北)附近のドルメンで西側から見たもの (ろ) これを東側から見たもの (は) 亮甲店(金福線)附近のもの (に) 析木城のドルメン (ほ) 鐵嶺の帽峰山から掘り出した石斧で長さ二十二センチ、幅七・五センチもあります

ドウブツやきうせん

水島爾保布

ぞうクン トールイ セイコー

おさるクン ショート

キャッチャー かばクン

バッター りすクン ストライキ

「けもの」の速やさ シカさん一番

けものの中で一番はやく走るものはなにでせうか、今まで一度もはかつたことがないので誰もわかりませんでした、ただ犬や、鹿や、馬は大へん早くはしるけものだとされてゐただけです、ところが、最近鹿が一番早いだらうといふ學者が現はれました、その學者はアメリカの田舍に住んでゐるギムビイ博士といふ人ですが、或る日自動車で山のふもとを走つてゐるととつぜん一匹の鹿が現はれて自動車と競爭をはじめました、そして自動車が一時間に五十五哩の速さで走つてゐるのに、どんどんついて鹿は走りつゞけました、つまりこれは、鹿の一時間の速さが五十五哩だといふことになります、今までにわかつてゐるけものの速さは、一八九〇年にアメリカのある競馬のとき、ホップ、ウエイドといふ馬が四分の一哩を二十一秒四分の一で走りました、これは一時間の速さが四十八哩にあたります また犬のうちでは同じく四分の一哩を二十五秒ではしりました、これは一時間の速さが三十六哩です さうしますと、今のところでは動物中のスピード王は今度ギムビイ博士と競爭した鹿だといふことになります

歩くより遅い自動車

自動車といへば大變はやくはしるものと誰でも考へてゐます、さうして、急用があるときには自動車に乗るとたいてい間にあうものと考へてゐます、ところが、トルコ共和國のボロウといふ町では、自動車は大變人をひいたり、衝突したりするから、一時間に三哩以上の速力を出してはいけないといふ命令を出しました、このためボロウの町の自動車はお客さまをのせて、まるではふやうにして町を動いてゐます、さうして、急ぎの用事があるときには、歩いた方が早いさうです、自動車の方が人の歩くよりもおそいのは、世界中でこのボロウの町だけでせう

アメリカの年寄調べ

アメリカの國勢調査局で今度アメリカに住む人の百歳以上の人を調べましたが、百歳以上の人が三千九百六十四人もゐました、そのうち二千四百六十七人はほんとうのアメリカ人で、一千百八十人はクロンボーで、その他の人が三百十七人でした、ところが十年前にはもつと多く四千二百六十七人も百歳以上の人がゐました、もう一つおどろくことにはアメリカは日本のやうにキチンとお役所がしらべてゐないので中にはあまり歳をとりすぎて、自分の歳をわすれてゐる人もすくなくないといふことです。

ケフノツクワ

オマンジュウ ノ ヤウナ オヤネ ノ アル インド ノ オテラ デス クレイヨン デ キレイ ニ ヌリマセウ

夜はながし

下冷えや足音遠し店の番

ふとみいる背皮の文字や夜半の秋

讀みのけて肌冷えを知る栞かな

賑やかなワルツよ夜長忘れけり

新漫談小說

朗らかに笑へ

山野一郎作

滅俸から首、ルムペンから自殺などはまだしもやかな方です。滅俸から爭議、爭議から陰謀、陰謀から泥棒、泥棒から殺人、殺人から死刑――これが荒々しき記錄を殘す方であるが、文明に伴ふものは失業者で、一つの小さな機械が發明されると世界中に何萬といふ失業者が生れる。そこに血生ぐさい生活戰線の犧牲者が横たはる譯になる、ボクはもつと無邪氣なものを發明した、人間の職業を奪ふ樣な殺人的發明とは違ひます、先づボク自らが博士論文を目下執筆中であるが、これが實現されるといさも皆樣はほがらかになつて御暮しになれます。

失業が何だ！死が何だ！
不景氣が何だ！死が何だ！

ボクはパイパアービル博士として自己紹介するためにボクの一大偉業の結果を先に公開します。

幕開く。中央手術室を見せ、上手に受付老事務員、グロテスクな顏のこしらへにて居眠る。患者Aの外三名の男女順を待つ。間、博士の說明を熱心に聞く。白鬚を胸になびかせた老博士

博士「と云ふ譯であります。と云ふ譯がどう云ふ譯かと云ふ譯は言葉が配復し誠に聞きぐるしいぢやろが、マア聞きなさい。人と生れて不老不死を望まぬものはない今の世にも之を望み昔の人もこれを望んだであらう、醫學があらゆる學術のうち最も速かに發達したのも死に度くない爲である」

患者「ハックショイ」

博士「と噓をしたトタンに藥を飲むのも死にたくないためである諸君よ、不如歸の浪子は何と云つた、人間はなぜ死ぬんでせう生き度いわ千年も萬年も。諸君よ喜び給へ諸君は永久に不老不死である。

デハこれから吾輩の學說を發表しやう。若返り法の輝士ヴォローフ氏は睾丸の移植に成功したとは諸君も新しい記憶でせうわしもやはり外科手術に依つて眼でも足でも戀に破れたハートでも取かへる事が出來る。であるから私の住むパイパー村には一人も老人がゐない。只このわしだけぢやで何時も若い男女が戀を語つたりして幸福な生活を繰返してゐる、不老不死の實現されて居るのはわしの村だけぢや。人間の心臟とか腕とか、マア自動車で云ふ、部分品は死刑囚のを申受けるのぢや」

患者一同立ち上り思ひ〳〵に申出る

患者(A)「先生、お願ひですから戀に破れたこのハートを取かへて下さい」

患者(B)「(六十歲前後の老婆)先生お願ひですから失はれました處女の純潔さと水もしたゝる樣な美しさを御與へ下さいまし」

患者(C)「先生私にも失はれました財產を御與へ下さいまし」

博士「これ〳〵あわてゝはいけません。いくら博士でも物質上の御救助は出來ぬ。マア待ちなさい物には順序がある、一番の御婦人貴女御希望は何ですかな」

聲樂家「アノ私は聲樂家でございますが近頃とても聲量が落ちましたので先生の手術によりまして聲帶の故障の部分を取かへて頂きたいと思ひまして……」

博士「ハハア、聲量が落ちたのですなア誰か他の醫者に見せましたか」

聲樂家「イエ、別に醫者には見ていたゞきませんでしたが、宅が易者に見せて貰つた方がよからうと申しますので」

博士「タクと云ふのは何ですか、日本では」

聲樂家「イ、エあの夫の事でございます」

博士「アーさうですか、それで易者は何と云ひましたね」

聲樂家「アノ、こう申しますのでございます」

博士「どう云ひましたね？」

聲樂家「エ、、アノ、その結婚以來聲量が落ちましたと申しました處、それでは貴女は御夫婦御圓滿の結果の現れがカクもさうさせたのぢやと申ますのよ」

博士「ハハア、夫婦圓滿な家庭生活に貴女のエネルギーの大部分が消もうされ盡くされカクも聲帶に變化を來したと、醫學上の見地から云はれたのぢやな」

聲樂家「醫者ではないのです」

博士「ア、易者でしたね、デハ何故に聲量が落ちたと云ひました」

聲樂家「ツマリ易者の申ますには、御夫婦御圓滿ですかつておつしやいましたからハイつて御答へしますとガッカリ遊ばして貴女は常に旦那樣と睦言のみかはされる睦言は御存知の通り大きな聲では語りません、それが爲に發聲法をお忘れになられたのだから御主人と喧嘩をなさらない限り再びステージへ立つことは出來ないと申ますの、私再びステージへ立ち度いのですが、戀愛結婚ですから喧嘩だけはしたくありませんわ、兄や妹にホーラ見た事かつて申されますもの、オー愛する吾夫よ！」

博士「よろしい、もうそれでよろしい、これ以上話を繼續する事は他の患者に如何なる影響を與へるかも知れん、それはれ(博士顏をかき乍ら)事實上に於て發聲法を忘れたらしい。しかし愛する夫と喧嘩をしてまで發聲法を練習することもあるまい。よろしい、手術をして上げます。オイ(助手を呼ぶ)この御方を手術室へ御案內しなさい」

助手「先生なんで締めませう」

博士「そこの荒繩で締めろ」

助手中央にかけてある荒繩を取り室へ入る。他の患者青くなつて顏を見合す「痛いよう」と云ふ聲聞こえる。患者一同立上つて去らうとする。博士これを押止め

博士「オイ一寸待て(さらに患者に向つて)サテ皆さん一見まことに慘烈なる手術のやうであるがこゝにかういふ機械が發明されたのぢや(ラヂオセットと同型のもの)目下當局に於て頭を惱ませてゐるこの都會の騷音防止がこの私の機械によつて實現される時代は決して遠くはない。オイその戶を開けて御覽(助手來て戶を開ける戶外の騷音聞こゆやがて戶を締める)文明人が短命であると云ふ事は、この都會の騷音が如何に人體に影響してゐるかと云ふ問題を學說で發表してゐる、然るにこの機械は騷音防止機である殺音器ぢや然し必要なる音響のみを利用する」と(博士自ら窓を開ける、騷音聞こえる、調節機を廻す、次第に騷音殺音されて音樂に變る)どうぢや廢物利用ぢや。彼女の手術にもこれを利用する」

次第に手術室から痛いようと云ふ聲、他の患者聞きされてアンコールをやる

博士「どうも痛いようのアンコールは困るから誰か他の方を締めませう」

患者逃げ仕度をする

博士「それは冗談ぢや、ハヽヽ、、、」

聲樂家博士に禮を述べて歸る。

博士「お次の若いお方、貴男は何處がお惡いのぢやね」

青年「エ、、斯う申上げると氣でも狂つてゐるのぢやないかと思はれるかも知れませんが、實は私を二た目と見られない顏形にして戴きたいのです」

博士「ハハア、これは珍しい申出ぢやね見れば立派な青年ぢや、好男子ぢや、何かそれには仔細のあることぢやらう」

青年「實は持つて生れた器量が身の仇となり、知らず〳〵のうちに罪惡を犯すやうになりますので一層一思ひに死んでしまはふかと思ひましたが、先生の御高名を新聞で知りましたので成らうことなら老人にして戴きたいのです」

博士「ハハアなか〳〵感心な心掛ぢや」

と博士患者の控へ所を見て老患者に向ひ

博士「そちらの御老體貴公の御希望は何ぢやな」

老人「エ、私は一寸申上げにくいのですが、此處に居ります此婦人(と傍らの婦人を指す)と近く結婚生活に入ることになつて居りますが、御覽の通り六十を越した見る影もないこの親爺とまだ二十にもならない少女とは餘りに不釣合ちやで、一つこの私を若くしていたゞきたい、一目見た時好きになつたのよつてな好男子にして欲しいのです如何です先生」

博士「して出來んことはないが醫は仁術である、みだりに利用され度くはない、この御婦人は貴方と結婚される事は恐らく望んでは居りますまい」

老人「何を望まうと望むまいと貴公の知つた事ぢやない、この婦人が好くやうに直すのが貴公の仕事ぢや、金さへ出せば文句はあるまい、それが出來なければ詐欺だぞヤイ何とか云へ、金は貸す程あるぞ、俺は金貸だ」

博士「マア〳〵お靜まりなさい、それではそこのお若いお方ぢや、此御方は貴方と反對の申出ぢやから、この方の若さも美貌も總てを取替へませう」

老人は青年をジロ〳〵見て居たがサモ滿足さうに微笑む

老人「ヘイこれだけの若さと美しさ、素晴らしいものですれ、早速お願申しますよ」

博士「よろしい、では御二人とも手術室へ御入り下さい」

二人手術室へ入る。トタンに舞臺暗轉ドンチャンガチャンの大音響にパッと舞臺明るくなり、兩人手術室よりフラ〳〵にて出て來る。

博士「よろしい、御二方とも變りましたからお歸り下さい」

老人朦朧として下手へ入る、青年は娘と共に嬉しさうに退場

博士「アハ、、、、どうぢや皆さん、速いぢやらう、併しあれはインチキ手術と云ふ奴だ、二人共替へたのぢやない、音響と光を利用したマア錯覺ぢやな、面白いなあの強慾な親爺が一人でトボ〳〵貧乏な青年の家へ歸り、若い男女が嬉しさうにいそ〳〵と、然も金持ちの家へ歸つたのぢや、今にあの老人が、どなり込んで來ますぞ、これからが面白いのぢや」

やがて足音高く老人ブン〳〵しながら登場

老人「ヤイ、この野郞、ふざけた事をするない、大手術だなぞ大法螺を吹きやがつて手を拔くない、キ大工だつて斯うまで手を拔かれえ、どう考へても俺はやつぱり俺ぢやないか、事もあらうにあの若造にあの娘までやつて仕舞やがつて、サア勘辨ならねえ」

博士「マア〳〵さうお騷ぎになつては困ります」

老人「ナニ、これが騷がずに居られるかい、此インチキ博士め」

博士「マアお聞きなさい、御腹をお立てになつてゐる貴方は手術前の貴方ぢやない、手術前の御老人になりました、現在の貴方は手術前の青年です」

老人「何でもいゝ、手術前の俺が青年であらうが何であらうが、俺は我慢が出來ねえ。サアあの娘を返せ、もつとも俺が元の青年だとすれば娘を返せと云ふ權利はないが、ア、俺はいよ〳〵解らなくなつた、俺の頭は狂ひさうだ、あの若造があの娘と睦まじく暮して居るさまを俺は殘念で見ては居られない。俺がさつきの俺でないにしても、此儘にはして置かぬ。さうだ、俺は手術前の俺の惡事を知つてゐるぞ、それも今となつてはあいつの惡事になる理屈だ。俺はそれをしやべつてやる(老人他の患者に向つて)皆さん聞いて下さい。あいつは、あの娘の親爺を殺してその財產を橫領したのです、然るに、どうです彼はいけづうづうしくも、その娘と結婚しやうとは何たる憎むべき奴でせう尚その上に若返つて社會に害毒を流さうとは人道上許すべからざる問題です。モウこの上は彼も死刑は免れまい」

青年登場。これを立聞く。老人の言葉終るを待つて首うなだれて入つて來る

青年「一寸御待ち下さいまし、どう考へても夢のやうです」

老人「何が夢だ、大泥棒の人殺しめ」

青年「貴方は何をおつしやるんです。私は人樣の物は塵一本手にかけた事はありません。こともあらうに人殺しなぞとは」

老人「貴方におぼえがなくとも俺におぼえがある、俺が貴樣になる前に、つまり手術を受ける前にあの女の親爺を殺したのだその財產を橫領したのだ。錯覺を起すなよ。手術前の俺のした事はお前の罪になる。サア白首しろッ」

博士「成程、これは聞けば聞く程面白い。御老人、貴方はなかなか探偵趣味をお持ちですな。それ程の證據があれば罪は明白です。併し、いよ〳〵青年が白首するとなれば、若くて美しいあの娘さんはどうなりませう。それから巨萬の財產はどうなりませう。この御婦人は誰を頼りに暮します。御老人貴方がこの婦人と結婚なさつたと云ふだけでも緣が深い。それには如何です。御互に顏見知り會ひ父親の下手人まで發見したのですから」

老人「それは願つたり、かなつたりです」

博士「お若い御婦人はお若い方を好む。どのみち、この青年は死刑を免れませんからね、ムザ〳〵あの若さと美しさをほうむつてしまうのは殘念ですから、どうでせう、もう一度手術することにしませう」

老人「よろしい、人正に死なんとする時その云ふやよし、善は急げだ、先生氣の變らない裡に早く手術して下さい」

博士「よろしい、デハ此方へお越下さい」

老人青年を連れて急ぎ手術室へ入る

ドシンバッタンの音響にて二人共フラ〳〵になつて出て來る

博士「サア早く貴方は白首をなさい」

老人急ぎ退場する、博士青年に向ひ

博士「貴方は早く歸つて御婦人を大切にして上げなさい」

青年考へながら滿々退場

博士「どうです諸君！あの老人は自分で自分の惡い事を白首した迄ぢやアッハハ、、、(完)

内密話(ないしよばなし)が歩く。

(1) あなただから お話しますが これ 秘密よ

(2) ……なんですつてさ これ秘密よ

(3) あんたやさかい いいまつさ だれにもいいな はんなや。

(4) ……ですつてさ チャッカリ これ絶對 秘密よ

近眼女史のお裁縫

佐方幸ゑがく

一年前

十月二日 約六百名よりなる優勢なる匪賊の集團は午前八時頃より牛莊に來襲し、牛莊城を包圍して公安隊と交戰、終に城內に侵入して掠奪放火を行ふ、急報に接した我が軍では救援のため飛行機二臺を派して爆彈投下をなさしめ、又海城に一部隊を集結して牛莊に急行した▲滿洲に於ける我が鮮人同胞保護に關し、陸軍省は關東軍に對し積極的保護の訓令を發した

十月三日 東鷄冠山、孤家子、大甸子方面に於て敗走兵に虐殺された我が鮮人同胞數百名に關する軍松大隊よりの報告書發表さる▲袁金鎧氏を主席とした遼寧自治政府の政府委員內定す▲大連神戶を中心として日滿を股にかけた數萬圓の時計の密輸事件發覺し關係者十數名續々大連署に召喚さる

十月四日 上海の排日運動激化して全市は無警察狀態に陷り對日強暴性はます〳〵尖銳化し邦貨取扱者懲罰令が制定布告さる▲コロンバイル獨立軍はハルビン西北方六百三十三キロの地點に駐屯する支那軍に奇襲を試み、遂に獨立の火蓋を切る▲パングボーン、ハーンドン兩氏の搭乘したミス・ヴイードル號は午前七時太平洋橫斷の壯途に上つた

十月五日 太平洋橫斷の壯途についたミス・ヴイードル號は午前七時十六分無事に太平洋の處女空を征服して對岸米國ウエナッチに到着す、かくて劃期的な榮冠は若きパングボーン、ハーンドン兩鳥人の手に歸した

十月六日 定例閣議に於て南支方面の邦人保護に關し、大體漢口と上海に同胞を集めることに決定され、同時に外務省より南京政府に嚴重なる抗議をなすこととなつた

十月七日 正隆銀行員書記錄遂事件の犯人名越正吉に對し精神鑑定をなすことに決定す▲洮南に於て獨立を宣言した張海鵬氏は、更にチチハルの黑龍江政府に對し可及的急速に政權の引渡しを要求した

十月八日 我が飛行機は午前中錦州附近の上空を飛行し、滿蒙治安維持のため擾亂の策源地錦州政府を覆滅するの止むなき旨を書いたビラを撒布す

今週の歷史

十月二日……江戶大地震死者二十萬人(安政二年) 人身の賣買を禁す(明治五年) ロンドン海軍條約御批准(昭和五年)

十月三日……江華島事件起す(明治九年)

十月四日……佛國歷史家ギゾー生る(一七八七年)

十月五日……南北兩朝統一す(元中九年) 英飛行船フランス通過中墜落して航空大臣等四十三名慘死す(昭和五年)

十月六日……多田滿仲沒す(長德三年) マーシャル群島降伏す(大正三年)

十月七日……八ヶ月に亘る民國南北戰終熄南軍の死者七萬五千人、負傷二十四萬人と稱さる(昭和五年)

十月八日……岩倉右大臣を歐米に派遣す(明治四年)

今週獻立

	朝	晝	夜
日	味噌汁 里芋 貝の細煮 奈良漬	鯖の鹽燒 附おろし大根 ほうれん草の胡麻和へ	マカロニ、スープ 牛肉のオムレツもどき サラド(りんご、胡瓜人參)
月	味噌汁 牛蒡卵 鹽昆布 青菜の淺漬	トースト 紅茶 果物 枝豆マッシュ	清汁 はんぺん、そうめん、椎茸 ハムのおろし和へ サワラの味噌漬
火	味噌汁 玉葱 海苔細煮	コンビーフと馬鈴薯の煮物 らつきよ 燒茄子生姜醬油	海老のフライ附りんご 胡瓜と太刀魚の酢味噌和へ ポテトスープ
水	味噌汁 キャベツ卵 大豆と昆布の煮付 おろし大根	ひじき、油揚の煮物 お平(高野豆腐かまぼこ)	豆腐、豚肉のコロケット、附玉葱のバタ煎り 清汁 烏賊、みつば
木	味噌汁 豆腐、春菊 燒海苔	春雨と牛肉の煮物 大根のあちやら	サワラの照燒 附土生姜の甘酢 もやしの胡麻和へ 清汁 かしわ葱
金	味噌汁 小蕪 納豆	フランスパン コーヒ 半熟卵 果物	牛肉のアイルランド煮 春菊の浸しもの きんぴら牛蒡
土	味噌汁 油揚、葱 煮豆…黑豆	蓮根の油煎煮 茄子の芥子漬	栗御飯 海老のトマトソース煮 清汁 松茸、みつば

牛肉のオムレツもどき

▲材料＝挽肉七十匁、馬鈴薯二三個、玉葱二個、卵三個、鹽、胡椒

馬鈴薯は一糎位の賽の目に切り茹でておき、玉葱は適當に切り、挽肉、玉葱、馬鈴薯をバタでいため鹽、胡椒で調味し卵のよくほぐしたのでとぢます。

枝豆マシュ

▲材料＝枝豆、莢つき五合、牛乳一合、バター、鹽、胡椒

枝豆を洗ひ鹽茹にして中實を出し裏ごしにかけ、鍋にバター小匙三杯位をとかし枝豆を入れていため牛乳を徐々に加へてねり、鹽、胡椒で調味します。

ハムのおろし和へ

▲材料＝ハム、大根、甘酢少々

ハムを纖切りにし、大根を卸して輕く絞り甘酢で調味しハムを和へる青海苔を上にふりかけるときれいです。

豆腐豚肉のコロケット

(附玉葱のバタ煎り)

▲材料＝豆腐二丁、豚挽肉三十匁、グリンピース少々、卵二個、片栗粉、パン粉、メリケン粉、鹽、胡椒、油、バタ

豆腐はつぶして茹で布巾で絞り水氣を切り、豚肉はバターでいためておく、グリンピース、豚肉、豆腐を混ぜて卵一個を加へ片栗粉少々を入れ鹽、胡椒で調味し適當な形にまるめ普通のコロケットの樣に油で揚げます、玉葱バター煎り

牛肉アイルランド煮

▲材料＝牛肉百匁、馬鈴薯五個、玉葱二個、鹽、胡椒、味のもと、メリケン粉

牛肉は賽の目に切る(馬鈴薯、玉葱は牛肉と大體同じ位の大きさに切る)鍋に全部入れ水をひた〳〵にして煮る。軟かくなつたらばメリケン粉の水どきしたのを入れてどろつとし鹽胡椒で味つけ味の素で加減よくする。器に盛つてパセリのみぢん切りをふりかけるとよろしい。

海老のトマトソース煮

▲材料＝海老五尾、パン粉、メリケン粉、卵、玉葱一個、椎茸大三個、グリンピース大匙一杯、バター、トマトソース、煮出汁約三合

海老は背わたを取り開かずにフライにして二糎位に切る。玉葱は適當に切り椎茸は水に浸し軟かくなつたら纖切りにする、鍋にバターをとかし玉葱を先づいため次に椎茸を入れていためる、煮出汁を入れトマトソースを入れて鹽、胡椒で調味し海老を入れて煮る、火を切つて直にグリンピースを入れる。(松村賀壽子)

滿洲日報
十月一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

日滿合辦の航空會社
滿鐵側重役決定
石本、根橋、佐久間三氏

滿洲航空會社は最初の日滿合辦事業として近く開業する運びに至つたが、出資者は滿洲國政府、滿鐵および住友で社長には鄭垂氏、副社長には豫備役となつた航空兵大佐兒玉常雄大佐が就ることに決してゐる、しかして滿鐵は全資本金の相當額を持つ事となつてゐるので當然重役を出すべく目下人選中だが大體決定、二三日中には發表を見る筈、卽ち取締役には石本憲治（鐵道部）及び根橋禎二（技術局）兩氏、監査役には佐久間章氏（監理部）を出し、しかしてこれら三氏は滿鐵の他の投資會社における場合のごとく滿鐵に席を置いて兼任するわけで一般業務は專門家たる兒玉大佐以下が見る筈である、しかし本會社の設立計畫には滿鐵經濟調査會が重要な役割を演じて居り事業開始後は鐵道部とも密接な關係にあるので滿鐵も他の投資會社よりも大なる關心をもつてその發達に協力する方針である

我對滿政策の建直し
昨日七省次官會議で審議

【東京一日發】政府は滿洲國正式承認後に於ける我對滿政策の根本的建直しを期し卅日午後四時より霞ケ關の外務次官々邸に外務、陸軍以下七省次官その他關係局課長約三十名參集七省會議を開催

一、滿洲根本對策の樹立問題は前内閣當時三月十一日、各自で事變對策大綱を決したが滿洲國承認に伴ひ如何に右對策を變更すべきや

一、日滿の共存に必要な經濟統制を圖る上内地産業と滿洲産業との利害反する場合これを如何に調節するか

一、對滿恒久策を審議決定すべき基礎的委員會を内閣直屬とするが委員會の構成を如何にすべきや

等に就き三時間半に亘り腹藏なき意見交換午後七時半散會したが確定するに同日は何等具體的決定を見るに至らなかつた模樣である

滿洲人たる意識を民衆に植えつける
實業政策は先づ「原料品生産」
張實業總長來連談

滿洲國協和會理事長、實業部總長張燕卿氏は協和會を代表して滿鐵首腦部と會見すべく、一日午前八時着急行で來連、ヤマトホテルに少憩の後前日夜來連してゐた協和會役員于靜遠、中野琥逸、山口重次、小澤開策および小山貞知の諸氏と共に十時二十五分滿鐵を訪れ八田副總裁、十河、山西兩理事と會談、同十一時二十分辭去した、

會見後、張燕卿氏は語る

今度の來連は、協和會の成立以來、滿鐵から色々世話になつたのでその御禮と、なほ今後も何分の援助を得たいことを賴むためで、八田副總裁その他の諸氏と胸襟を開いて語り合つた、協和會は今創業時代で、役員は百人ほどだが日々非常の勢ひで會員が殖えつゝある、目下のところではまだ僻遠の地まで及んでゐないが兵匪の平定するに伴ひ漸次奧地の縣城に役員を派遣して趣旨の普及につとめるつもりである、協和會の精神に關する文獻も日本文のものは段々できてゐるからこれを滿文に飜譯して徹底を圖る考へである、協和會の當面の事業としては滿洲國民としての意識を人民の腦裡に確實に植えつけることである何分文化の度が低く人民の多數は中華民國時代二十年の歷史も知らず今なほ宣統帝の時代だと思つてゐる始末だからなかなかの大事業である、また日本軍駐屯の意義などもよく知らせたいと思つてゐる、實業部の方の仕事も着々進捗してゐるから一、二箇月には滿洲國の實業政策を明示して實行に着手できやう、大體の方針としては第一に農業、林業、鑛業その他一般の原料品の生産に主力を注ぎ、加工工業は第二段とし、軍工業にはあまり觸れぬ考へである、たゞ滿洲國は創業の際とて、あらゆる政策の決定が、内治外交の全體と密接な關聯を持つからなかなか複雜で大事業である

なほ張燕卿氏は一日はヤマトホテルに逗留二日夜歸北の豫定である

謝外交部總長

滿洲國外交部總長謝介石氏は協和會事務局長として一日午前八時大連着列車で實業部總長張燕卿氏と共に來連の筈であつたが謝總長は近く渡日の準備のため各方面との打合せの都合もあり遽に豫定を變更し來連を中止したが謝總長の出

（上）大連驛をまさに出發する鳩號、展望車で立つてゐるのがジュネーヴへ赴く岡野海軍少佐（下）改正されたダイヤ

鳩の旅立ち
清楚な標識をつけて
けふ最初のスタート

さきに滿鐵に於て廣く募集せる特急第十一號、第十二號兩列車の名稱は旣に發表された如く「鳩」と命名され時間改正の新ダイヤグラムに代り一日午前九時下り「鳩」號列車は滿鐵本社の加藤宣傳部長奧村旅客係を始め稻川大連驛長等に見送られ華やかにその最初のスタートを切つた

この日新生の鳩號列車は最後部展望車デッキに直徑約二尺五寸大の圓板に「はと」と平假名とローマ字の金文字を浮かせ、コバルトの清澄な座に快翔する白鳩の列車標を附して今まさに飛び出さんとする鳩そのものゝ如き清楚な姿である

定刻正午前九時大連機關區金子機關手の操車する「鳩號」は西田列車專務の發車合圖と共にいさぎよくすべり出で滿蒙將來の平和を暗示するが如く祝福された、線路を辿つて一路新京へ向つて快走した右につき圖案の考案者加藤宣傳部長は語る

何分決定してから間がないので思ふ樣なものが出來なかつたが日鳩と云つても飛んでゐる羽が少しでも長くなるので鷗の樣になるのでそれを心配して今朝も早く來て見ました、尤もこの鐵の圓板は假りのもので目下東京へ注文してある内地の「燕」や、「富士」「櫻」等に用ひてゐるのと同樣の硝子で拔いた電燈のつく樣になつてゐる標識も出來て來るがまあ一ケ月位はこのまゝ我慢して貰はねばなるまいがそれさへ出來て來ればもそつと感じが出ると思つてゐます（寫眞は

陸軍豫算八億圓
兵備改善を重點に
七日頃迄に決定

【東京一日發】帝國々防の最近の情勢に應ずる目的とする兵備改善を重點とする八年度陸軍豫算は全體を合せ八億圓に達するため部内に於ても意見一致せず三十日の首腦部會議に於ても決定に至らず更に協議するとになつたが七日頃迄には右豫算中兵備改善に就き三長官會議並に非公式軍事參議官會議を開き諒解を求め八九日頃迄に大藏省に廻附したい意向である、なほ兵備改善の一般施設は次の如し

一、關東軍の諸施設の改善充實
一、防寒施設の擴充
一、滿洲上海兩事變に伴ふ戰用品の復舊
一、對化學戰防禦材の整備
一、教育資材の充備

自力更生吹込

【東京三十日發】齋藤首相は普く國民に自力更生の決意を促す爲めその趣旨をレコードに吹込むことになり三十日午後一時より官邸に於てコロンビヤ蓄音器會社の技師出張して吹込みを行つた首相のレコード吹込みは初めてゞあるが首相は落着き拂つた態度で演說原稿を持ちながら自力更生の趣旨演說で約六分三十秒を以てコロンビヤ十吋レコードの半面に吹込みを終つてニコニコ顏であつた、次いで内田外相も同樣滿洲國承認問題から聯盟に對する帝國政府の態度に就き例の大きな調子で吹込んだ、このレコードは全國公共團體や學校等に配布されることになつてゐる

軍事費匡救費以外
新規要求削除
大藏省査定方針決定

【東京一日發】旣報の如く八年度各省新規要求十億圓に達するが大藏當局では左の査定方針を決定しこれが削減をなすことゝなつた

一、時局匡救費は三ケ年の既定方針で進み之を二ケ年に短縮する衆議院の決議には應じないこと

一、軍事豫算はこれを別途に審議し不可避もののみこれを認めること

一、官吏俸給の減俸復活に關してはこれを考慮せず

一、卽ち以上の中時局匡救及び軍事費の兩費目に關する以外の新規事業費は全部を削除すること

フーヴァ軍縮案
米代表、討議要請
軍縮幹部會秘密會で

【ジュネーヴ三十日發】軍縮代表ウイルソン公使は三十日午前開かれた軍縮幹部會秘密會で兵員の嚴正な縮減を達成する爲めフーヴァ軍縮案の速かなる討議を要請した

獨外相語る

【ベルリン三十日發】ドイツ外相フォン・ノイライト男はドイツの軍縮不參加に就き左の如く語つた

ドイツの軍備均等要求が保障さるゝに至る迄軍縮不參加の態度を持續する、ドイツは右に就き諸國の妥協を期待する、なほフランス政府の入手せりと傳へらるゝドイツの軍備計畫秘密書類なるものに就きては何等關知せぬ

策動の要はない
日本は正々堂々とやる
岡野中佐壽府へ

國際聯盟總會も愈々近づきその成行きは洋溢として徒らに豫想を許されないだけに異常な緊張を以て注目せられてゐる折柄今回海軍側より特に派遣せられることになつた海軍中佐岡野俊吉氏は海軍部内きつての支那通として壽府における同中佐の活躍は頗る期待されてゐるが岡野中佐は東京出發以來約一ケ月に亘り上海北平天津奉天等各地を巡り出先官署と打合せ種々調査をなしさき頃來連中であつたが一日午前九時大連發下り鳩號にて愈々渡歐の途についた、出發間際同中佐は語る

問題は種々あるが支那のことは理窟ぢや行かない、南支に於ける支那軍の行動は最近は一寸落ち着いて來てゐるやうだがこれとて決していつまで續くか判らない、然し目下の處大した心配もなからう、聯盟の成行がどうあらうとも日本は正義の立場から正々堂々とその意見を闘はせればよい、何も策動する必要はない筈である、何故ならば日本は決してやましい處がないからである

人事

▲張燕卿氏（滿洲國實業部總長）一日午前八時大連着ヤマトホテルへ
▲張格氏（滿洲國協和會委員）同上
▲岡野俊吉氏（海軍中佐）一日午前八時發壽府へ
▲早川寓之助氏（新任奉天醫大講師）夫人同伴同上奉天へ
▲藤山一雄氏 今回滿洲國實業部司長より監察院總務處長に轉じたが、二十日公務を帶び來連
▲加藤床希氏（旅順警察署長）新任挨拶の爲め一日市内各方面歷訪
▲大和安市氏（德島日日新報社特派通信員）一日來滿挨拶のため本社來訪
▲中野琥逸氏（滿洲國協和理事中央事務局次長）三十日來連一日挨拶の爲め來社
▲小澤開策氏（同上中央事務局總務處副處長）同上
▲于靜遠氏（同上中央事務局總務處長）同上
▲大内暢三氏（東亞同文書院長）一日入港大連丸にて來連
▲相生由太郎（福昌公司重役）同上

蛇の目

◇あすリツトン報告の玉手箱が開かれる、開けて口惜しやは支那？ソレとも聯盟？。
◇少くも日滿兩國だけは、期待もせねば口惜しくもなし、と行き度いところ。
◇北滿國境方面に加へられた鬱の手、邦人の被害深刻、まことに深憂に堪へず。
◇軍縮會議不參加國が出來た、追々聯盟會議不參加國も現はれる。
◇日滿産業博の内幕、豫想以上に出鱈目、債權者も從業者も、ハラが立つくは尤も。
◇人垣の中の道化や秋祭。

『滿蒙の戰慄』休載

國際政局と滿洲問題の自主的解決
中野正剛氏の講演（四）

本社主催の中野正剛氏講演會は旣報の如く二十七日午後開催非常な盛況を示したが左に連載するのは當日に於ける氏の講演の要領を筆記したものである、氏は演題を特に明示しなかつたのでその要旨を汲んで假に「國際政局と滿洲問題の自主的解決」と表題して置いた、文責と共に題名も亦記者に責任あることを玆に特記し講演者及び讀者の御諒解を願つて置く

顧みれば九月十八日事變發生以來、外務省は國際聯盟に對して遂に處の限りを盡した、然し滿洲事件は環境熟して關東軍にその人あり萬止むを得ざる大衆的壓力の結果起つたものである、事變以來の進行は止める能はず、例へ國際聯盟において十三對一になつても進まねばならぬ、世界の輿論に從つて行ふに非ずしてわが態度を決せば世界の輿論は追從して來るのである、アメリカのスチムソンは日本を國際條約の反逆者であるといつた、然るにわが態度が一度決したら一ぺんにペタツとなつて仕舞つた、かれら獨得の輿論を以てせば遂には日米戰爭の外はないといふが、不戰條約を遂行せんがために日米戰爭を惹起せんとするは何事だ、歐洲大戰は世界大戰の最後にする物に外ならない筈であつたと知て米國輿論の嘲笑を買つた、フーヴァー大統領もスチムソンと見解を異にするかと聞いた。

滿洲事變の最初アメリカではラヂオを以て凡ゆる日本の惡宣傳をなしたが國民はそれを聞いて何んだ戰爭屋の宣傳か、こんなところでうかうか聞いてゐると滿洲まで戰爭に引張り出されるぞといつた狀態だつたのである、歐洲大戰によつて辛き經驗を嘗めつゝある今日東洋まで實力を以て迫ることは絕對にあり得ないのだ、アメリカの海軍力は日本に對して決して優利でない、絕對に日本に對して敗れるといふソロバンが出ることをアメリカは知つてゐる、ソロバンは世界各國共通だ、また或る一部の者はアメリカと英國が共同して當つたらと心配するものがある然し英國は現在印度の問題を控へて何處に來るか、それより日本が印度に對して何かしはしないかと心配してゐる、有識階級の者さへこのことを心配してゐる有樣だ、嘗てインドの革命はインテリの觀念論であつた、然し英國の印度に對する搾取は段々と激しくなり玆において印度の獨立革命はプロレタリアートの論となつて來たのである

今後の問題として國際聯盟總會には英語演說において日本一といはれ、國際問題と滿洲の實情に通曉する松岡洋右君がスタッフをぐつて行くが結局五十三對一になるかも知れぬ、然し日本が五十三對一の決心をして居れば何んでもない、若しそう決れば世界列國は日本を毅然として擊つか――といふと決してさうにも出來ない、日本は大體において固い自信を以て立てばよいのだ、勿論この空氣は支那に反映して支那は排日をより盛にするだらうし、アメリカは喜ぶだらう、對支貿易の日本に對する貿易戰において勝つことを目的としてゐるからだ、然し日本はこれにエキサイトしてはならぬ、トリックにかゝる恐れがある、爲替は暴落するだらう、日本はこの時微動だにしないことは徐々に滿洲國を打つて一丸とする大理想を有する大日本の態度でなければならぬ。

今日日本は調子に乘つて世界に喧嘩を挑む必要はない、滿洲國を承認しこれを守立て日滿政策を一貫して行けば何人にも指摘批判されるものではないと信ずる、萬止むを得ざる時には帝國主義になるのも仕方のないことゝ私は思ふ、私は幾分變つてもビスマルク、モルトケの大方針である、サドワの大激戰に一擧ウインナーを衝いてオスタリーを粉碎しやうとする、この時萬死を冒して止めたのがビスマルクである、オスタリーとの親善のため破りはしたがオスタリーを終滅するのが根本方針ではなかつたのである、我國の武威は旣に各國に徹底してゐる、日清日露戰爭、滿洲事變を經て赫々たる威武を日本は收めてゐる、玆において日本は滿洲國と頭を合せ如何なる大敵に當つても荷物となるのではなくて應援者とまで育て上げるのが日本外交政治の軌道であると私は信ずる

東京の一角には日露戰爭をやらうといふのが居る、最近軍部は強い、それで軍にエロサービスを提供しやうといふのである、來年やらうといふ、五ケ年計畫の終了しない内が好都合だから來年日露戰爭をやらうといふのだ、日露戰爭を聞かない時はクーデーターをやらうとさへいふ、一、二政治家の功名心だけによつての帝國主義政治はナポレオン三世時代の帝國主義と何等の變りもない、軍備の充實は海軍の方が優つてゐたが事變後陸軍の費用は嵩まつた、對露國境の軍備充實、斷じて侵されざる準備のため、軍備の充實が必要であると正々堂々と要求すればよろしい、それを一部のエロサービスにまごわされるけちな陸軍ではないことを私は信じ、かつ希望してゐる

私が議會演說をやつて後東京にあるロシアの通信社長が私を訪れ「貴下はソウエートと日本が不可侵條約を結ぶことに就て如何なる考を有するか」と質問した、然しその時私は個人として直接ロシア外交論をやることはこりてゐると答へた、何故ならば私はかつてハルビンにあつた時シベリヤ撤兵論を說き、更にソウエート承認論を說いて時の政府を痛擊したが爲に、田中内閣となつた時その怨みのためか査問會に附せられた、その時前拓相秦君は「中野君はハバロフスク氏から金をもらつたといふが本當か」と聞いた、私は「大方中野君はレーニン市でハバロフスク氏からもらつたんだらう」と言ひ返したかつたがそのやうな馬鹿な目に遭つてゐるから個人としては議論することにこりてゐる、だから私はその通信社長にこちらから質問を發し「君の方では領土不可侵條約は何故に結びたいか」と言つた、その時彼氏曰く「西に行けばフランスがおり、東には日本がゐる、この兩方がぶつつかつてはかなわぬ、從つてソウエートは昨年佛と手を握る氣運となりその結果ボーランドとの間に不可侵條約を結ぶことゝなつて今やそれは批准するまでになつてゐる」

けふ大東京市生る
全市をあげてお祭騷ぎ

【東京一日發】待望久しき大東京市制實施の日だ第卅四回自治記念日と合して延びる東京大躍進の日だ舊郡八十二ケ村半徑十哩五百萬市民を代表して市長永田秀次郎氏は午前十時半宮中に參内五百萬市民の名に於て上表文棒呈の手續をとり十一時半明治神宮に參拜殿かなる神事を取行ひ更に都下各神社佛閣に

特に 市長代理を派遣して

大東京永劫の繁榮を祈願するところがあつたこれよりさき午前八時永田市長は市長室で新五十區長の新任式を擧行八時半吏員三百名を市會議事堂に集めて大東京躍進に關する訓示の第一聲を與へた又市としては時節柄けばけばしいお祭騷ぎを差控へ午後一時半から日比谷新音樂堂で永田市長の挨拶に次ぎ尾上菊五郎丈の俳優學校生徒の時代劇中内氏作舞踊二題舞踊その他六時半から公會堂で大東京生誕の夕が開かれ全國に中繼放送をするほか市内・

居住 八十歲以上の高齡者に對して靑嵐市長記するところの記念扇を配り市電氣局では恒例の花電車八臺を全線に運轉この他新に東京市に編入された大森澁谷初め各區では旗行列提燈行列參者の手古舞等氣直しの大騷ぎ武藏野の月の入る年かけて祝賀氣分醸所に溢れるお祭騷ぎであつた

市場電報

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	一七片十六分十一
同先物	一七片十六分十三
紐育銀塊	二七仙八分三
孟買銀塊	五五留比十六分十五
スチール	四三弗〇分〇
アナコンダ	一二弗八分三
米英爲替	三弗四五仙十六分十五
米日爲替	二二弗二五
米支爲替	三〇弗八分三

神戸日米

銘柄	相場
第一回	二四弗〇分〇
第二回	二四弗〇分〇
第三回	二四弗〇分〇

東京株式（長期）

銘柄	前場寄	前場引
一回（東株）	一六二二〇	一六一七〇
一回（東新）	一六八〇〇	一六八〇〇
二回（東株）	一六二五〇	一六二四〇
二回（東新）	一六八六〇	一六八六〇
五品	二三三一〇	二三三二〇
中	二四〇〇	二三六〇
先	二三五〇	不申
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申
（短期）東新	東新申	鐘紡申

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六八八〇	六八八〇
大新	五三二〇	六二九〇
鐘紡	二一一四〇	二一一五〇
鐘新	九三四〇	九三三〇
東株	不申	不申
東新	一六八二〇	一六七五〇
日糖	五四五〇	不申
郵船	三九〇〇	不申

（短期）	寄値	引値	高値	安値
大新	六二九〇	六二八〇	六三〇〇	六二八〇
鐘新	九一八〇	九一八〇	九一九〇	九一六〇
東新	一六七六〇	一六七八〇	一六七八〇	一六六九〇
滿鐵	不申	五二四〇	五二五〇	五二四〇

銘柄	寄値	引値	高値	安値
東新	一六七九〇	一六七九〇	一六八〇〇	一六七二〇
鐘新	九一七〇	九一六〇	九一九〇	九一六〇
東新（長期）	二〇八四〇	二〇八五〇	二〇九五〇	二〇八四〇
滿鐵新	不申	三八五〇	三八七〇	三八五〇

本紙讀者が選定した 旅大北道路八景

權威ある詮衡で決定

旅大北道路の開通を記念し且つその古蹟景勝を紹介するためにわが社は曩に北道路八景の選定を本紙愛讀者を通じて汎く募集中であつたが、果然旅大の異常なる關心と興味を集中し大盛況裡に九月十五日投票を締切り、爾來數回に亘る本社員實地精査を根據とし審査委員および旅大篤志專門家多數の參加を得、精密周到にして權威ある實地踏査を前後二回に亘つて完了し、更に愼重公平なる詮衡の結果いよいよ茲に左の如く旅大北道路八景および當選者を決定した

一、磊山屯(入選者二十四名) 旅順市明治町十二ノ一 菅辰男氏

二、大東溝(入選者二十九名) 旅順市外田家屯 久保田二郎氏

三、牧城子(入選者四十三名) 大連市大和町三三 松永フミ子

四、双臺浦(入選者三十一名) 大連市大和町三三 關光博氏

五、玉仙臺(入選者四名) 旅順市朝日町 内山身治方 小鉢勝利氏

六、長春庵(入選者二十一名) 大連市信濃町二八番地 松井商行内 吉末俊雄氏

七、火石嶺(入選者三十三名) 大連市久方町十 小島靜子

八、水師營(入選者六十四名) 大連市光風臺 筧鳴鹿氏

南道路の清楚な海岸線の美景なるに對比してこの北道路は雄大にして壯重なる山野眺望を恣まにせるは洵に妙を得たるものといふべく兩々相俟つて旅大の緊密なる交通と沿道開發に資する力ははかり知れないものがある、わが社は大正十四年南道路の開通に際して旅大八景を選定し今またその好對照たる旅大北道路の新八景を選定して世に喧傳する所以のものはこの重要なる交通路の開通をしてよりよき効益と開發繁榮を冀ふ微意の一端に外ならぬ、新たに決定した八景勝地にはそれぞれその地に縁故を有する徳望の名士に依頼し近く記念碑の建立に着手する豫定である、終りに臨みわが社のこの計畫に御贊助下さつて實地踏査及び審査決定にあつた多大の御援助を賜つた小川大連市長、永山旅順市長清水關東廳土木課長、中村技師ら關東廳の職員外米内山旅順民政署長および入江滿電專務以下滿電當局に對して深厚なる感謝の意を表するものである

警務局長室で騙す

小林又七支店が日滿産業博を相手取り告訴せん

日滿博當事者のインチキ的行爲は一今や大連市民の前に曝け出され重一大な社會問題化してゐるが、關東廳警務局長室を舞臺に原理事長が千圓の騙取を行つたといふので被害者たる市内大山通小林又七支店では杉野辯護士に依頼し目下告訴の準備を進めてゐる

右に就き小林商店の語るところによれば、福券附入場券印刷代一千圓が滞納したので、小林商店では今後の印刷を拒絶したところ宮部理事は關東廳が産業奬勵補助金として日滿博に下附すべき金一千圓の下附指令書を小林商店加藤外交員に見せ「この通り關東廳から兩三日中正隆銀行宛金一千圓を送金して來るから暫く待つて呉れ」と安心させ引續き印刷の依頼に應じてゐたが、兩三日經ても何等一千圓送金の模様もないので更らに博覽會幹部に掛け合つたところ「それほど心配するなら君の方で直接關東廳から受け取つて呉れ」と下附金指令書を加藤外交員に渡し、同氏は小林商店の受領書を作成し關東廳に赴いたところ當日佐藤會長並に原理事長が關東廳に先廻りをしてをり加藤外交員が警務局長室に於て一千圓を受け取らんとしてゐるところへ兩氏が現れ原理事長は加藤氏の腕を扼して室外に連れ出し「産業補助金として下附される金を債務のかたに渡したとあつては博覽會の體面に係るから一時だけ我々の手に受けらせて呉れ」と懇願し一千圓を受取つたまゝ今日に至るも言を左右にして支拂はないといふにあり、その不徳義な行爲に小林商店では極度に憤慨してゐる

帳簿調査を

債權者團でする

虫のよい態度に憤慨

日滿博債權團下島實行委員長以下十五名の委員は一日午前九時から大連警察署長室で石井署長立會の下に原博覽會理事長外石田、宮部兩理事と會見、債權辨濟に關する誠意ある回答を求めたが、期待すべき何等回答を得られぬのみか、原理事長は終始責任を回避するが如き態度に出で石井署長から「君は誠意がない」と注意を促されるが如き場面を演出し結局博覽會側で債權者團に帳簿一切を提供し實行委員の手で帳簿調査を行ひ各債權の振分けと不正記入の發見に努めることゝなり何等結論に到達せず有耶無耶の裡に十一時會見を終つた、それより實行委員等は原理事長等の無誠意に憤慨し直に博覽會の帳簿一切を取り寄せ大連署應接室に於て木原、相川兩辯護士立會の下に帳簿檢査に取りかゝつたが過般博覽會側から債權者團に提出した債務總額は實に十六萬四千百十圓の巨額に上つてをり、その中には

日光館貸 二三、○○○圓
貿易協會出資 一九、○五○圓
借入金 二七、七六七圓
旅費借入 二、○○○圓

合計七萬一千八百十七圓といふ莫大な債務が計上されてゐるが日光館貸の如きものは内部的關係のものので一般債務として計上するは不都合であり、協會出資も原理事長が主宰者となつてゐる日滿貿易協會の出資でありこれも一般債務とは見做されない、借入金並に旅費借入の如きも博覽會關係者から借入れた金が加算されてゐる模様で自己の懐から出た金額まで一般債務として計上してゐることは餘りに虫のよい態度であると債權團では其の不誠意を鳴らし徹底的帳簿檢査のうへこれ等不正記入は排除し大連市民が有してゐる純然たる債權のみを書き出し佐藤會長並に理事者中から私財を投げ出させるか或は其他の方法を以て債權辨濟を迫りいよいよ方法の盡きた場合非常手段に訴へるべく態度を決し目下委員總出動で帳簿檢査を行つてゐる

滿洲里の邦人全部を片端から逮捕す

領事館屋上から應戰し戰死

海拉爾、布哈圖も遭難

【ハルビン特電一日發】滿洲里を脱出して來哈した某滿洲國人談によれば二十七日朝十時三十分頃停車場近くで三發の銃聲を聞いたがこれを合圖に灰色服の支那兵が市内に前進して來た、一部は直に日本領事館に向つた、間もなく小銃機關銃の亂射を聞いた、領事館屋上から間もなく日本人數名が機關銃で交戰したが、護路軍が手榴彈を投げ込み殆んど全部戰死した、國境警備隊(内邦人約六十名あり)は男敢に應戰したが十數名の日本人隊員戰死し多數の負傷者を出し衆寡敵せず武裝解除されたらしい、稅關員は地下室によつて應戰したがこれ又武裝を解除された四道街に日本人四名の死體が横たはり驛プラツトホームには日本人稅關員が一名殺されてゐた、二十八日支那兵及び便衣の支那人は市中の日本人男女を片端しから逮捕し始め馬車に乗せて連行するのを見た飛行機は廿七日二、三回旋廻したが支那兵が盛んに射撃したので引返して行つた札賚諾爾附近に不時着したとの噂であつた、その内にファインゴリといふ外人將校がゐて頻りに日本人を捜してゐたがその談によると日本人五十二名が逃亡したとのことだつたまた海拉爾で日本人八名、布哈圖で一名殺害四名捕縛監禁された

遭難旅客機を解體

搭乘者全部を虐殺

【チチハル三十日發】両子山で遭難した旅客機は三十日午後三時頃張田九軍が機體を分解し同機に積込んでゐるのを二回目の調査に行つた飛行機の報告で判明したがハイラルに輸送する模様で搭乘者は虐殺された事確實となつた

札免公司員 無事と判明

【ハルビン特電三十日發】二十七日行方不明となつた旅客機搜査のため二十九日朝チチハルを發した飛行機は午後二時チチハルに歸つたがその報告によれば伊勒克特西方地區を隈なく搜査したが發見せず札免公司員は無事である布克圖札蘭屯は平穩異常なく低空飛行したるも射撃されなかつた

一寫眞說明

1、牧城子の城門2、大東溝沿岸の美景3、水師營會見所4、長春庵の天仙聖母廟5、火石嶺海軍陸戰隊記念碑6、磊山屯血の出る木から案子山の雄姿を望む7、双臺浦海岸8、玉仙峠平原の眺望

海軍機流れる

旅順西澳着水中の海軍飛行機四臺は卅日夜の突風の爲め流されたので内三臺は海軍側にて港内に繋留し得たるも一臺は遠く老虎尾半島方面に流出したので朝日丸を急派今朝抑止無事港内に運び來つた

天氣豫報

二日 北西の風晴 一時曇

滿潮(午前十一時二十分 午後十一時四十分)
干潮(午前五時十分 午後五時十五分)

各地氣溫 一日午前十一時

大連	旅順	營口	奉天	長春
二五度	二二度	一九度	一八度	一四度

明日大連運動場土俵で 第一回相撲豫選會

主催 滿洲日報社
後援 大每大連支局

臨時競馬

第四日目午前

大連競馬秋季臨時競馬四日目は一日午前十時より星ケ浦にて開始されたが午前中の成績左の通り

◆第一競馬(新古呼三頭)千八百米 第一着石河(奥田騎手)二分十六秒二、第二着黒龍(六馬身)第三着旭昇(大差)
【配當】(單)十一圓九十錢(附加券)一等百四十八圓四十錢、二等四十二圓四十錢、三等廿一圓二十錢

◆第二競馬(各抽七頭)二千米 第一着光國(山下騎手)二分四十二秒四、第二着多嘉保(一馬身)第三着天龍(半馬身)
【配當】(單)十六圓八十錢(複)一着八圓七十錢、二着十圓二十錢(附加券)一等百九十二圓、二等六十四圓、三等三十二圓、以下八圓

◆第三競馬(新古呼四頭)千八百米 第一着別嬪(足立武騎手)二分十九秒四、第二着三共(一馬身)第三着大五(大差)
【配當】(單)七圓六十錢(附加券)一等二百五十六圓四十錢、二等七十三圓二十錢、三等三十六圓六十錢

◆第四競馬(秋抽五頭)千八百米 第一着島海(福島騎手)二分三十六秒四、第二着五光(一馬身半)第三着蠟龍(半馬身)
【配當】(單)七圓八十錢(複)一着五圓三十錢、二着六圓四十錢(附加券)一等二百七十二圓十錢、二等九十圓七十錢、三等四十五圓三十錢、以下二十二圓六十錢

國難日本刀（111）

高桑義生作
京極佳夕畫

女の國（六）

わびしい秋、つめたい秋。

小松はもう一度鏡に顔をうつした。ほつと嘆息した。

小松――かの女はその昔のお加代だつた。千駄木の植甚の娘お加代である。

あの頃の清らかな明眸には、浮世のかげがあつた。でも、妖麗ななまめきが底深く秘められてゐる白菊を思はせた氣品の高い美貌は今は熟しきつたあでやかさ、蛛力にかゞやいて、色香のふかい、盛りの女の美しさである。

純粋な娘だつた頃のお加代。

さうして、廓第一の容色艶名をうたはれてゐる現在の小松。

かの女の身の上にも、幾變轉のあつた事を、その相違がはつきりと語つてゐた。

十年をひと昔――まもなくひと昔にならうとしてゐる。たつてしまへば短くも迅い。が、その歳月の間に、人の身はどんなに變化をするか知れないのである。

遊女になつたお加代――かの女が幸福でなかつた事は明らかであらう。

秘密のかげに、憂愁をかくして生きて來た。

人間は不幸である、人生は苦痛である――けれども、生きて行かなくてはならない人間、人間の運命……。

彼女は、鏡の顔を見るたびに、あさましい姿をうつし見るたびにさう思ふのだつた。

でも、かの女にも、ひとつの願ひがあつた、夢があつた。

上月弓之助――かれだ。

あの頃、弓之助の言葉は、お加代にとつて不可解だつた。が、その後の、現在の小松には、およそ了解されたのだつた。

遠い海のかなた、異國……弓之助の志す處。

彼女は弓之助の消息を知らなかつた。運命はいつも皮肉だつた。知るべく願つてゐる者には、知られない。

何のために異國に渡つたのか？誰も。嫌ふ紅毛人の國に――弓之助の眞意は、依然としてわからなかつたが、戀する者は、聽くは考へない。

深い仔細があるに違ひないと。それよりも、御無事でゐられるだらうか？

何ものよりもそれを祈つた。弓之助の無事息災を、さうして、いつか再び相見る日を、祈つた、待つた。

はかない望みだ。でも、たゞひとつの光明だつた。それのみにすべてをかけて、お加代は生きてゐる。

ひつそりとした部屋の空氣だつた。

くらい隅では、こほろぎが鳴いてゐた。その昔、草深い千駄木の古家で、きいたこほろぎ――おなじ鳴く音も、聞く身の上によつては、違ふのだつた。

涙がおちる。――

賑やかな騒ぎ、憂ひを知らぬ人の聲だ。が、その響きにまじつてかすかに出船の笛の音が、尾をひいて、淹の夜の哀愁を告げる。

「小松さんえ、小松さんえ……」

廓特有の聲が、遠くから聞こえて來た。

小松はハッと胸をつかれた。

草履の音が部屋の前でピタリと止まつて、襖が開いた。

「花魁え……」

「あい……」

「お内證で、お呼びですよ」

「はい」

「すぐ行つて下さいよ」

草履の音が、ヒタヒタと消えて行く。

小松は立ちあがつた。力ない裾さばきで、冷やかに光る廊下をわたる。

月があつた。その影を仰いで、

（あの方は、何處に、何をしてゐられるのであらうか？……）

涙がはらはらと落ちてこぼれる

噂話

けふからまた河合映畫を上映する寶館では今後毎週四本立で押し通し▲秋の夜長に大衆ファンのお好み通り尺數の足らぬところを巻數で補つて桝目をよくする▲近く映樂館で上映豫定の「愛よ榮光あれ」に目下東京カフエーにゐる現役女優久米順子が出演してゐる評判のオリムピック發聲ニュースの第三報第四報を上映するが▲流石運動全盛都市だけに各館が積極的に動かなかつたこのニュースが結構呼び物になつてゐる▲日活のメトロ映畫配給で帝國館が早くも「ターザン」の豫告宣傳を開始▲東京マネキン倶樂部所屬のマネキンが來連すると東京からの放送、昔ほどの人氣があるかどうか

本社特選 新棋戰（其六）

先六段△平野信助
平手 六段▲飯塚勘一郎

【圖は四八桂迄の局面】

▲飯塚氏持駒 歩

△平野氏持駒 角香歩歩

△五三歩成 ▲同 銀
△四五桂 ▲六八成香
△同 金 ▲四七馬
△三三桂不成 ▲同 桂
△四九飛 ▲四八金
△同 飛 ▲同 馬

累計七十八手

【土居八段講評】飯塚君の六八成香は早い、この手は何時でも指せる故あとの含みに殘しておき一旦四四銀冇、三三桂、同桂と穩かに指して攻勢に轉ずべき處である。平野君の三三桂は運用を誤つてる、五三桂ナラズ、三一玉、四九飛、四八金、同飛、同馬、三四歩打と指さば尙面白い局面になるに相違ない。

◇◇月魄◇◇ また新派悲劇の觀客層を狙つた新興映畫で原作は有名な菊池幽芳の通俗小說、八尋不二が脚色し渡邊新太郎の監督で森靜子、河津清三郎、高津慶子主演で映畫化したものカメラは川崎常次郎（映樂館上映）

滿洲日報

リットン報告書外務省へ
謎の鞄は開かれ『問題』は面前に來た
夜を知らぬ霞ケ關

リットン報告書をもたらした聯盟書記長アース氏聯盟政治部副部長バスチホフ氏、およびイタリー隨員シヤルル氏一行は二十八日朝入京直に帝國ホテルに入つた、問題の報告書はバスチホフ氏から英國大使館に保管方を依頼したが、わが外務省としては何分にも四百ページといふ長大な報告書でその飜譯にも相當時日を要するから豫定の日より早く手交されたい旨ジユネーヴを通し聯盟事務局と交渉遂に卅日外務省に手交されたので外務省は直に飜譯に着手した

【東京三十日發】英國大使館一等書記官グリーン氏は聯盟事務局員バスチホフ氏に依り三十日午後六時四十五分外務省に有田次官を訪問茶皮鞄入りのリットン報告書を手交したよつて有田次官は直に考査部に對し謎の鞄を投げ出しその飜譯を命じた

【東京三十日發】リットン報告書を受けた外務省の考査部は特に四名の監督により督励され委員長労澤書記官以下選り抜きの若手書記官三十六名に分擔され直に大活動が開始された斯くてタイプ校正推敲を經た上一日午前整理委員會にかけ修正を了し發表される譯文さなるが飜譯者はじめタイピスト等何れも魂を打込んで夜を徹する

十九國繼續委員會
支那の要請を審議
一日開會に決定す

【ジユネーヴ三十日發】聯盟總會十九國繼續委員會は一日午前十時開會し聯盟規約第十二條第二項所定の報告書提出期間の延長期間を確定することを要請した顔惠慶の九月十八日附書翰を審議することゝなつた

【ジユネーヴ卅日發】特別總會議長兼十九ケ國委員會委員長ベルギー外相イーマンス氏は顔惠慶の七月一日總會の報告提出期間延長承認決議に對し遲滯ならしむる爲め新決議を附加せんとの要求に就き一日午前十時半から十九國委員會を開き審議することゝなつた、支那代表部はこの機に左の如く提案せんとしてゐる

一、今春の特別總會決議は上海滿洲兩問題を一括して取扱ふ意向を明かにした

一、報告書を理事會で審議するのは誤りで總會にて審議すべきである

一、依つて支那は十九國委員會にてこの正式決定を望む

併しイーマンス氏は十九國委員會の十四國は理事會所屬にして結局委員會は理事會の方針を支持し報告は理事會にて審議せらるゝならんと語つてゐる、尚支那代表の態度は日本が滿洲の形勢を現在以上に變化せしめないやう處置を執られたしとの態度につきイーマンス氏は廿四日理事會でデヴアレラ氏と同樣日本の承認を遺憾とするに止めるさ

露支復交々渉
一時打切り
南京政府の方針決定

【南京三十日發】日、露、滿の關係漸次具體的接近を見、露支の復交々渉は露國側が殆ど問題にせざるに至つたので本日の國民政府行政委員會議は露支復交々渉を一時打切るに決した

學良軍事費に官吏等の減俸

【天津三十日發】張學良は國家救濟費と稱し河北省内全部の官吏軍人を始め鐵道從業員に至るまで今後俸給の二割乃至三割を醵出せしむべく本日發令した、右はジユネーヴから龍惠慶の寄せたる滿洲國治安攪亂を勸誘せる電報に刺戟され義勇軍增援の軍費に充當の意さ見らるゝも半ば私腹を肥やすため保留する模樣である

リットン報告羅部長に手交

【南京三十日發】聯盟調査團書記テーラー氏は今朝上海から來京し午後六時（東京時午後七時）リットン報告書を國民政府外交部長羅文幹に手交した、外交部は直管報告書の飜譯に着手した

日滿間の關税交渉
急速に開始か
大連海關問題を機に

在華紡績二重課税問題に對し滿洲國政府に陳情し交渉不調に終つたと傳へらるゝ船津、立川、權野三氏は三十日午後一時二十分奉天歸着、ヤマトホテルに於て特務部の國際法の權威齋藤良衞氏と二階一室に於て面會し

協議

した、その内容を仄聞するに、上海紡績業の事變以來の事情から滿洲國の新關税改正による打撃を説明し、日滿交渉より緩和策をとる具體方法を協議した模樣である、日本としては大連の存在であり、特殊地域に於ける滿洲國關税の存在であり、税關の機能が果して無條件に右布告を容認し、絶對に公布と共にこれを適用し得べき本質を有するものなりや、合法的手段として全權部を經由し、滿洲國に二重課税の合理的適法の交渉を陳情する模樣である、關東廳としてもまた全權部としても本問題の經過如何は關東州内の各種工業製品が滿洲國に輸入される場合、例へば金州、福紡の如き（上海、青島紡は滿洲國の輸入を目的とした生産工業ではないとしても）に對し關東州の税制問題にもやがては

關係

を有し、現在又は將來關東州に勃興せんとする諸工業政策上からいふも、滿洲國の一方的の關税改正は行はれざるべく、從つて根本的に禍根を一掃する意味から當然滿洲國關税改正實施以前に全般的日滿關税の協定を決定すべきものである、よつて本問題を機會として日滿兩國の關税會議の開催により圓滿に日滿關税協約を締結さるゝに至るであらうと期待するものが多い【奉天電話】

愛河に税關
滿洲國で新たに設置
一日から徴税開始

匪賊横行のため未だ開始されなかつた綏芬河税關の處置については濱江關で對策考究中のところ先ごろ列車不通のため綏芬河に停滯中であつた輸入貨物に對しこの程綏芬河分館十作文が上海總税務司の命と稱して徴發したことが判明したため濱江關では税務部の指令を受け愛河に税關を設置し十月一日から徴税事務を開始することゝなつた、因に綏芬河現在滯留中の貨物は百三十一車で税金二十三萬圓である

苦境だけを船津氏語る

二重課税による在支那人紡績業者

昭和製鋼所滿鐵案
中島商相も承諾す
きのふ拓相と協議

【東京一日發】昭和製鋼所設立に關し永井拓相は中島商相と會見協議したが滿鐵案は

一、昭和製鋼所は半製品のみ製造すること

一、昭和製鋼所の製品は内地市場を壓迫せざる立前を採つてその二原則ある爲め中島商相もこれを承諾したさ

伍堂理事拓相と會見

【東京一日發】滿鐵伍堂理事は一日午前十時永井拓相と會見昭和製鋼所設置案を提出し四十五分にした、依つて永井拓相は中島商相と十時五十分より會見八幡製鐵所との關係その他に就き協議であつた

永田市長參內

【東京一日發】大東京誕生の一日

閣議決定人事

巷説は兎も角
滿鐵理事は内定
手續終了と共に發表

在滿小學校長
優遇者決定
撫順奉天長春の三市

フオード借款の再交渉開始
米南京總領事廬山へ

【上海二十九日發】南京米國總領事ペック氏は昨日宋子文と廬山へ赴いた、それは支那の希望に依り介石と會見フオード借款再交渉のためと云はる、借款は約三千弗で支那政府はアメリカから

中央の調停に韓復榘不滿
再び前線に進撃開始

明年度豫算編成方針
滿洲事變費は別途審議

滿洲國にも保甲制度
實行につき拓務省協議

練習艦隊司令官更迭

鮑代表内田外相の交驩

移民生活八十日
滿洲移民實習所實績

一〇、食物

一一、健康狀態

社説

支那の滿洲擾亂策　膠柱的法理と人類の大道

ジユネーヴではリツトン報告書が近く公表せられんとし、各國代表がその審議準備に入らんとする昨今、ジ市に於ける支那代表から其の本國に宛て、滿洲の大擾亂を決行すべきやう勸告の密電を發したと報ぜられる蓋し之れによりて滿洲國治安が維持せられ居らざる證とし、以て國際聯盟に於ける支那の主張を有利に導かんとするものたるは勿論である。

◇

ジユネーヴから斯うした勸告は來なくとも、張學良の夙に滿洲の擾亂に全心を傾けつゝあるは疑ふ可らざる所にて、既に其の證跡も十分に擧げられてゐる或は滿洲國内に於ける從來の匪賊を懷柔して義勇軍と爲し、之れに相當の名譽的地位と金錢とを支給し、若くは滿洲國の官吏や軍隊を買收し、或は支那本部より軍人、密偵を派し、或は鐵道を破壞し列車を襲撃せしめ、或は滿洲國人や歐米人を拉致せしめ、或は日本人を拉致又は虐殺せしめ、或は日滿要人の暗殺を計畫する等、あらゆる手段によりて滿洲國を擾亂せんと企圖してゐる。最近頻々として發生する匪賊の蜂起、滿洲國官吏軍人の叛逆行爲、陰謀の暴露、鐵道の事故、拉致虐殺等の事實は何れも其の反映にあらざるはなく、既に捕縛せられたる者の所持せる物品、書類、口供等によりて、十分に之れを立證することが出來る。

◇

殊に最近暴露せられた張學良の義勇軍將士表彰法及び人民抗日表彰法なるものは、甚だ注目すべきものである。其中には、若し日本人を拉致し、これを殺傷する場合には、一名につき一百圓を給し、同じ日本人でも軍人ならばその相場も高く、大將は三萬元、中將は二萬元、少將一萬元、佐官五千元、尉官二千元の割合にて給することゝなつてゐる。これだけなれば理由も明白であるが、不思議なることには、第三國の人民に對しては特に高價を支拂ひ「日本人以外の外人、殊に英米人一人を拉致せる者には、一千元を給す」とあることである。これは要するに滿洲の不安狀態を諸外國人、特に英米人に誇張せんが爲めの張學良の詭計に外ならない。

◇

張學良の滿洲擾亂策は更に歩を進めてゐる。曰く「若し人民が抗日鄉軍を作つて日軍と戰ふならば、其地方は三ケ年の免税、縣城を襲ひて自ら縣長公安隊長になつたものには、本領安堵の墨附を出す、若し義勇軍の機密を漏したものは、五族を銃殺す」といふのである。支那の民族性や習慣其他の事情から見て、之れが頗る効果あるべきは推測さるゝ所で、以上の擾亂計畫が殊に頻繁になりたるは、此の密令が勵行せらるゝ結果に外ならない。

◇

併しながら斯くの如き非道的計策によりて、果して支那が國際上有利の地歩を占め得るであらうか。又之が果して國際聯盟を動かし得るであらうか。假令聯盟を動かし得るとするも、果して世界の人心を動かし得るだらうか。云ふまでもなく斯くの如きは目的の爲めに手段を擇ばざるものである。しかもその目的たるや、張學良の私慾の爲めに過ぎない。最も善意に見た所で、南京政府の勢力範圍擴張に過ぎない。假令之れが國家の慾望なりとするも、それが人道を害して世界を毒するものならば天下の公理より見れば私情に外ならない。滿洲國の擾亂は此の私情の發露であつて、滿洲國並に日本が營々孜々として其の治安を維持し、政治を改善し、滿洲在住民はいふまでもなく、汎く世界全人類の爲めに安居樂業の天地を開拓せんとするに拘らず、支那は之を妨害せんとするものである。

◇

此事實から見れば、滿洲問題は單に國際法の問題ではなく、人類大道の問題である。國際聯盟に於ける各國代表者は多くは法理に拘泥する人達であるが其の法理たるや、膠柱的法理であり、且つ東洋の現在の實情に通ぜざるものである。故に彼等の多くは概念的東洋の上に、膠柱的法理を當て篏めんとするものである。聯盟の認識不足の議論に世界が惱まさるゝのは多くは此の故である。日本は今や天職として聯盟會議を正當な途に導くべき地位に立つ。此際日本は支那側の非人道的擾亂の事實を暴露するが如きは、その膠柱的理論に反省を與ふ可き好機緣を作るものであらう。殊に近時の滿洲擾亂は、其の自然の發生にあらずして、斯くの如き不自然煽動の結果であることを諸外國に知悉せしむることは、彼等に滿洲國創造並に成育の事實を認識せしむる爲めに頗る必要なることゝ思ふ。

滿洲新國家は次に治外法權撤廢を要求

大橋外交部次長の赴日は意向傳達の先驅

滿洲新國家が獨立國として承認された以上治外法權撤廢は滿洲國としても緊急希望するところであり司法部當局は建國以來司法權の完成を期し努力し來りさきに不良司法官の大更迭

制度の改善

とその成績見るべきものがあるが大橋外交次長の赴日と同時にこれが交渉を開始することになつた、從來滿洲に於ける司法制度並に司法官はその質甚だ不良なるものあり今後撤廢後はこれを長く繼續するときは滿洲國の威信にも關することゝて また近く大改革を加へ目下具體案研究中であるが司法部當局では大體日本のそれに似た裁判所構成法について寄々協議中であるがこれが成案を得ると同時に監獄制にも辯護士法にも大改革を加へることになつて居り既に大體決定した模樣で大橋次長の赴日は日本政府に對する司法部當局即ち滿洲國政府の意向を傳へ諒解を求めることになつてゐるが當局としても奉天の全權部に

最初の交渉

を行ひこれが終れば十一月末馮司法總長及び阿比留總務司長が赴日、内地、朝鮮に於ける司法制度の視察旁々大橋次長の交渉に基き治外法權撤廢に關する細目の打合せをなすはずである、これに就いては日本政府としても滿洲國の司法權が確立さへすれば當然贊意を表するわけであり司法部當局では大體今年中にこれが決定を見るべしと觀察されてゐる、只問題となるのは果して日本が全滿に亘つてこれを認めるかまたは部分的な地域にこれを認めるかであるが滿洲國政府としては全滿各地に亘つて日本の優良司法官を輸入配置すれば日本人としては決して

不利な立場

に陷ることはなくなるわけであるとし目下鋭意これが完成に努めてゐる【新京電話】

勅令發布を求め重壓手段で解決か

市場案の實行難に小川市長痛く焦慮

大連中央卸賣市場の市營單一制は市會の決議により十月一日より實施の豫定であつたが補償金問題に纏され遂に實施に至らなかつた、これで市民の期待はすつかり裏切られたわけで輿論は嘖々と市長の無能を叫びその責任を詰問してゐるが之に對する小川市長は「市會の決議により執行の責任あれば遲れても斷々乎と所信を敢行する」と頗る鼻息が荒い、市長は要するに最後の手段として勅令の發布を請ふもの、如くであるが勅令として三月や半年で發布されるものにあらず、さればといつて現狀のまゝの交渉を續けんか恐らく百萬遍繰返すとも解決しないであらう、されば今後も幾多の曲折により尚ほ紛糾續くべく市會議員の選擧を控へさすがの小川市長も胸中大いに焦慮の模樣である

新京における承認慶祝大會

十月八日陰曆九月九日の佳節を期し全滿一齊に承認慶祝大會を擧行することは既報の如くであるが、文教部總長、民政部總長よりは既に擧行に關する布告を各地に發し中央委員會は愈々の實行委員會を開催これが手配や具體的進行方針について研究中である、而して當地新京においては金市長を司會者とし官民合同大々的に一日を慶祝することになつてゐる、會場に指定された民政部前の廣場は目を奪ふばかりのアーチに飾られ、その一隅からは優しい朗かな軍樂隊の奏樂が響きわたる、間歇的に起る煙火の音、晴天に模樣を畫いたかの樣に浮いてゐる無數の風船玉、飛び廻る飛行機等賑やかでなごやかな雰圍氣の中を午前九時金市長の開會の辭に儀式は左の通りの次第で行はれる

一、開會の辭。二、國旗に敬禮。三、執政教書朗讀。四、國務總理訓示朗讀。五、外交總長の祝辭。六、日本人代表の祝辭。七、全權部代表の祝辭

終つて全市民擧つて手に手に日滿兩國旗を翳しての大旗行列に移る

この日日滿學生を始め中央政府官吏全部、一般市民、軍人、各公共團體、客分として日本人官吏長春市民等殆ど新京の全住民を擧げこの大行列は儀式の直後同所を出發西公園、中央大通り、國務院、執政府を過ぎ元の會場に來つて解散するが、午後は市政公署主催の官民代表を招待西公園に於て盛大なる園遊會を催し、また當日の狀況を滿洲は勿論遠く内地までラヂオの放送をするはずである【新京電話】

下旬貿易輸出内容

【東京三十日發】本月下旬貿易は出超は千七百三十七萬圓と云ふ數字を示したがその増加の理由は輸出入共増加して居るが輸出の増加は上中旬の前二回に比し約八百萬圓に上つて居るに對し輸入に於て五百萬圓の増加を見たのみなので前二旬に比し約三百萬圓を増加したのである而して輸出内容を見るに生糸、絹織物の輸出は殆んど増加を見なかつたが棉糸布に於て約三百萬圓を増加して居るから殘余の五百圓は一般雜品の増加と見る可きである、棉糸布の増加は印度、南洋、アフリカ近東方面の輸出が圓價低落に依り依然衰了へぬ證據であり、生糸の輸出の衰へぬのは米國の一般需要が減退を示さぬ證據である、又一般雜品類の増加は支那中部地方の排日緩和とあたかも中秋の仕入時期に再會し同方面への輸出増加を誘致したことに依るもので輸出の好調は當分好調を持續するものと見られ貿易の大勢は急激の變化なしと思はれる

近代式を誇る蘇家屯機關庫

一日操業開始

滿鐵が總計約四百萬圓の巨費を投じて昭和六年四月に着工した蘇家屯機關庫および市街地の新設工事は今や病院を除く全部を完成、三十日同建設事務所から鐵道部山領工務課長宛正式に機關庫の竣工を傳へて來たのでこゝに從業員約一千名を擁し滿鐵が最近代式を誇る蘇家屯機關庫もいよ〱十月一日から正式操業を開始することゝなつたが時節柄竣工祝賀の宴は催さなかつた、左に蘇家屯機關庫の概略なプロフイールを紹介する

蘇家屯機關庫の敷地は延長二キロ、幅員四百米で、八十萬平方米の敷地を占め總工費百六十八萬圓、主なる建物としては長方型の機關庫をはじめ乃關室、事務所、倉庫、給炭塔、轉車臺、還車臺、炭臺、指浜宿所、詰所等があり他に専用線路九キロが新設された、タイプは機關庫をはじめ何れも新式を誇るもので特に鐵道部工務課が誇つてゐる點は轉車臺と機關庫内の排煙裝置である、即ち轉車臺は最近獨逸で盛んに使用されてゐる三點支承式を採用經費、能率の點から見ても從前のものに比して比較にならぬ優秀さを示してゐる、三點支承式とはこれまでの轉車臺の支柱が一本であつたものを輕量な三箇の支柱にしたもので運轉も電氣、蒸氣、ハンド何れを使用しても好いことになつてゐる、次に機關庫の排煙裝置は從來のやうな單純な煙突式を排し、庫内に入つた機關車が何處に止まつたとしても自然と煤煙が天井を傳つて煙突から拔ける裝置になつており、煙突もシユーパースチールを使用、山領課長が「日本内地にもありませんよ」と威張る設備である給炭塔は大連と同じく三百噸のキヤパシチーで給炭時間は二分間、給水塔の收容量は六百噸まで大丈夫とされてゐる、そしてこれ等の給炭、還車、轉車等の各機械の運轉は電氣を主力としてゐるのである

◇

市街地の建物設備費は社宅、學校、病院等を合して百七十萬圓に達し小學校住宅は既に完成し病院も今年中には完成の豫定である、社宅の數は甲三棟(三戸)乙十八棟(十八戸)丙四十三棟(一七二戸)丁四十棟(一六〇戸)で三百五十三戸の家族を收容し他に獨身宿舍三棟(一一九名分)滿洲人社宅十棟(九六戸)滿洲人獨身宿舍二棟(四八名分)があるその他更に約六十萬圓の豫算で水道設備(下水一五萬圓、上水五萬圓)道路築堤工事等が着々と進められてゐる

產業開發のため地方組合を組織

來連中の中野協和會理事談

今回滿洲國民政部總務司長より協和會理事に轉じ、中央事務局次長となつた中野琥逸氏は三十日夜來連、一日朝來着の實業部總長張燕卿氏を出迎へ、挨拶の爲め滿鐵その他を訪問したが協和會の近狀について左記の如く語る

協和會の本部は現在尙ほ奉天にあるが、來月下旬軍司令部の移轉と共に新京に移動する筈である、會の事業としては本部に六十名、外に地方に散在してゐる百四十餘名の會員が一團となつて新國家建設の宣傳その他建國の精神を體して、これに順應する實際的工作に從事してゐるが、產業開發を目的とする地方民の各組合組織等のことにも着々歩を進めて居る、何分匪賊が依然跳梁してゐるので屢々事業の上にも支障を來して居るが、一面北滿方面に於ける新現象として日語の研究熱が熾烈な勢で勃興して來たので、この機に乘じて臨時に日語研究所を作つて居る、現に北滿のみで六ケ所に存在してゐるがこの日語熱は最近東邊道方面にも波及して來た、協和會は現在吉林とハルビンの兩地に事務分局を設いてゐるが、私共は會の使命に向つて飽迄邁進する考である

有吉公使支那側招待

【南京三十日發】有吉公使は三十日午後七時より領事官邸に羅文幹何應欽等を招待し晩餐會を開いたが午後九時散會した、有吉公使は十時自動車を連ね日淸汽船碼頭に行き軍艦天龍で一日朝上海へ向ふ

英軍事公債

【ロンドン三十日發】英國財界破天荒の試みとされてゐる五分利付軍事公債低利借替は異常の好成績でチエムバーレン藏相は本日左の如く言明した

六月三日現在償還總額二十億八千萬五百萬磅は既に借替を完了し一億六千五百萬磅即ち總額の八パーセントに對しては十二月一日現金償還をなすことになつてゐる

なほ一行は遼東ホテルに投宿二日朝急行にて北上の豫定

卒業生を慰問し要人に敬意を表す

大内同文書院長來連談

東亞同文書院々長大内暢三氏は一日入港の大連丸にて來連したが、同氏は滿洲國承認と共に同校卒業生が各方面に活躍中のことゝて、これらに來て十九日の船で歸ります、目的は卒業生が約五百餘名といふ大多數の者が各地にあるので慰問と滿洲國要人に敬意を表するために來たのです、とにかく我校は最も支那を理解し支那を知る意味において創立されたもので事變以來本校の眞面目を發揮しつゝある、幸に滿洲國政府並びに滿鐵その他においても非常に重寶がられてゐるし、又それ等の卒業生も大いに努力してゐてくれるので自分としても慰問旁々來たのです、今後滿洲の產業開發に力を致してゆかねばならぬと思ふがこの發動機關となるものはどうしても滿鐵だ、然し時局柄治安維持方面の必要もあるとだし今面度は軍政に立籠つた文武兩方の人達の活躍によつて時局を達觀して日滿兩國が手を握り合つて行かなければ駄目だ、要するに換言していふと武裝產業主義でやつて行くのだ

自分はこの六月にこちらに來て北平、靑島を經て歸りました、今度は新京まで行つて十九日の船で歸ります

歸つて見て

東上の途　石村生

今朝、下の關に着いた、舊友との要談もすんだので、スグ朝鮮經由歸連の積りであつたが、俗内地の土を踏んでみると何となく懷しくなり、且つ友人が折角此處まで來たのに東京に行かぬとは、何たることだ、ボク田舍者になつても困る、東京の現狀に觸れないで、何がわかるものかと、頻りに東上を勸めるので、俄に心機一轉、同行することゝなつた、外に出ると妙な氣になるものと見へる、ソコに人生行樂の興味も湧いて來る。矢張り内地はいゝ、何遍來ても來る度每に好くなる、ドコがいゝかと言つた所で、そんな事は言へぬものでない、たゞいゝ。ドコとなく氣持が、ノンビリして朗かになる。山と言ふ山、村と言ふ村、人と言ふ人。ドコかに潤いが有り、懷し味がある。滿洲事變を中心に内外多難なりと雖も、農村窮困せりと雖も、列車から見渡す限り、山は靑く村は靜かに、人は平和に、そんな風がどこを吹くかと言はぬ計りに、われ〱在滿邦人の想像し得ぬ不動の姿勢を示してゐるこれを視るだけでも氣持が好い。況んや、その底に深く流れてゐる所の國家の行く所まで行かねばならぬと言ふ偉大なる力に於てをや。有難きは祖國である。懷しきは村人である。

今日は滿洲事變一周記念日である沿道の村々はいづれも日の丸の旗を掲げて、遙かに事變以來滿洲各地に尊き犠牲を拂はれたる忠勇無比の戰死者の英靈を弔ひ、新興滿洲國の健全なる發育と東洋平和の確立を祈つてゐる。その色のサメたる國旗の裡には限りなき忠君愛國の熱情がほとばしり、村端づれに高く萬歳を三唱する小學校兒童の可愛ひ聲の中にも、祖國の爲め には、何物も犠牲に供するを辭せぬと言ふ決心を現はしてゐる。何と頼もしき光景ではないか。ともすれば、祖國の事に關心のなき、而して動りて「エラガリ」くさつてゐる一部の在滿邦人に視せたいものである。今やその滿洲問題に關する限り、内地は一生懸命であ る。此の必死の光景を視ぜ附けられてはわれ〱在滿邦人も、現狀の儘ではスマされまいと見たのは、强ち僕の僻目ではあるまい大連に居て、内地の新聞記事を資料に、内地の現狀を想像すると、日本は、内地は、同胞は今にも消へて行くの如く、どうにも、斯うにもならぬやうに見へ且つ思はれるがソコは聞くのと視るのとは大ちがいで、實際に來て視ると、さうでもなく、山の靑きが如く村の靜かなるが如く、どこかに伸びて止まざる、進んで止むる所を知らぬといふ風に、のんびりした氣分が沿道各地に味へる、在滿邦人では餘りに母國を、母國民をミクビリすぎる。餘り心配することもない。呼べば答へ、叩けば應ずる準備と氣力を豐富に持つて居る。敢て母國の現狀を觀ぜよと言ふのではないが、たゞ内地新聞記事に現はれた悲觀材料のみで、現實以上に、今日の母國を母國民を●●●●●るかの如くに卽斷するのはいゝかと思ふ、謂ふ所の認識不足に非らざれば、自から墓穴を掘るの類ではあるまいか。此際一つ冷靜に考へて貰ひたい。北海道、内地、朝鮮に行かれて滿洲事變以來、内地人の想像の出來ぬほどエライものと聽いてゐたが、全くその通りだ。現に僕は德山海軍燃料所を見學すべく途中下車したところ、恰も當夜は德山を中心に附近一帶の各町村の防空演習の豫習が行はれるので、町内は丸で戰爭氣分。男も女も大人も子供も各自喜んで部署に附き、一種言ふべからざるスゴ味を示してゐる。大連などでは到底視ることの出來ない眞劍振りである。行く人も、立つ人も、たゞ默して天の一方を睥睨してゐる全く物凄い光景であつた。幸ひにも事の滿洲事變に關する限り、われ〱在滿邦人は、斯う言ふ力强いバツクを持つてゐる。此の力を如何にリードするか、今は滿洲から内地に呼びかけ、更に大に此の力を擴大すべきではあるまいか。など、列車に揺られながら書いてゐる内に汽車は早や德山を發した（九月十八日夜）

八相

五十行以内　中區はさらず　投書歡迎

鐵輪馬車の難　愛兵生

◇大江町は市内でも比較的に森閑な處で山にも近くて空氣も左程惡くはないからそれで衛戍分院をこゝに建てた譯でありませう元は非常に粗惡な道路であつたがこゝ二三年以來は漸く顧みられて年に二回位道路の舖裝工事をやる樣になつたので大分綺麗になつて來た。

◇苟くも傷病兵士の療養所であればもつと〱その附近を綺麗にして置く必要が大いにある、ところが何う云ふものか寺兒溝方面の荷馬車（主として豆粕を埠頭に運ぶ鐵輪車）は他に幾らも通るべき道があるのにわざ〱大江町から朝日廣場を通り埠頭に行つて居る。

◇殊に油房が操業でも始まれば毎朝未明から夕方まで一日中ガタ〱遠慮なくひどい騷音を立てゝ馳るので堪つたものではない

◇故に沿道一般町民のみならず靜養を要すべき傷病兵に與ふる影響も大きいと思はれる。

◇そのため折角補修したばかりの道路は一ケ月經たぬうちにスツカリ破壞されるしそれに黃塵萬丈で附近一帶の空氣は非常に汚濁されて居る。

◇何んとか衛戍病院附近をあの馬車が通行せぬやう禁止する方法はないものか、取締當局に考慮を願ひたい。

沿線と歡送迎　奉天　松山生

◇私は二十七日訪滿學童の一行と同車し大連は勿論各驛の歡送迎振りを見ましてその不統一には驚きました、それは熊岳城の如き全然出迎の學生は勿論市民もホームに居らず滿洲學童をして甚だしく失望せしめて居りましたが、此等はその甚だしいものです。

◇又遼陽では滿洲國側だけの學生で邦人學生の出迎へはなかつたのは何うした行き違ひだつたでせう、一異彩を放つた大石橋小學生の樂隊入りの大歡迎ぶりには一行は勿論同車の誰彼が感歎まつた顏つきをして居つた。

◇學童使節のことは暫く措くとして凱旋兵、交替兵の歡送迎についても果してどんなものか考へさせられました。

市勤續吏員表彰式

大連市役所ではけふ一日の始政記念日を卜し午前十一時半から大連民政署樓上貴賓室に於て十年勤續吏員の表彰式を行つた、來賓として民政署井上庶務、金井地方兩課長、大内、田中市會正副議長、小澤區長聯合會長を始め市吏員、市會議員、區長等多數參列あり該當者

▲書記鈴木行衛▲同長野吉藏▲衛生監督堤文次▲同巡視宮本和七

の四名に對し表彰狀および記念品を贈呈小川市長一場の訓示を與へこれに對し鈴木書記受賞者を代表し謝辭を述べ閉式したが更に引續き市會議場に於て祝賀式を擧行し冷酒を酌み盃を擧げ大連市の萬歳を三唱し午後零時散會した

人事

はるぴん丸　二日午前八時大連港外着豫定

▲岩井勘六氏（大連在鄉軍人分會長）三十日午後八時着列車にて歸連

▲入江正太郎氏（滿電專務）同上

▲于靜遠氏（滿洲國軍政部次長）三十日午後八時着列車で來連ヤマトホテルへ

▲中野琥逸氏（滿洲國民政部總務司長）同上

▲小澤開策氏（滿洲國協和會員）同上

▲山口十次氏（協和會員）同上

▲林松壽氏（遼北林本源會社長）同上遼東ホテルへ

▲牛田三郎氏（日本生命大阪出張所員）同上

▲松尾淸次氏（同京城出張所員）同上

電氣協會の座談會

滿洲電氣協會では第四回朔日會を滿洲電燈點火滿三十年記念の氣分に充れて來る三日午後四時大連ヤマトホテルに於て滿洲電氣事業の回顧の題下に座談會開催、終つて晩餐會を開くと申込は電二一七一七番へ因に會費は金一圓

大觀小觀

大逆事件の李奉昌、死刑を宣告された、當然、但し刑法明文上本人現在は後悔してゐるさうで早く相當の認識を得なかつたこと、くれ〲も遺憾である▲訪滿洲國外長は承認お禮の爲め日本へ、大橋次長は治外法權撤廢問題の爲め、是れ亦日本へ、日滿交渉、之れから續々となる▲歐米記者の滿洲國訪問漸く多數になる、滿洲國の宣傳が漸く利いて來た▲支那の宣傳だけで知つてゐた歐米人が、直接にその姿を見たくなつた結果である、此際裸身になつてスツカリ知らせてやれ▲國際聯盟無能の非難に對して、英佛代表辯護さなつて辯護す、但し米國のモンロー主義に顏が立たぬは事實▲東亞問題には、自分の認識不足が祟つて、見る可き効果を擧げ得ないのも事實▲フオード借款、南京政府と交渉、フオードが支那に貸したいのは山々、數年前から機會を狙つてゐる、只西原借款になりたくない▲實際支那の自動車網を手に入れたなら、米國景氣の挽回は目の前▲支那の政府は弱くても國力は强い、歐米諸國の均しく乘ぜんとする所。

市場電報

神戸特產

銘柄	後場寄	後場引
大豆現物	不申	不申
先物	不申	一七〇
豆粕現物	／	五五〇
滿洲小麥	[illegible]	五五〇
豆油現物	[illegible]	不申

大阪株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
大株	六八八〇	六八八〇
大新	六三〇〇	六三一〇
鐘紡	二一四〇	二一四〇
鐘新	九三三〇	九三六〇
東株	不申	不申
東新	一六八三〇	一六八三〇
日糖	不申	五四一〇
郵船	不申	三九〇〇
滿鐵	不申	不申
滿鐵新	不申	不申

大阪株式（短期）

銘柄	後場寄	後場止	高値	安値
大新	六二八〇	六三〇〇	六三一〇	六二八〇
鐘新	九二二〇	九二六〇	九二六〇	九二一〇
東新	一六七五〇	一六八五〇	一六八五〇	一六七五〇
滿鐵新	不申	五二七〇	五二七〇	五二五〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
十月	一六二四〇	一六三五〇
十一月	一六四六〇	一六五二〇
十二月	一六七九〇	一六八四〇
一月	一七一〇〇	一七一六〇
二月	一七一七〇	一七三八〇
三月	一七三九〇	一七五四〇
四月	一七四〇〇	一七五七〇

神戸期米

限	後場寄	後場引
十月	二一九一	二一八四
十一月	二二二八	二二二五
十二月	二二四〇	二二四〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
十月	二一七〇	二一六一
十一月	二二一九	二二一七
十二月	二二三四	二二三一

東京期米

限	後場寄	後場引
十月	二一二八	二一三〇
十一月	二一九六	二一九六
十二月	二二二九	二二三四

家庭

明るい國民

◆…「ソウエート映畫はいゝねエ、あの重い調子が何とも言へないよ」と現代の若い人々はソウエートの憂鬱味を樂しんでゐる、元來ロシア人は憂鬱を好む人種で、日本人は憂鬱を樂しむ人種のやうである、然し何れも健康的ではない

◆…このソウエートに於て「憂鬱の鬼を擊退せよ」或ひは「笑ひの總動員」などといつたやうなスローガンが政府當路者の間に頻りに叫ばれるやうになつて來た、そうして直にソウエートは、第二次產業五ケ年計畫を實行するに先だつて、笑ひの全國的運動を試み、民族性格の革命を行ふ計畫を樹てた、これは國家の進步と繁榮は國民の朗かな氣分から生れるといふ意見に基くものである

◆…日本には昔から「笑ふ門には福來る」といふ譬ひがある「笑ひ」の必要は今更言ふまでもなく、よく知り過ぎてゐるのだ、唯精神的に行きつまつた現代人の生活が、本當の笑ひを忘れさせてしまつてゐる、そして極端な刹那主義に走つた現代人のセンシブルな神經は、日本人を憂鬱を樂しむ人種にしてしまつたのである

◆…我々はもつと笑はなければならない、家庭においては勿論のこと、あらゆる場合に健全な笑ひを求めて朗かな、明るい國民とならなければならない

チューリップの露地栽培

春の花に魁けてながめられて　手もかゝらず開花率一〇〇%

チューリップの鉢栽培は相當普及してゐるやうですが、花壇に色とりどりのチューリップをずらりと並べて花を咲かせる露地栽培は滿洲では未だあまり一般化されてゐないやうです、滿目たゞ灰色の滿洲の冬を室内に咲かせて樂しむ室内栽培も結構ですが、雪の消えたばかりの庭の花壇に春に魁けて咲き揃ふあの可憐なチューリップの姿は又となく嬉しく輝かしいものです。室内栽培も完全な溫室をお持ちの方はよいのですが出窓や居室内でお育てになればよほど氣をつけても三割の開花を得るのが上乘ですが、露地栽培ですと第一手がかゝらない上に百%の開花率ですから經驗のない方にも氣樂に栽培出來ます、農事協會の實驗によりますと大連は勿論關原以南であれば何處でもこの秋に露地に植えこんで越冬出來ますし、關原以北新京附近でも防寒防風設備をよくすれば大丈夫露地栽培が出來ます

露 地栽培に適當な種はダーヴイン、チューリップでこれは性質が丈夫で莖が伸びて背高く大輪で、値段も鉢植のアーリー種よりもずつと安いのです、名稱は一球五錢、混合球は百球三圓程度ですから花壇に數多く植込むには混合球で結構です、植込むのは十月中が適當ですが、北側に建物などあつて北風のあたらない陽當りのよい場所を選みまづ土を全部堀返し充分施肥してをきます、原肥は充分腐蝕した牛馬糞に油粕を混ぜて七八寸の深さの所に一寸厚さに敷きます、その上に柔かくこわした畑土を二寸厚さに敷き表面を並して置い花壇などでしたら豫じめ五寸位づゝの距離を置いて印をつけ格好よく球根を一個宛上向に並べます、大變繁生するのが好きな方は三寸置き位でもよいのです、チューリップはあまりバラ／＼に遠く植えるより群落を作らせた方が見事です

球 根の上にはやはらかい畑土を五寸ほどかぶせ、霜が下りるやうになつたら枯葉や枯草を覆ひ風にさほされぬやう上に土を少しかけて防寒してやります。かうして冬中はそのまゝ置けばよいのですが、北風のあたる所は北側に風受けを拵へてやります、三月下旬にもなつて雪や氷が解けましたら速かに上の枯草を取去り、風のあたる所は周圍に葦簾を立てゝ日中の暖い光線をあてゝやります、時々除草をして肥料の足りない場合は薄い油粕汁をやりますが、瘦土でない限り原肥を充分やつて追肥をやらない方が安全です、二寸ほどに伸びたら乾いた時には時々灌水し、蕾がふくらんだら追肥は絶對に止めます

若 し開花せず葉が黄色くなつて凋むやうでしたら掘上げて風通しのよい所で一日位かげ干しにして紙袋に入れて保存して置きますと又翌年の役に立ちます、かうして四月下旬か五月初旬には美しく咲き揃つた花が見られますが、それから鉢にうつすなり、切花にして室内を飾るのも一興でせう、ヒヤシンス、アマリリス、フリヂヤ、クロッカス、百合、水仙、アネモネ等も同様露地にも鉢にも向きますが今恰度植込の好時機で同協會でも良種を豐富に取揃へてあります

敬神崇祖修養週間

一日から大連神社の秋祭に際して　大廣場小學校で實施

大連 大廣場小學校では今十月一日の大連神社秋季大祭を期して向ふ七日間を特に敬神崇祖修養週間として兒童に神社參拜、家庭では神佛禮拜、年長者や兩親などへすべき挨拶、兒童らしい失禮な缺がぬ程度の禮儀等をこの期間に實行させることになりましたが鈴木同校長は家庭に次の樣な希望を述べてゐます

家庭 でも敬神崇祖に就ては充分注意されてゐられることゝ思ひますが、兎に角こちらの兒童は敬神や崇祖の念が一般に薄い樣に思はれます、それに年長者に對しても度々失禮になる樣な言葉遣ひなど度々聞きますがこれを改めさせるには家庭でこの方に力を注いで戴かなければ效果を擧げることは到底できないものです、幸ひ大連神社秋季大祭を機會に敬神崇祖修養週間を設けますので、家庭でも自分の家とか祖先に就ては此方に生れたり幼い時に渡滿した位で子供は大底知らないので、この際に系圖とか家柄とか、先祖が活動した跡などに就いてお話し下さいましたら

子供 の家に對する尊敬や、愛著の心を一層強く深くし、祖先崇拜、感謝報恩の念を養ふことができ、從つて三者から敬神崇祖といつた樣なことを喧ましくいはなくとも無自覺の中に敬虔の念を深くし年長者に對する態度、言葉遣ひも自然に改めることができると思ひますので、この學校の催しを意義あらしめるため出來るだけの力を家庭でも注いで欲しいと思ひます

洋樂物に羽　ダンス熱昂まり

當分浮ばれぬ日本の聲樂板　近頃レコードの賣行

し んみりとレコードに親むこのごろ、どんな種類のレコードが一番多く迎へられてゐるかを大連市内の二三の蓄音器店に就てしらべて見ました、最近洋樂ものが素晴らしい賣行きを示してゐますこれは一部には勿論ヴアイオリンの纖細なメロデイやヴオーカルやシンフオニーのやうな大物を心靜かに味はうといふ熱心な好樂家もありますがこのごろの大連のダンス熱がこの洋樂の隆盛を招來したのが最大の原因であり從つて「春のワルツ」とか「君とひとゝき」といつたやうなダンスものやジヤズがその大半を占めてゐます

ダ ンスとシネマ熱の勃興は又流行歌や映畫主題歌のレコード次から次と製作しますがこれも猶が生えてとぶやうな賣れで當分普通の日本の聲樂レコードはこれに壓倒されるでせう、たゞこの間に無邪氣な可愛い童謠や勇壯な軍歌ものが依然相當な賣行きを續けてゐるのを見ますと日本も未だ未だ大丈夫だと心強く感ぜられます、一方に洋樂の普及した反面に秋はしんみりとしたクラシックなものに心を惹かれると見えて三曲や、長唄や、清元や、粹な端唄や小唄も相當迎へられてゐますが、近年目立つて歡迎されて來たのが浪花節で

こ れは「神崎東下り」「清水次郎長」といつた古いものもありますが時節柄滿洲事變や肉彈三勇士などを取扱つた新作が素晴らしい人氣を集めてゐます

甲斐水棹

○濤の音ひびかふ聞けばこの夜ごろ天界の動きも秋づきにけり

○庭草に虫鳴り啼く夜ふけは有待輪廻の身を思ふなり

○蛙子は轢かれゐにけり場末街の土に寒ざむ降る朝しぐれ

○道に交す言も戰の上をいひて邦人の心一つに動けり

○心驕りて背きし友よ年ふけて汝はさばかりも敗れたりしか

愈よお魚の季節　て、お値段は

コレラに祟られて夏の魚市場は氣の毒なほど淋れてゐましたが惡疫が終熄を告げたこれからは魚にも油がのつて美味しいお魚がいたゞける樣になります、お魚は凡て產卵期前油ののる秋の魚が美味しいのですが、今どんなお魚が市場に出て又美味しいのでせうか、大連信濃町公設市場の調べをお傳へしませう

……◇……

鯛も大分大きくなりましたがこれは百目八錢から十錢、サバで一匹二十五錢から三十錢、カレヒも今が美味しく百目二十五錢から三十錢で、今は子カレヒが美味しく戴けます、スズキは二十五錢—三十錢▲サワラ十五錢—二十錢▲ボラ二十錢—二十五錢▲エビ十五錢—二十錢▲グチ五錢—八錢▲カナガシラ八錢—十錢▲ホウボウ十五錢—二十錢▲タコ二十錢—二十五錢▲アナゴ二十錢—二十五錢▲カキ十錢—十五錢

鱈はこれから澤山出て美味しくなります

……◇……

生鰈で五、六十錢、氷鯛で三、四十錢、まぐろ八十錢—一圓二十錢といつた相場ですがこれも毎日の相場によつてずつとお値段の相違があるわけです、日本人は一體に內地から來る高いお魚を求められる傾向があり、こちらに多いグチとかホウボウなど餘り歡迎されない樣ですが、この樣な魚もお料理次第では非常に美味しく戴けるものです

胃脚氣とやらで毎夜痛んで困る自宅療養は……

【問】私は二ケ月程前から胃部のところが毎日五、六回夜の八時頃からひどく痛んで困ります胃病ではないかと色々手當いたしましたが一向效果がありませんでしたが、ある病院で診て頂きましたら胃脚氣と申されました。何か自宅で出來る良い養生法がありましたら御教へ下さいませ（市內女）

胃カタルか輕い胃潰瘍　斯んな食物と手當てを

土井三郎

【答】直接診察して見ないとはつきりしませんが胃加答兒か或は輕い胃潰瘍かも知れません、一般に女子には男子より胃潰瘍が出來易いことがあります、檢便をして潛血液があるか、蟲卵でもあるか、又は消化の樣子などを調べて貰ふ必要があります、食物は消化し易いカロリーに富んだ刺戟性の少い軟かいものを選み、痛みのひどい時は重湯、蔗糖液、餡湯、うどん粉汁、葡萄糖等を攝り、疼痛が止んだら半流動食か百合根、芋、馬鈴薯、トロロ芋、ホーレン草等の裏漉を用ひ、次第に粥、パン等に移り次に固形食に變へます、輕い魚肉の擂り肉又は小魚の肉などは最も適當なものですが、牛乳は胃液の分泌を促進する作用が強いから初期には却て惡い結果を見ることがあります、これも赤ん坊の樣に薄めて少量づゝ靜かに飲めば差支へありません、總て食事の際は咀嚼を充分にすることが必要です、喫煙は鹽酸の分泌を增加し蠕動を亢進させて疼痛を增惡することもありますが、又時には胃部を溫めて痛みを輕くすることもありますから體質によつては用ひても差支へありません、若し脚氣がありましたら疼痛をなほしてから脚氣の手當にうつられたがよいでせう

學校の催物

▲大連伏見臺小學校では二日午前八時半より同校庭に於て秋季運動會
▲大連日本橋小學校　同上
▲大連常盤小學校　同上
▲大連松林小學校　同上
▲大連南山麓小學校　同上
▲大連下藤小學校　同上
▲大連朝日小學校では午前八時より同上
▲大連春日小學校　同上
▲大連早苗高等小學校　同上
▲大連大廣場小學校では午前九時より同上
▲大連聖德小學校　同上
▲大連嶺前小學校では三日午前九時より鳴鶴臺西部空地に於て模擬戰開催

滿日各地版

警官二百五十名で鮮農の收穫を保護
關東廳領事館で決定

【奉天】稻の收穫時期を控えて奉天總領事館では吉林、新京、鐵嶺、奉天、撫順、瀋陽における鮮農の刈取りに對する現地保護のため奉天署と打合せをなし更に關東廳から警官派遣方打合せのため總領事館の法華津宜補が赴旅中であつたが、種々具體的方法を纏めて二十九日十五時二十九分着歸奉した氏は語る

鮮農の刈取りに對し愈々警官を派遣し現地保護をなさしめることになつた、その警官は二百五十名で奉天署からこれだけ派遣せしめるだけの餘裕はないので關東廳から新に配置されることになつた、これだけの警官を何處に何名派遣するかについては尚本署とも打合せをなし詳細な方法を決定する積りであるが、收穫時期となつてゐるので十月一日からこれに取掛りたいと思つてゐる何分區域が廣大であるため仲々容易なことではない

保稅倉庫は各要地に設けよ
奉天だけでは徹底せぬ

【奉天】日滿貿易の統制と滿洲國の稅制徵收の根本からみても滿鐵附屬地に保稅倉庫の設けられることは必要である、然し奉天一ヶ所だけ保稅倉庫を設けるだけでは徹底しない、既に貨物の交通路は開島龍井村を經由した北鮮方面の吉敦線移入と安東、大連、營口等の從來の流港からするものとあり、この點から保稅倉庫としては安東奉天、長春、其他樞要都市にこれを設けることが必要であるといはれ、滿洲國側としても徵稅の徹底を期する上においても最も合理的のものとなり保倉設置は圓滿に解決するものとみられてゐる

吉會線は安奉線に大打擊を與へぬ
新任關東軍交通監督部長 大村卓一氏の赴任談

新任關東軍交通監督部長大村卓一氏は村田秘書及び星野、藤原兩囑託を帶同赴任の途二十九日午前六時四十五分過安北行したが停車中ホームに降り立ち送迎の官民に對し謝意を表しつゝ左の如く語つた

大急ぎの赴任で今後に於ける方針など全然考へても居ず又たお話する樣な材料もない、安奉線及び朝鮮線が吉會線の開通に依つて大打擊を受けると云ふ噂さが頻りにある樣だがそんな事はあるまい、特に鮮內とか南滿方面への物資輸送は無論從前通りだと思つてゐる、兎に角歐亞連絡の大動脈だから打擊なんてある筈がないではないか、それに東京、新京間の從來の所要時間約七十時間をスピイドアップすべく目論んでゐるからそうなればまづ十五時間から二十時間短縮され樣し、尙は一層のこと有利となるだらう、何れ近々具體化す模樣だから一般に懸念してゐる樣な一時に大打擊のある樣な事はないと云へる

撫順附近の滿洲人三分の一方引揚ぐ
當局で人心動搖を極力防ぐ

【撫順】匪賊の再襲來說や燒打事件に怖えた撫順附近の滿洲人は過日來陸續として撫順から避難を開始し、鄉里の山東方面に歸る者が多く既に全住民の三分の一を以てゐるといふが人心の動搖は守備隊長、炭礦長等の安全保證に關する布告により多少緩和された模樣なるも、尙歸省する向ありかくては撫順の將來のためにも甚だ香しくないといふので、當地實業協會は目下右避難者の足を留むべく附屬地內華商團と協力し可及的市內の空家を斡旋して避難者を住ませることに努めてゐるが、已になきだに華工北滿進出の折柄華工不足

華工不足に大惱み

に惱める當地土建業者の如きは一般人夫は勿論大工、左官、機械職工等の熟練工まで或は缺勤し或は他地に避難する等の狀態であるため一層手不足を感じ目下建築中の細川組東七條小學校は期限に間に合ふべくもなく野田工務所でも困つてゐると

撫順中學の驛傳競走

【撫順】撫順中學では三日體育デーにつき恒例に依り龍鳳以西新屯萬達屋、老虎臺、東鄉、炭礦長宅學校間の驛傳競走を決行するが、當日は選手以外の全校職員生徒一齊に沿線に出で應援につく筈で盛況を豫想されてゐるが、總延長約一萬五千米で昨年のレコードは白組の一時間五十秒であつた

滿洲棉花會社實棉買入期日

【遼陽】本年度に於ける滿洲棉花株式會社の實棉買入期日は左の如く發表された

▲□順十月（廿五日）十一月（一、八、十四、十六日）十二月（一、十、二十一日）一月（十一日）
▲營城子十月（二十二、二十六日）十一月（三、二十二日）十二月（八、二十三日）一月（十、二十一日）
▲大連十月（二十日）十一月（四、十、十七、十八、二十五日）十二月（五、六、十五、廿一日）一月（七、十八日）
▲二十里堡十月（二十八日）十一月（十二、廿四日）十二月（三、十二、二十日）一月（九、十六日）
▲普蘭店十月（二十四、卅一日）十一月（七、十一、二十八日）十二月（七、十四、二十四日）一月（十一、二十日）
▲三十里堡十月（二十七日）十一月（九、十一日）十二月（九、二十六日）一月（十四、二十三日）
▲貔子窩十月（二十七日）十一月（二十九日）十二月（十七日）一月（十七日）

陶家屯に忠魂碑

【公主嶺】陶家屯の匪賊討伐に奮闘名譽の戰死を遂げた獨立守備隊栗崎大尉以下勇士の忠魂碑を懷德縣公署の一手により陶家屯驛の西方高地建設近く除幕式を舉行すべく目下これが準備に係員は多忙である

傷病兵慰安の爲音樂會開催
鞍山中學の音樂部が

【鞍山】鞍山中學校の鞍鋼會音樂部では全く自發的に滿洲事變勃發以來各地に於て戰功を樹て名譽の負傷を被つた傷病兵士の慰安を行ふべく計畫を樹て愈々具體化し決定したので、先づ遼陽衛戍病院を見舞ひ傷病兵一同の爲めに慰安音樂會を開催することに申し合せ教諭に相談し、二日の日曜日に之を實行するそうで目下毎日放課後練習會を開いて居る

白系露人が巡查奉職を希ふ
近く數百名を募る

【奉天】奉天に居住してゐる英、米、佛、獨、蘇の各國外人は約八百餘名である、其のうち民會式の會合場をもつてゐるのは白系ロシヤ人の約五百名と六十餘名のタタール人、百三十二名のユダヤ人である、タタール白露人等は滿洲國の獨立により日本がこれを承認しやがて滿洲國が明るい王道政治によ愈々滿洲國政府も堅實となり、やがて在住民に平和が齎されるものだと考へいづれも前途に希望をもつてゐる、特に白系ロシア人は從來の東北政權下に壓迫されて來た不安の境遇から脫れることができたので滿洲國の健實な步みを期待し、奉山線其他の各鐵道警備のため路警署に巡查として奉職することを願つてゐる、現在約百五十名のものが奉天線に雇はれ滿洲子、錦州其他に配置されてゐるが、人員不足であるため近くハルビン方面から數百名募集し約六百五十名の人員をなして嚴重路警の任務につかしめる方針である、新附の民として白系露人は滿洲國人同樣待遇されるので非常に感謝してゐる、サウエート國籍人は事變前までは

ド人は浪速通のフックス商會と醫師の七、八名であるが、ポーランドはソウエート政府より早く承認するだらうといふてゐる、其他英、米、獨、佛の各國人も大した減退を示して居らぬが兵工廠其他舊東北政權時代に顧問技師又は飛行家として雇傭されてゐたもの、或は兵工廠に品物を納入してゐた者らは餘儀なく引揚げた、奉天も漸次大都市となつて行くので外人の數も增加し、門戶解放、機會均等の實も現はれて來るであらうと

約百餘名居住してゐたが、時局不安のために本國へ引揚たるもの多く、現在サウエート政府も滿洲國を承認する傾向があるので彌々歸來するものとみられてゐる、なほ新國家承認の意志を持つポーランド

鮮農の移民は明年から實施

【奉天】鮮農の滿洲移民については一切總督府において立案し來年度から鐵道沿線の水田地、奉天、遼陽、鐵嶺、長春、吉林等の可耕地を選定し移住せしめる計畫で來年度までに各地の調査に着手する豫定であるが、滿洲農民を壓迫する性質の移民でなく、滿洲の未墾荒蕪地をして價値あらしめるので滿洲國としても歡迎してゐる

天下好逮捕の單巡捕を拔擢

【旅順】過日旅順管內双島灣に來襲の熊山出身の匪賊頭目天下好を逮捕した山頭村巡捕単際雲に對しては旅順警察署に於て表彰方考究中であつたが一日附で巡捕長に拔擢された

不埒な盜み
軍部關係の品を盛に窃取す
工事請負を奇貨とし

【奉天】愛媛縣宇和島生れ市內紅梅町廿三番地菊池英一（三九）は昨年十月頃より關東軍野戰航空廠の工事請負をなしてゐたが、之を奇貨として本年九月廿日頃まで同廠內にあつた航空用揮發油八鑵、十五馬力發動機一臺、同三馬力一臺、ポンプ二臺、チエンブロック一臺その他兵工廠にあつた印刷機、機械器具を數十回に亘つて窃取、之を日滿人に賣却不正利得をなしつゝあつた處遂に兵工廠憲兵分隊の手によつて檢舉され窃盜被疑者として廿八日一件書類と共に身柄は不拘束のまゝ奉天總領事館に送られた、尙被害額は數千圓に上る見込みであると

鄭家屯に雹降る

二十八日午後三時ごろより鄭家屯は雷雨中降雹あり、直徑三分大にして一面ナフタリン球をふりまきし如く氣溫頓に降下す

撫順一色吳服店の裁判沙汰

【撫順】市內東三番町二〇番地合資會社一色吳服店の出資者（二千圓）たる同町二二番地伊藤吉藏氏と勞力出資者一色市次郎氏との係爭事件は今春三月伊藤氏は帳簿檢査の結果一千九百餘圓を一色氏が橫領消費し又妻女松代氏は窃盜犯なりとして撫順署に訴訟を起したが結局消費貸借として不起訴となりゐたるところ同氏は今回更に福島縣護士を代理人として瀆法違反の訴訟を提起目下撫順警察署に於て取調べ中であるが一方一色氏夫妻は右不起訴處分となると同時に今度は有川辯護士を代理人とし伊藤氏を相手取り橫領、窃盜の告訴狀を提出中のもので、この複雜な係爭事件がどう解決されるか興味をむけられてゐる、なほ同會社は去る昭和五年十月前記條件で登記され營業を開始したものであるがその後一色氏は毎年度報告もせず帳簿の檢査もさせず當時伊藤氏の出資せることゝなれる金二千圓の財產を費消してゐるといふのであるが登記と實際財產は果して合致してゐたるや否當局でも疑問を挾んでゐるやうである

伸行く鳳凰城の道路大改修
鮮人百數十名を使ひ

【鳳凰城】警察署の新設、飛行場の新設、電燈の新設等々で漸く發展して行く當地はこれに伴ない驛貨物大倉庫の增築、多數官舍や駐屯の新築であちらもこちらも槌の音、鎚の音勇ましく今は殆ど空地もない迄に建ち並び立派な市街を形成しつゝあるが一方目立つて惡いのは街路である、殊に驛前大通りは車馬の交通頻繁で雨後の如きは最も甚だしい、秋は紅葉の鳳凰城もこれがため市街美を損するのみでなく衞生的から見ても甚だ良くないので警察署ではこれを遺憾とし自治會と協力して毎日失業鮮人百數十名を使役し非番警官總出で監督に當り街路の大改修を爲すことに決定し三十日からこれに着手した

旅順の九月中產地證明

【旅順】九月中に於ける旅順港よりの產地證明を與へた輸出工業品は左の如し

名稱	件數	數量	金額
牛肉	三件	一,〇〇〇貫	一,五六〇圓
生糸	二件	三三〇貫	二七,〇〇〇圓
家鴨（罐詰）	一件	六〇〇貫	三,一〇〇圓
鵞	同	一五〇貫	一,二〇〇圓
鷄	同	六〇〇羽	二五〇圓
生鷄	二件	三,〇〇〇羽	三,四〇〇圓
苹果	七件	六,〇〇〇貫	一,一〇〇圓
硅石	一件	一,五〇〇噸	四,一〇〇圓

昌圖附屬地東方でわが警官隊苦戰す
開原署長救援に赴く

【開原】昌圖附屬地東約一邦里の在山に約百の滿龍の率ゐる三百名の匪賊が襲來るとの情報により、開原警察署昌圖派出所員と關東廳遊擊隊が三十日午前二時これが討伐に向つたが、賊のため包圍され衆寡敵せず苦戰に陷つた、急報に接し守備隊は同午後二時出動、開原警察署では非常召集を行ひ、寺田署長自ら率ひて午後二時三十分應援に向つた、前記遊擊隊員のうち〇名は午後六時附屬地に歸着したがあと〇〇名の消息は午後七時尙不明である

匪賊、食糧難で水稻を刈る
公安隊が出動討伐す

【鐵嶺】縣下白旗寨には義勇軍第三六六團と稱する千餘の一團蟠居し民家に司令部を設け橫行しつゝあるが、食糧に窮し附近の水田に稔つてゐる水稻刈取りを計畫し多數の滿洲人を使役刈取らしめつゝある模樣にて、縣政府は法庫縣境に出動中の公安隊を此方面に出動討伐せしめ鮮農の水稻刈入れを保護すると

刈入れ中の六名人質となる

【鐵嶺】二十八日朝五時頃縣下燕盤（鐵嶺大甸子中間）に於て鮮人金昌祿（三）金炳浩（二）金承祿（二）の三名が滿洲人三名と共に水稻の刈入れ中、突然長銃を所持せる匪賊十名が現はれ驚き慌く前記六名を威嚇し人質として拉去南方に逃走せりと急を知つた金昌祿の弟は正午頃鐵嶺に逃げ歸り屆け出た

天野〇團長來吉

吉林富吉林には思ひ出深き我が天野〇團長は二十五日午前九時チチハルより飛機にてハルビン新京を經て午後一時四〇分吉林飛行場に到着、直に師團司令部に參門師團長を訪ひ軍務の報告をなしたる後當地某所に於て某要人と秘議打合せあり、午後六時より師團長の招宴に臨み廿五日は一泊翌廿六日午前九時五分發奉天、遼寧方面へ向つた

聯隊出動す

吉林通信　敦河より引上げた第〇〇聯隊は昨報廿六日五時三〇分〇兵〇〇隊と共に吉林發〇〇線を經て〇〇方面に出動せり

關東軍軍用定期航空奉天本部

お化粧の常識　七

寫眞化粧の仕方、

◇白粉は何が良いか？◇

林長二郎丈

映畫の方で長らく苦勞致して居りますに因んで、寫眞化粧の仕方に就て、少しお話し致して見る事に致します。

寫眞化粧——別に斷んな言葉が有る譯でも有りませんが、兎も角も、此寫眞を撮る時には一体如何な心得で化粧をしたら宜しいか？といふ意味のお話をする積りなので、何しろ對手は機械の容赦は無し、唯光線だけが頼りと云ふ譯でございますから、自然寫される方で工夫が要る事に成るのです。

其處で、皆樣——と申しました所で勿論御婦人の方々ですが——其皆樣方にお尋ね致して見たいのは從來濃化粧で一体生々とした寫眞が撮れた事が御座いませうか？何と無く、"云は〻

人形式に寫りは

致しませんでしたか？と云ふ事。假令それ程濃く無くとも、兎角に白粉して撮った寫眞は從來何と無く、もう一つパッとしない、つまり割然と寫らないと云ふ恨みが有りましたに相違ございません。

ところが、最近に成りまして此寫眞が實に割然と撮れる白粉ができましたのです。美粧料として凡ゆる意味から非常に評判の宜しい白粉ですから、最早御存知でせうが、それは日本で初めて出來た、チタニウムに或る特殊の成分を配合して創ったといふサーワ白粉の事で御座います。

此白粉の發明されました動機といふものが、人体に有毒な含鉛白粉を何うかして驅逐して了はうと云ふ所に在りましたのださうで、夫には古來一番美しく附着と云はれて居た

含鉛白粉が相手

な丈に其苦心も想像の外で、純無鉛で無害なのは勿論其化粧効果に於ても含鉛白粉に優らなくては成らない道理、然も遂によく之に成功致しましたのが、即ち此サーワ白粉なので御座います。

そして、此白粉の寫眞うつりが從來に無く鮮かに割然するといふのもつまりは其化粧効果の素晴らしい事を證據立てる一例に過ぎない斷定なので、一口に申しまして、此白粉の効果は

生々として明るい

ので御座います。極自然に冴え冴えとした仕上りですから、自然從來の樣に何と無くボヤケると云ふ感じが些しもありません。

從って其寫眞効果も從來に無く生々と、生地を透した明確さに寫るわけで御座いますが、その理由としては、紫外線が反射する性質が此白粉には在りますからで、此事實が取りも直さず其お化粧を明るくもさせ、又寫眞うつりを割然ともさせ、同時に太陽光線に日焦けする事をも豫防させる事に成るので御座います。

そして之からの夜長の電燈の下でも其白い美しさが變らないので御座います。

それに此白粉は、從來に無く分子が細かくて附着が頗るよく、特に伸びる力が

三倍以上もある

といふ事實が、一層自然なお化粧つまり從來の塗潰し式の白粉とは全く違った効果を現す事に成りますので、同時に汗や脂に崩れたり亂れたり、或ひは粉が浮く等いふ事も無く、實際驚くほども、其美しい化粧が永保するのですから、全く珍らしく優れた白粉が出來たものと云はざるを得ません。

斯うした良い白粉が出來て見ますと、寫眞を撮るにしましても非常に有利に成りました譯で、殊に之から追々と秋冷に向ふに從ひ、お召物等も自然寫眞効果のよい黒っぽい色に成るわけですから、一つ早速此サーワ白粉で試して御覽に成るのも面白からうかと考へます。さて、

寫眞化粧の仕方

ですが、サーワ白粉なら粉でも煉でも水白粉でも、或は固形白粉でも總て同じ性質ですから同じ効果が得られますが、大体の要領と致しましては、普通の化粧よりは白粉なり、從って紅なりの濃淡を一層多く致して宜しいので、つまりは例の顏を變へる化粧法、例へば眼の小さな方でしたら之を大きくする爲に紅を加減して其睫毛の上に加へますとか、又顎の出た方でしたら其處の白粉を一層薄くするか、或は下へ紅を布くとか云った樣な仕方を可也強く用ひて宜しいので、殊に鼻筋を通す白粉は高い方にも施すべきだと考へます。然し勿論此鼻を高くする仕方に致しましてからが

眼頭の所から

小鼻の兩側へ薄く紅を布く仕方も有ります事等は皆樣既に御承知の如くで、茲に紅と云ひますのは矢張此白粉と同じ系統のサーワ頬紅の事で、或ひは都合でサーワ口紅を用ひられても差支へは有りませんわけですが、然し此頬紅は水刷毛がよく効きますから特別に好都合で、又極自然なお化粧が出來るので御座います。（序でながらお化粧品は總て出來る限り、同じ系統の同じ製造所のものを使ふべきは勿論の事と存じます。）

それから口が大きければ口紅は眞中だけにして、周圍は白粉を伸ばして置くとか、總て私共俳優のメーキャップ化粧法が應用出來ますわけで、要するに平生の化粧とは少し強くするのが宜しいので、そして態度は決して堅く成らず、口も奥歯を噛合せる程度で、自然に樂な氣持で

レンズへ向ふのが

秘訣と云へば秘訣で御座います。次に丸顏は正面、中高の長顏は横寫しが宜しい樣で、椅子へ掛ける場合は淺く掛け、特に手まで寫す場合には必ず忘れずに之へもお顏に適ふ程度の白粉を施さなければ、飛んでも無い結果に成る譯で御座います。

序でながら一般に薄色や柄の細かなお召物は兎角引立ちません。

貸し倒れの危險に 泡を喰ふ債權者團

叩いて出るはボロとゴミ あがきが取れぬか産業博

大日滿産業博覽會債權者相談會は三十日午後一時から博覽會場演藝館で開かれたがこの日博覽會側では何を血迷つたか會場入口に多數の警備員を配置し債權者の入場に對しいち／＼氏名をたゞしなるべくその入場を拒まんとし強て入場せんとすれば暴力的行爲に出でんとする

不穩の 形勢あるので警官護衛の下に入場するなどその血迷ひ振り一般の顰蹙を買つた、かくて債權者續々と詰めかけ定刻座長に田中吉藏氏を推し、債權者團に加入を慫慂の結果七十八名の參加申込みあり次いで下島債權者から、博覽會當事者の不誠意を鳴らし今日大會を開くに至つた

悲痛な 經過報告あり直に實行委員の選擧により座長指名の結果左の十六名が選出された

桑野彌一郎▲山本神勳▲下島元次郎▲太田信三▲田中吉藏▲齋藤角次郎▲中村彌三次郎▲坂井敏三郎▲丹野仁三郎▲行友六郎▲齋藤光廣▲綿谷通▲高橋德雄▲大久保正登▲佐々木熊太郎▲岡田榮太郎

かくて債權取立に關する實行方法は

委員に 一任することゝなり、午後三時五十分散會した、閉會後委員十六名は市内信濃町百十九番地田中吉藏氏方に集合し、秘密會として對策を練つたが、債權者團の空氣頗る強硬なるものあり、既報の如く結局刑事々件として進展するものと見られてゐる

【寫眞は債權者相談會場】

當籤者を斷る 替へ玉會長

憤慨して告訴を提起

一等千圓當籤の幸運を掴みながら日滿博の不始末から賞金を支拂はれず遂に博覽會長佐藤廉也氏を相手取り詐欺の告訴を三十日午後三時大連署司法係に提出した、告訴人は市内聖德街一丁目鋳工職荒井傳次郎君で訴狀によれば

八月二十九日抽籤の福券付一圓入場券「第四〇一四番」を購入し抽籤の結果一等千圓に當籤九月二日賞金支拂の權利を受くべきであるに博覽會では言を左右にして支拂はず強硬談判したところ九月十日午後二時ごろ佐藤會長が告訴人を遼東ホテルに招致し「自分は會長であるが兩三日中に支拂ふから」と安心させて置きながら閉會に達しても支拂ふ氣配もなく殊に佐藤會長と稱して告訴人に會つた男は理事宮部某なることが其後に發覺しよく／＼支拂の誠意を認めず市民を誇大の宣傳で誤信せしめ損害を與へたものであるといふにある

因に縣賞金の未拂額は五千八百圓に達してをり今後同樣告訴の續出を見る模様である

鳩首協議

日滿博債權者團實行委員十六名は三十日午後六時から信濃町百十九番地田中吉藏方に會合相川、木原兩辯護士も加はり今後の實行運動につき鳩首協議の結果先づ實行委員長には互選を以て下島元次郎氏を擧げ委員一同は一日、日滿博原理事長以下責任者と會見、債務の辨濟に關し正式責任ある回答を求めることゝなつた

餘興に賑ふた プール開き

彌生高女にて

大連市彌生高等女學校のプール竣工祝賀式は三十日午後二時同プールにて盛大に擧行された定紋スタンド北側に設けられた祭壇には供物が供へられ祭官の祝詞、學校長及び生徒總代石渡たか子孃の挨拶あり終つて小川市長の訓辭大内市會議長の市會及父兄を代表しての祝辭あり全校職員生徒起立して校歌を合唱し式を閉ぢ引續き仙波代議士、林田體育協會主事、三原日滿兩教諭の模範水泳が行はれたが仙波代議士の水泳の各型、各流のすぐれた型、白扇を開いて墨痕鮮かに「凉風」の二字をものした水書など割れるやうな喝采を博しかくて來賓一同は別室に設けられた祝宴に臨んだが五年生一同が平生の練習の腕前を見せた數々の料理は大變な好評を以て迎へられた

遼西匪賊を大討伐

錦州からわが部隊出動包圍して 頭目鄭桂林は袋の鼠

【錦州特電一日發】擧てより綏中北方に蟠居して自ら遼西の天軍と稱し三千餘名の大部隊を指揮しこの夏中奉山線一帶を擾亂し續けた第四十八路東北民衆救國義勇軍司令といふ長々しい肩書を持つ鄭桂林は愈々高粱の刈取期に入つたのでこの間に機あらばと奉山線一帶の部下を集中しつゝあるとの諜報を得たわが軍は好機逸すべからずこの際匪賊を徹底的に撃滅せんと錦州部隊は二十九日午後八時半臨時列車にて出發したが、これより先既に綏中谷部隊は吉村部隊と二手に別れ匪賊を包圍の形で討伐に向つた、谷部隊は二十九日午前零時綏中西北方六キロの地點にて約三百の騎馬隊に歩兵約七百の敵に遭遇し猛烈なる激戰の結果敵は遂に多數の死體を殘して西北方に退却した、この戰鬪でわが軍は戰死二名を出した、又吉村部隊は二十九日午前五時綏中北方八キロの花營附近にて約百の敵に遭遇しこれを中心山高地に撃退したが高地背面にはなほ千餘名の義勇軍集結中との報あり、三十日はこれを撃滅せんと行動を開始中である、一方錦州より出動した島村少將の率ゐる歩兵部隊は三十日午前二時興城に到着と同時に虎頭山を經て義勇軍を追撃中である、この部隊と興城にて分れた佐賀部隊は興城北方の新大邊門にある賊を全滅するべく行動を開始中である、尚又同時錦州を出動した廣野部隊の率ゐる砲兵部隊、騎馬歩兵部隊は三十日早朝前衛に下車し范家屯附近にて谷主力部隊と協力して水口附近にある鄭桂林の匪賊主力約二千を側面より攻撃中でその後の戰況は不明であるが、鄭桂林は目下袋の鼠でさしもの鄭桂林も愈々斷末魔の態である

三崎卅八回忌

卅日祭典執行

日清戰役當時護國の鬼と化した金州三崎山に祭られたる山崎藤崎鐘崎三氏の三十八回忌祭典は三十日午後二時より三崎山碑前にて執行されたが遺族大連市居住武谷淳郎氏も參列し先づ加世田市民會長祭文を朗讀し終るや參列者一同玉串を奉奠午後三時半滞りなく式を閉じた【金州電話】

愈々けふ開催の 本社主催 相撲豫選會

大連運動場プール内假土俵で

競技及會場規定

本社主催大毎大連支局後援の大毎主催の全國中等學校相撲大會第一回滿洲豫選會は愈々二日午前十時より大連運動場水泳プール内假設土俵に於いて大連一中AB兩組、大連商業、大連實業、滿鐵育成の五組參加の下に開催するが三十日正午より本社樓上に大會顧問内藤四郎氏審判委員長淺見淺一氏以下審判員和田耐、太田誠、櫻井弘之、江頭仁三、羽柴榮一、藪田六治、岡本藤吉諸氏本社側より佐賀營業局長、高橋事業部長以下部員並びに運動部員等參集の上豫選會競技規定につき、種々協議左の如く決定した【寫眞は假設土俵】

競技規定

組合せ

第一條　競技方法は對校試合とし一リーグ戰を以て行ふ

第二條　相手校出場せざる場合はその回數に於ける最少得點校と戰ふものとす但し最少得點校二校以上の場合は抽籤によりて定む

第三條　選手の組合は當日朝提出の順位に依る若し選手中缺員ある場合は補缺を以てこれに代ふ一度補缺を以て代へられたる選手は再び出場することを得ず

第四條　補缺選手出場した場合は前選手の成績及び位置を繼承するものとす

第五條　二名の補缺を以てするも尚缺員ある場合は其相手を不戰勝として戰ふべきものとす

審判

第六條　勝負は行司之を決し四本柱に異議ある時は四本柱の合議により多數を以て之を決す

第七條　勝負は一番勝負とし無勝負の場合は改めて勝負を決せしむ

第八條　逆手張手及び頭髮を握り頭部をおさへ壓縛を取る事を嚴禁し若し違反するときは敗者となることあるべし

第九條　選手双方とも土俵に上りてより三分間を經過する時は仕切り直しを許さず但しこの場合は一切行司の指揮に從ふべし

第十條　選手土俵に上りたる際は禮を行ひ力及び淨め鹽は一回に限る

第十一條　審判員會議召集の際審判員席にあらざるものは棄權と見做す

會場規定

第一條　會場は一般開放とす但し觀覽席及び招待者席應援團席は特に設け所定以外の者の入場を拒絶す

第二條　酒氣を帶びたる者他人に不快の感を抱かしむる服裝をなしたる者或は傳染病患者等の入場を拒絶するは勿論酒類を場内に搬入すること及びこれを飲用することを絶對に禁ず

第三條　應援は應援團に限る但し拍手は差支へなし

應援團

第四條　應援團の人員及び入場時刻を大會前日本社事業部に通知すべし但し團員中に女子を加入することを得ず

第五條　應援團は左記の應援方法に從ふべし

(一)異樣の服裝をなすことを禁ず
(二)俗謡調の應援歌を禁ず
(三)自己學校の外の應援を禁ず但し拍手はこの限りに非ず
(四)個人或は一團體を誹謗すべき應援を禁ず
(五)審判に對し一切容喙的態度を採るべからず
(六)石油罐太鼓等の如き騷音を發する器具を使用すべからず

尚組合は左の如くリーグ戰を以て行ふことゝ決定した

第一回　大連商業對大連一中A組
第二回　大連一中B組對滿鐵育成
第三回　大連商業對大連實業
第四回　滿鐵育成對大連一中A組
第五回　大連實業對大連一中B組

休憩

第六回　大連一中A組對大連實業
第七回　大連商業對大連一中B組
第八回　滿鐵育成對大連實業
第九回　大連一中A組對大連一中B組
第十回　大連商業對滿鐵育成

旅大北道路八景を語る

南八景に堂々對抗する 立派な史跡景勝地

審査員　入江正太郎氏談

實は私が始め審査員を引き受けた時に、果して南八景に對抗するに足る史跡名所が、北道路に在るか何うか、頗る疑問だと思つてゐた處が實地踏査を行つた結果は、寧ろ北道路は南八景の單純さに比してその史跡の多い點、景色の變化に富んでゐる點を發見し、實は意外に感じたのであつた、今回北八景として選ばれたものは、何れも史跡としての價値、或は名所としての價値からいつても、南八景に勝るとも劣つたものは一つもないと信じてゐる、これがやがて南道路と相對して北道路沿線各地の繁榮の原因となり、南道路と同じく多數の旅客を吸引して、從つて産業方面でも目覺ましい發達をし、ひいては州内繁榮の原因となることを疑はぬ、今回の選定に就ては審査員が二回も實地踏査を行つた結果、從來各名所選定の場合に於けるが如き、各地方の運動、自己推薦等は全然なく、滿日社始め各委員何等情實に支配されることなく、公平に八景を選擇し得たことは實に喜ばしいことだ

嚴選された 變化に富む風趣

審査員　清水本之助氏

自分等の選つた道路、自分等の選んだ八景を批評するのは餘り手前味噌になるからそれは遠慮するが、滿日社の今回の努力に對しては土木課關係全員全く敬意を表してゐる。

滿日社の旅大北道路八景の募集に際して應募されたもの五十五景の多數に達し、直接本道路に關係せる吾等をも驚かせたが、實際前後二回に亘り、他の審査員諸君と共に實地を踏査してみると、南道路にも劣らぬ名勝舊蹟に富んでゐるには洵に意外であつた。

そこで五十五景から三十景なり三十景から十四景を更にこれから八景を嚴選するといふ慎重な方法で漸く所期の目的を達した譯だ、それだけに一景にして二景三景を包含し全長二十キロに及ぶといふものもある。

今その一つ一つに就いて觀れば玉仙臺は史實に富み風光の雄大なることも恐らく州内隨一たるべく、又、大東溝河畔の數キロに亘る白樺林、聚樹電豪の間に突兀と聳ゆる案子山の眺望は、北滿風光の縮圖とも言ひ得る、又長春庵の發見は今回の企てによる大收穫で其の山容水態、廟と杏花とは全く一幅の畫である、今回、旅順民政署、會屯長と協力、吾土木課でも道路の修築は勿論杏花を增植面目を一新大に遊客の便に供せん心組である又海濱の眺望は双臺溝、龍頭は火石嶺に水師營、史實は牧城子、八景が山と海、風光と史蹟それぞれ巧にとり入れられた事は選者として頗る愉快に思ふ

産業上以外に 道路を利用

關東廳内務局長　日下辰太氏

滿洲日報社は去る大正十三年現在の旅大南道路竣成の際、八景を選定の上、隱れたる名勝を世に紹介されたが、今回又北道路開通に當り新八景を廣く衆知を競め選出されたことは吾等行政官として其の社會奉仕的努力に對し感謝に堪へない。

吾等道路行政の責任者からすれば、北道路の開通により文化の增進、産業の開發以外に從來認められざりし名勝史蹟の發見を見、郊外に散歩遊樂の地を得たことは都會生活者の保健上裨益するところ少からざるに想到し欣快に堪へぬ次第である。

吾等は滿日社今回の企てに對し其の當初は果して北道路に世に推薦し得べきところ有りや否やを氣遣つたのだが、サテ委員諸君の努力により選出されたものを見るといづれも意外なる景勝の地で、悉く八景たるに適し、選定に同感である。

どうか、此八景の紹介により北道路が産業上以外に有意義に利用され、滿日社の努力の酬いれん事を切望する。

釋放された在留民 領事館に收容

露領引揚げを交渉中

【ハルビン特電一日發】叛軍のため滿洲里監獄に監禁されてゐた在留民は全部釋放され領事館に收容されてゐる山崎領事は叛軍首領に對し露領へ引揚方再三交渉中だが承諾しない、小原特務機關長、鴻野警備隊長は自宅に監禁され嚴重に監視されてゐる、叛軍は邦人の外出を絶對に禁じてゐる

搭乗者は無事か

機體と共に輸送されん

【チチハル三十日發】三十日午後六時半軍部發表＝敵兵の猛射を浴びつゝ敵觀せる軍飛行機の報告によれば洮子山驛にある秘倉機は敵兵のため機體分解され午後三時には無蓋貨車に積込み終れり、有蓋貨車一輛連結されゐるが搭乗者を乗せるらしくなほ機關車は海拉爾方面に向けられてゐるから張殿九のゐる札賚諾爾に輸送されるものと斷定さる

東支西部線 事態重大

【チチハル三十日發】二十九日滿洲里發三十日午前八時昂々溪着國際列車（機關車二客車十）は昂々溪の隣驛スラレジ驛に於て張田九の正規兵に抑留された昂々溪驛長の返還交渉に應ぜざるより旅客の運命氣遣はる、尚昂々溪附近に集結し居る李海青軍の張田九と完全に連絡なし居り西部線事態重大化す

鄭垂氏邸盜難

延ケ浦黒礁屯滿鐵四四滿洲國々務院秘書官鄭垂氏（三五）方で三十日午前零時半ごろより同七時までの間に何者か侵入し二階の金庫内にあつた眞珠附金製珠子一串（時價六十圓）の外貨金總九點約四百餘圓を竊取されてゐるのを午後二時ごろに至り發見沙河口署に屆でたが鄭垂氏は目下長春にあつて同家には子供三名と使用人四名で内部の事情に通じてゐる者の仕業らしく沙河口署では犯人嚴探中

安樂椅子

貸家業からルンペンの移民に轉向した井藤榮君は世の毀譽褒貶を柳に風と聞き流し、大房身の移民實習所開設以來三十七名の移民と共に成功の彼岸を目差してひたすら精進を續けてゐる。

◇

「世間ではとやかくいふがルンペンの救濟は僕の持病だからね成功するか失敗するかは問題じやない、元來ルンペンは既に内地に於て前途の光明を失つて居る、放つて置けば害にこそなれ益にはならぬ、どうせ前途のない者なら滿洲に連れてくればそれだけ内地が助かるじやないか、よし失敗したからとて大した損は殘さないよ、從つてルンペン移民は國策の指示する所であり政府も世人もこゝに着眼すべきだね」

◇

「大房身の移民實習所開設當初は食物の關係から健康を害する者も續出したが幸ひ最近ではすつかり慣れて皆元氣に働いてゐる、今度各人の忌憚なき感想を書いたが、中には不滿の心情を洩らした者もないではない、それがいゝのだ、それによつて更に研究を進めるから、何れまとまつたらお目にかけるよ」

◇

小柄で頑丈な體軀の持主たる井藤君もルンペン移民諸君と同じく最初健康を害してゐたが今や全く恢復して氣勢當るべからずである。

大連醫院の 解剖供養

西本願寺にて

大連醫院では十月八日午後二時から若草山西本願寺に於て解剖體供養の法要を營むことゝなつた同院創立當初から本年九月三十日迄の間に於て解剖に附したる故人は九百五十一名であるが、なほこの法要に際して解剖された遺族の多數參加を希望してゐる

曙の鐘 (424)

倉田潮　河野想多畫

曙（四）

マリアは春木が堅くたえ子と誼めてゐることを知つて、ひそかに心の中で驚いた。同時に彼女は初めて春木に逢つた時に感じた不思議に甘く溫かい心の動揺を覺えた。彼女はかつて春木に逢ふまで、さう云ふ心のときめきを感じたことがなかつた。が、初めて春木を見た時と、そして今と、彼女は二度はつきりとかつて知らなかつた不思議なものを心に感じたのだつた。

「これが戀と云ふものかしら」

一人春木の部屋を遁れて川岸の闇を歩いてゐながら、彼女は我知らずさう呟いた。同時に烈しい心の苛責を感じて自分の口を兩手でおさへた。

「たえ子さんと春木さんを再び結婚させる爲めに、こゝへ來てゐる自分が、その對手に戀するなぞと云ふ卑怯な行ひをしていゝだらうか」

それは到底マリアが己自身を許すことの出來ない罪惡だつた。彼女は二度とさう云ふことを考へまいと決心した。

しかし、次日春木と話してゐると、またもマリアは不思議な快よい羞恥と遙かな甘いあこがれを感じた。同時に彼女は己に恥じて眞紅になつてうつむいた。

「マリアさん、何うかしたのですか」

と春木は心配さうに訊いた。

「いゝえ」

と彼女は答へて なほ紅くなつた。が、それをまぎらすやうに、

「春木さん、あなた、もう外が歩けて」

「歩けますとも。散歩 しませうか」

「この邊は景色がいゝわれ」

「川ぶちまで行つて見ませう」

二人は連れ立つて外に出た。夕闇のこめた川の面は油色に光つて宵の明星が波の間に影を映して躍つてゐる。河鹿の聲に交つて、山鶯の聲も聞こえた。

「[illegible]もう少しで夕闇に溶えやうとしてゐるところなぞ、まるで畫のやうだわれ」

「ほんとに自然はいゝですわれ」

二人は次第に濃く立ちこめる夕闇の中に白い浴衣を浮立たせて、河原におり立つた。マリアの白い素足が殊更白く目立つて見えた。河原には五寸もあるやうな月見草が咲いてゐて、白い蛾が靜かにその上を舞つてゐた。

「あら、村の人があんなに岸に立つてこつちを見てゐるわ」

とマリアは背後に振返つた。

「何か云つてゐるやうですれ」

さう春木が云つた途端に、山の人の太い大きい聲が、笑ひを含んで

「新婚で御たのしみ」

とからかふのが聞えた。マリアはさう云つて冷かされるのをかへつて氣持よく感じたが、直さう云ふ感情を抱く自分を咎めて苦い顔をした。そして、己の心にさし迫つた危險を遁れる爲めに、早く春木にたえ子との結婚を承知させればならないと思ひついた。

「春木さん、あなた、たえ子さんのことを今一度思ひ返して下さらない。私、東京を出る時、引きうけて來たので、あなたが承知して下さらないと歸れないわ」

と彼女は云つた。すると、春木は冗談のやうに、

「歸れなければ、何時でも私とこゝで暮してゐればいゝではありませんか」

「他人の二人がそんなこと、出來ないわ」

「では二人で結婚すればいゝでせう。マリアさんとなら、私は何時でも結婚しますよ。でも、あなたがいやだから駄目だ」

「まあ、御冗談ばかり」

とマリアは危く答へたが、春木が、自分と結婚してもよいと云つた一言は、たとひそれが戯れであつたにせよ、マリアの心に深い感銘を刻みつけた。彼女は甘く幸福な感情に壓倒されて、目の前が明るく燃え出すやうにすら感じるのであつた。

新刊紹介

▲東洋貿易研究（第九號）世界經濟恐慌の研究、支那の對外貿易（錢莊による爲替管理の提唱）苦境に喘ぐランカシア綿業、事變終熄後に於ける上海工業、佛領印度支那の旅（マンダリン道路に沿ひて）諸國の關税に關する法規改正（滿洲國、中華民國、佛領印度支那、暹羅、比律賓、蘭領東印度、英領北ボルネオ、英領印度、シシリア、土耳古、ザンヂバル、濠洲）北滿市場に於ける本邦品と水災の影響、一九三一年に於ける世界自動車工業、印度に於ける綿製品輸入近況、盤谷にけるアルミニユーム製品、南阿聯邦に於ける靴下、領事查證送狀制度と排日貨、ソウエート聯邦と日本、漢口血魂鋤奸團の暴狀、一九三一年のケニヤ・ウガンダ對外貿易、北滿水害と暴利取締令の公布、東洋時事日誌（定價三十五錢、發行所大阪市北區中ノ島大阪市役所產業部調查課）

けふの放送

大連 JQAK　十月二日

▲午後零時十分ニユース
▲午後三時三十分ニユース
▲午後六時十分ニユース
（以下内地中繼六時三十分）
▲落語「今戸燒」三升家小勝
▲清元（七時）「今様須磨寫繪村雨松風」淨瑠璃清元榮壽太夫、同同志壽太夫、同同壽美太夫、三味線同正壽郎、上調子清元壽之輔
▲歌澤（七時四十分）（一）海晏寺（二）玉川唄歌澤相模、三味線同寅右衛門
▲新内（八時）「明烏夢泡雪山名屋の段」淨瑠璃富士松加賀太夫、同同綾瀨太夫、同同曾根太夫、三味線同時壽郎、上調子同鳴門（以下大連放送局より八時三十一分）
▲連續新講談「赤穂義士打入戰譜」第二席白藤六郎
▲ニユース
▲氣象通報

第九回 滿日特選碁戰

先相先先番　四段 向井一男　三段 蒲原繁治

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

イ　ロ　ハ　ニ　ホ　ヘ　ト　チ　リ　ヌ　ル　ヲ　ワ　カ　ヨ　タ　レ　ソ　ツ

●八一レの九　●八三テの八　●八五ルの九　●八七ヌの九　●八九ツの二　●九一ニの十四　●九三チの[illegible]

○八二レの八　○八四チの七　○八六ヌの八　○八[illegible]の一　○九[illegible]ロの十三　○九二テの九　○九四ワの九

●九五ワの十　●九七リの八　●九九ホの十四

○九六カの八　○九八への十三　○一〇〇リの七

—【5】—

對局者の感想

白曰く　九二九六と二目を提つては豫想外よくなつたように思ひました

輝く家庭には中將湯

家庭を明るくするのも暗くするのも貴女の心懸け一つです

家庭は人生唯一の安息所であり樂園であります。然るに家庭の主婦が不幸病弱なる時は一家の中は常に暗い憂鬱な陰に蔽れて夫婦の和合一家團欒の喜びは到底望み得ません。貴女自身の健康の爲に家庭の幸福の爲に絶えず良藥中將湯を召し上つて、貴女も貴女の家庭も常に明るい輝しきものとして下さい。

婦人藥の王座

中將湯（ちうじやうたう）

CHUJOTO

中將湯は體内を溫めて冷え込みを防ぎ血液の循環を旺盛にして新陳代謝をよくし産前産後の養生と月經不順、子宮病、血の道の徹底的治療には驚く程の卓効があります

主効
子宮病、ヒステリー（血の道）産前産後、月經不順、頭痛眩暈
逆上、神經衰弱、下腹足腰冷込
下腹腰足引つり痛み、こしけ、
血氣脚、疝氣、感冒

定價

品	日分	價
試用罐	二日分	五十錢
小罐	六日分	一圓
中罐	十三日分	二圓
大罐	二十日分	三圓
特大罐	卅五日分	五圓

本舖 津村順天堂
本店 東京市日本橋區通三丁目 電話日本橋㈢三 振替東京六〇八
支店 大阪市南區長堀橋筋一丁目 電話南二五 振替大阪四五六

7-9C

まんしう 日曜 附録

童話　小さな社(ちひさなやしろ)

橋本きよし 作畫

青々と高い空が晴れ渡つて居ます。秋のおひる一寸過ぎ。

重なりあつた山々は陽の光にまぶしい程輝いて居ます。この奥深い山々の間を流れて居る谷川も銀の帯の樣に光つて音もなく靜かです。先刻から赤い帽子を冠つた樣に頭の赤い嘴の黄色い綺麗な小鳥がその川べりの岩の上に、じつと眼を閉じてウツラ、ウツラと氣持ちよさゝうに居眠りをして居ました。夢を見て居るのでせう。

急に近所で大きな物音がして小鳥は思はず飛び上る程驚いて眼をさましました。

「何だ、一體今の音は、おそろしく大きな音だつたが」

可愛らしい丸い眼をキヨロキヨロさせながらあたりを見まはしました。

川上の山からきり出されて流れて來た丸太が小鳥の休んでゐた岩に突き當つた音でした。

「何だビツクリさせる、死んだお母樣に逢つた夢を見てゐたのに、惜い事をした、けれどもう仕方がない。空も珍らしく晴れ渡つて近頃にないよい天氣だ。今日はこれからあの木に乘つて川を下つて行つて見よう」

ひとり言をいひながら頭の赤い小鳥はピヨンと流れて行く丸太に飛び乘りました。丸太は小鳥のお客樣を乘せてボツクリボツクリ音を立て乍ら流れて行きました。大分下つた頃です右側の岸から

「何處へ行くの?」

と聲をかけたものがあります。

それは仲良しの青い帽子を冠つた小鳥でした。

「僕は下へ見物に行つて來るんだよ。君も一緒に行かないか」

「氣をつけないと下は危い所があるさうだから」

「あゝ、有難う、ぢや行つて來るよ」

ボツクリ〳〵相變らず丸太は流れ乍唄を歌つて居ます。

「隨分長い川だ、何處まで行つたら、おしまいになるんだらう」

ソロ〳〵小鳥はあきて來ました。その時ゴーツといふ物凄い音が下の方で聞えて來て乘つてゐた丸太が激しくグラ〳〵と動き出しました。

「さあ大へん、今のうちだ」

斯ふ思ふとパツと、そばの高い岩に飛び移りました。

「あゝ怖かつた」

今まで自分の乘つて來た丸太を見ると不思議々々グル〳〵と川の眞ン中で廻りはじめて見てゐるうちに逆立ちになつてグル〳〵廻りながら川の底へ吸ひ込まれてしまいました。

「變な事があるものだ」

小鳥には何が何やらサツパリわかりません。

×　　×

さあそれではこれから私が小鳥に代つてお話をしませう。

川下の村の人達はいつも川のずつと奥の奥の方にある山へ丸太をきりに行くのでした。だが車や馬の通る路もないのできつたその丸太は川に流して村まで運ぶのでした。それが何時の頃からか幾らきつて流しても流しても一本も村まで流れて來ないのです。

「これはおかしいぞ」

村の人達は大勢寄り集つて相談をしました。

「こんなに幾らきつても〳〵流れて來ぬ樣では骨折り損の疲れもうけだ。一度流す丸太と一緒に川を下つて見たらわかるだらう」

といふ事になつて或る日の事五六人の元氣な若い人達が岩から岩と渡り乍ら丸太と一緒に川のふちを下つて來ました。

恰度赤い帽子の小鳥が丸太の沈んで行くのを見たところまで來てその人達も矢張り其處で丸太が沈んでしまふのを見つけました。

「あゝコゝだ、コゝだ、しかし何だか物凄く深さうな、氣味の惡いところだな」

皆の樣に首をすくめてのぞき込みました。青黒い水が渦を卷いて何ともいひ樣のないおそろしい淵です。村の人達は又大勢集りました。

「誰かあの淵へもぐつて見る人は無いか」

皆顔を見合せて默つてしまひました。

見て來た人は尙更のこと、話に聞いた人達まで氣味惡く思つたからです。その時部屋の隅の方から

「私がやりませう」

と叫んだ者があります。それは村でも評判の孝行者で水もぐりもなか〳〵上手な幸吉といふ青年でした。

「幸さん大丈夫かい」

「えゝきつとしらべて來ます」

「それでは頼んだよ、氣をつけてな」

大勢の村人は幸吉を取りまいて翌朝村外れまで見送つて來ました。

幸吉は敎へられた深い淵まで來ると岩の上からしばらくジツと水を見てゐました。その時また上の方から一本の丸太が流れて來ました。幸吉は裸になりました。丸太が逆立ちしました。幸吉は飛び込みました。沈みかゝりました。そして丸太と一緒に沈んで行きました。

×　　×

一方村の人達は村外れに集まつて幸吉の歸りを今か今かと待つてゐました。日も暮れかゝる頃幸吉はカラになつたお辨當箱をぶらさげて歸つて來ました。

「あゝ幸さんだ幸さんだ」

皆ワーツと聲をあげました。

幸吉の話によると、川の底へ丸太と一緒に深く〳〵沈んで行くと一人の美しいお姫樣が白い衣を着て坐つてゐました。よく見ると何百本とも知れぬ澤山の丸太を積み重ねた上に坐つてゐるのです。

お姫樣は幸吉を手招きして云ひました。

「私はこの川の主ですが社がありません。社を作つて下さつたらこの丸太はお返しします。これからも、もう材木は沈めません。社がないので居るところがないのです」と淋しさうに話しました。

幸吉は社を造る約束をして歸つて來たのです。

村人は幸吉に厚くお禮をいつて早速その翌日丸太の沈む淵の岩の上に小さな社を造りました。すると川の底から澤山の丸太が浮上つて來ました。それからは流す木は一本も間違ひなく村へとゞく樣になりました。

×　　×

矢つ張りよく晴れた日です。赤い帽子の小鳥が新らしく出來た小さな社の前でキヨロ〳〵珍しさうに眺めながら話してゐました。

「これはいゝ又遊ぶ場所が一つふえたよ、ねえ君」＝をはり＝

テンテンテマリ

はら・やすを

百四 百五… 百六 百七

アラトンジヤツタ…

オツコツチヤタ サアタイヘンダ

ココハオクニノナンビヤクリハナレテ…

ワンワンワン

イヤナイヌダナァ

ガツチヤン イターイ

オヤオヤジテンシヤカラマリガオチタヨ

ウレシイウレシイボウヤノマリヨ

イイワボウヤガヨロコンデイルノニトツチヤカワイサウダカラアゲルワ

アカンボウガマリヲトリマシタヨ

連載漫畫　ボンヤリポン助チヤン　(帽子屋)

セイ坊

1　イラツシヤイマシ

コンチ今日ハーボウシヲチヨウダイ

2　オカシイナァモツトモツトタクサンミセテヨ

ソレハヨクニアイマスヨ

カガミ

3　ドレーシヨウカナエート

4　ヤツパリコレガイイコレハイクラ

ワツ ソレハボツチヤンガキテクルトキカブツテキタボウシデスヨ

1

2　ワァ!カゼデフキトバサレタァー

タスケテェー

3　オヤヘンナナカマガトンデキタゾ

4　コウモリガサノオフネバンザァーイ

ヨフ

第十四回　こどもの考へもの　どちらの端(はし)を持つてきつてゐるか

みなさん、寫眞をよく見てください、いまハガキをハサミできつてゐますが、紙のどちらの端を手で支へてゐるのでせう?、右ですか左ですか、わかつた方は來る九日までに大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附録係」あてにハガキでお答へなさい、いつもの樣に二十名に限りご褒美を差あげます

ご褒美の中の森永製のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱は必ず…

第十二回の答　自轉車のり

第十二回は自轉車にのつてゐる人を眞上からシヤシンにとつたものでした、相變らず皆さんがよく當てるので、今度も籤をひいて左の人々にご褒美をあげることにしました、當籤の方には本社から直接お送りしますが、大連の方にはハガキを差上げますから本社でそれと引きかへにご褒美をお受けとりください

×　　×

手工　焰(ほのほ)の上(うへ)でくる〳〵まわる花(はな)の傘(かさ)

けふはローソクの焰のうへでクル〳〵まわる花傘の作りかたをお敎へいたしませう、先づ古ハガキのうへに直徑三寸の圓をかき(中圖)のやうに中心から周に向つて約四十五度ほど切りとります、次に六七箇の梯形を描き、その點線のところだけを殘して他の實線のところを小刀で切りぬきます、こうして出來た車形は(乙圖)の樣にジヨウゴ形にはつて梯形は點線のところから斜に上の方に折りあげます、今圓形の臺の眞中に火箸のやうなサキのとがつた棒を立て、これにジヨウゴ形の傘をのせ、下からロウソクをともしますとその傘はクル〳〵と廻りはじめます、ではどうして廻るのでせうか、わからない方はお家の方か先生におききなさい、なほ傘にクレイヨンで色をぬれば一層うつくしいわけです

夏休(なつやす)みに働(はたら)いて兵隊(へいたい)さんに献金(けんきん)

三重日赤少年團員

毎日々々の新聞や雜誌にあらはれる我が日本の兵隊さんの大變な働きは、滿洲にゐる子供のみなさんはじめ、内地の子供達も大へん感心し、兵隊さんの働きをありがたく思つてゐます、そうして慰問金や慰問品の募集のときは一番さきになつて働いてゐますが、伊勢の桑名郡野代村にある三重日赤少年團では夏のお休みを利用して、お百姓のお家にお手つだひに行つて、田をたがやしたり、蠶を飼つたりしてためたお小遣ひを集めて七圓十五錢のお金が出來たので、少年團のひとり〴〵が滿洲にゐる兵隊さんをなぐさめるやさしいお手紙を書いてお金と一しよに、伊勢の津の聯隊區司令部に送りましたがこのやさしい少年達の行ひにはさすがに強い司令部の兵隊さん達も泣いて大よろこびをして、さつそく滿洲の兵隊さんに送るやうに手つゞきをしたさうです

…すお菓子やさんの支那事變の「[illegible]兵士を勞りませう」と書いた箱にお入れください

當籤者

▲奉天稲濱町原昇 ▲長春露月町大石重生 ▲蘇家屯驛山内實 ▲大石橋永昌街宮本義滿 ▲奉天若松町大竹孝子 ▲金州八里庄有馬四郎 ▲旅順市千歳町茂木武美 ▲旅順市乃木町臨光千代子 ▲大連市吉野町長谷川よし子 ▲大連市三河町中村惠美子 ▲大連市二葉町渡邊ヨシエ ▲大連市須磨町宮西一子 ▲大連市外星ケ浦立花豐吉 ▲大連市花園町井上登 ▲大連市東公園町國森美津子 ▲大連市淡路町高橋キヨコ ▲大連市沙河口白金町森高博德 ▲大連市鳴鶴臺杉山繁三 ▲大連市眞金町寺岡テイ ▲大連市大江町大松キミエ

アジアノカミサマ

コレハ インドシナ ニ アル『ベイヨン』トイフ タテモノデ、クメルジン トイツテ イマカラ 二千ネン モ マヘニ ビルマ ノ クニ カラ ウツテ キタ ヒトタチ ノ シソン ガ 千二ヒヤクネン マヘ コシラヘタモノ デス、ココ ニ ホリツケテ アル オホキナ カホ ハ『アジア ノ カミサマ』デス ガ ズツト ムカシ デモ コンナ リツパナ ホリモノ ガ デキタ ノ デス カラ オドロク デハ アリマセンカ

大昔の人のお墓　ドルメン
今の人も及ばぬ昔の人の努力
滿洲に七つもある

昔々、とても大昔の人々は、大きな石や岩を神樣のやうに尊んでをりました、天照大神が、天の岩戸の中にお隱れになつたことは、よく皆さんも知つてゐることでせう又皆さんは小さいとき、よくお母さまやお兄さまから、桃太郎さんの鬼ケ島征伐のお話をしていただいたことゝ思ひますが、その鬼ケ島の恐ろしい赤鬼や青鬼は、あちらの岩影、こちらの岩影に住んでゐたとお話して下さいましたでせう………

エジプトのピラミットを知つてゐますか……西洋の文明はエジプトから生まれたとまでいはれてゐるエジプト、そのエジプトのピラミットは、今から五六千年も前に何萬人といふたくさんの人々の力で大きな石やれんがを積み重ねて造つた大きな〳〵方錐形のお墓なのです、これはエジプトの王樣のお墓です、このピラミットもやはり石を尊んでゐた證據であります、この滿洲にはピラミットのやうな立派なものはありませんが、そのかわりドルメンといふものがあります、やはりドルメンも大昔のお墓の一種だといはれてゐます、ドルメンについては奉天教育專門學校附屬小學校の久原市次先生がくわしく調べられてゐます、今日は久原先生のお書きになつた御本によつてドルメンのお話をしませう

ドルメンは大へん大きな石でつくつたもので、テーブルの形をしてゐます、つまり三つか四つの豎石に大きな天井石が支へられてゐるといふ形であります

溫泉のある熊岳城南方の許家屯附近にあるドルメンの天井石の大きさを測つてみますと、長さは實に八メートル四二、幅五メートル六五、厚さ五四センチといふ大きな石で、試みに比重を二、六としてこの石の重量を計つて見ますと、實に七〇メートル噸もあるのです今日のやうに電氣や蒸氣でどんどん色々なお仕事が出來て行く時代でも、さて……いざこの大きな石を運ぶとなると、なかなか大變です、それだのに、今から五六千年も、又は一萬年も前に――何の機械もない、唯人間の力だけをたよりにしてゐる大昔の人々が、どうしてこの大石を運んだことでせうか、非常に不思議に考へられますが、又非常に興味のある問題ではありませんか、このドルメンには文字が書いてないので何のために造つたものやら、また、いつの頃のものかもわからず、昔の本にも何にも書いてないので全く雲をつかむやうな話ですが、多分これはお墓の一種だらうと今の人々が考へてゐるだけです、それにしてもこんな正體の知れない、不思議な怪物が、南滿洲のあちらこちらに實際今の世までのこつてゐるとは大へん面白いではありませんか

さて、南滿洲にはあちらこちらにドルメンが殘つてゐると言ひましたが、まづ關東州內から申しますと、大連から金州をすぎて、貔子窩といふところへ行く鐵道線に、金福線といふのがあります、この金福線の沿線で、普蘭店管內の亮甲店に二つあります、それから南滿洲鐵道の本線では萬家嶺の東南方に一つ、それから前に申しました許家屯に一つ、續いて析木城に二つ、大石橋の北の方、分水驛の東に一つ、つまりみんなで七つになります

こんなドルメンは滿洲だけにあるのではありません、ヨーロッパの方ではイギリスにも、フランスにも、又その他西部ヨーロッパにもあります、たゞ東部ヨーロッパには見つかりません、それからアフリカの北部にも、またアメリカにもあります、アジア地方では滿洲と朝鮮とに一番たくさんあります

そして滿洲にあるドルメンは朝鮮の北部の平安南道や黃海道にあるドルメンもよく似てゐますから、大昔、滿洲から朝鮮方面にかけて住んでゐた人類は、同じ種類の人であつたと考へることができます………

日本の內地にもドルメンのやうに大きな石で作つた大昔の人々の遺跡がありますが、滿洲あたりにあるドルメンとは、少し樣子が變つてゐます、さうして同じ系統のものはまだ見つかりませんから、日本の島に人間が住むのが滿洲あたりより遲かつたか、あるひは少し人種が變つてゐたものと思はれます

次に少しお話しなければならないのは、今から五千年――または一萬年前ころ、この地球に住んでゐた人たちのことですが……ドルメンを造つた頃の人類はどんな生活をしてゐたのでせうか、今、ドルメンの附近から出てくる遺物には色々の石器があります、石器といふのは石でつくつたいろ〳〵の道具のことでして、それで學者はこの時代を石器時代といつてゐますが、石の斧だの、石の庖丁だの、石の矢ぢりだの、石の劍だの、それから石の槍だの、石のおもりだの、石の鏃だの、石の臺だの、いろ〳〵なめづらしいものがドルメンのあるところからはたくさんみつかります、これはみんな石器と呼ばれてゐます、その他に木でつくつた色々の道具もたくさんあつたことゝは思はれますが、何分大昔のことですから、みんなくさつてどろになつてしまつたことでせう、滿洲で見つかる石器はみんな大變きれいに磨かれてゐて、石の庖丁の中には、とてもすばらしく、今にも切れさうなものもあります、日本內地や朝鮮から出る石器も同じやうによく磨いてありますが、ヨーロッパやアフリカのものは磨いてないものが大變多いやうです、大昔の人々は始めのうちは、自然の石だ、手ごろのものをそのまま使つてゐたのですが、しまひには磨きをかけて使ふやうになつたものと思はれます

ところが、こんな石器は今でも、滿洲の土人や、北極のエスキモー人などが、さかんにつかつてゐるから面白いではありませんか、土人や、エスキモー人たちは、いまだに石器時代そのまゝの生活をつづけてゐるのです。

又このほかに土でつくつた道もたくさんつかつたと見えて、藥をかけない粗末なお皿や、とつくりや、おちやわんが石器といつしよにたくさん出てきますが、これもまた大ていはこわれて、形が全部そろつてゐるものは大變まれです、土器には表に、直線や、斜線や、曲線、點線などで、ちようど幼稚園の子供が書いたやうな、簡單な模樣がかいてあります。

大昔の人々は今までにお話したような石器や、土器や、木器をつかつて、毛のむしやくしやはえた恐ろしさうななりをして、木の實をたべたり、鳥やけだものゝ生の肉をたべたり、お魚を生でたべたりしてゐたのです、そうして、何のためか、あの大きな石のドルメンを造り、今の世にまで殘してゐたものです、おそらく、大昔の人がドルメンを造るときの努力は、今の人がヤマトホテルや、東京の丸ビルや、ニューヨークの摩天樓を造るより、ずつとむつかしい仕事だつたことゝ思はれます、何と人間の力は恐ろしいではありませんかみなさん、私達も大昔の人々がドルメンを造ることに一生けんめいであつたやうに、數千年、數萬年の後の人々から感心されるやうな立派な仕事をしやうじやありませんか。

寫眞の說明

（い）分水（大石橋の北）附近のドルメンで西側から見たもの（ろ）これを東側から見たもの（は）亮甲店（金福線）附近のもの（に）析木城のドルメン（ほ）鐵嶺の帽峰山から掘り出した石斧で長さ二十二センチ、幅七・五センチもあります

ドウブツやきうせん

水島爾保布

ぞうクン トールイ セイコー

キャッチャー かばクン

おさるクン ショート

バッター りすクン ストライキ

「けもの」の速やさ　シカさん一番

けものの中で一番はやく走るものはなにでせうか、今まで一度もはかつたことがないので誰もわかりませんでした、たゞ犬や、鹿や、馬は大へん早くはしるけものだとされてゐただけです、ところが、最近鹿が一番早いだらうといふ學者が現はれました、その學者はアメリカの田舍に住んでゐるギムビイ博士といふ人ですが、或る日自動車で山のふもとを走つてゐるとさつぜん一匹の鹿が現はれて自動車と競爭をはじめました、そして自動車が一時間に五十五哩の速さで走つてゐるのに、どん〳〵ついて鹿は走りつゞけました、つまりこれは、鹿の一時間の速さが五十五哩だといふことになります、今までにわかつてゐるけものの速さは、一八九〇年にアメリカのある競馬のとき、ホップ、ウエイドといふ馬が四分の一哩を二十一秒四分の一で走りました、これは一時間の速さが四十八哩にあたりますまた犬のうちでは同じく四分の一哩を二十五秒ではしりました、これは一時間の速さが三十六哩ですさうしますと、今のところでは動物中のスピード王は今度ギムビイ博士と競爭した鹿だといふことになります

歩くより遅い自動車

自動車といへば大變はやくはしるものと誰でも考へてゐます、さうして、急用があるときには自動車に乘るとたいてい間にあうものと考へてゐます、ところが、トルコ共和國のボロウといふ町では、自動車は大變人をひいたり、衝突したりするから、一時間に三哩以上の速力を出してはいけないといふ命令を出しました、このためボロウの町の自動車はお客さまをのせて、まるではうやうにして町を動いてゐます、さうして、急ぎの用事があるときには、歩いた方が早いさうです、自動車の方が人の歩くよりもおそいのは、世界中でこのボロウの町だけでせう

アメリカの年寄調べ

アメリカの國勢調査局で今度アメリカに住む人の百歳以上の人を調べましたが、百歳以上の人が三千九百六十四人もゐました、そのうち二千四百六十七人はクロンボーで、一千百八十人はほんとうのアメリカ人で、その他の人が三百十七人でした、ところが十年前にはもつと多く四千二百六十七人も百歳以上の人がゐました、もう一つおどろくことにはアメリカは日本のやうにキチンとお役所がしらべてゐないので中にはあまり歳をとりすぎて、自分の歳をわすれてゐる人もすくなくないといふことです。

ケフノツクワ

オマンジユウ
ノヤウナオヤネノアルインド
ノオテラデスクレイヨンデキレ
イニヌリマセウ

夜はながし

ふとみいる背皮の文字や夜半の秋

下冷えや足音遠し店の番

碁より戻りて気づきたり ふと 小手の冷えを

秋の蛾の溺るよ湧く笑ひ聲

讀みふけて肌冷えを知る栞かな

琴の音や洩れ灯ほの暗き [illegible]壁

賑やかなワルツよ夜長忘れけり

新漫談小說　朗らかに笑へ

山野一郎作

減俸から首、ルムペンから自殺などはまだしとやかな方です。減俸から爭議、爭議から陰謀、陰謀から泥棒、泥棒から殺人、殺人から死刑——これが荒々しき記錄を殘す方であるが、文明に伴ふものは失業者で、一つの小さな機械が發明されると世界中に何萬といふ失業者が生れる。そこに血生ぐさい生活戰線の犧牲者が橫たはる譯になる、ボクはもつと無邪氣なものを發明した、人間の職業を奪ふ樣な殺人的發明とは違ひます、先づボク自らが博士論文を目下執筆中であるが、これが實現されるさいとも皆樣はほがらかになつて御暮しになれます。

失業が何だ！死が何だ！
不景氣が何だ！死が何だ！

ボクはパイパアービル博士として自己紹介するためにボクの一大偉業の結果を先に公開します。

幕開く。中央手術室を見せ、上手に受付老事務員、グロテスクな顔のこしらへにて居眠る。患者Aの外三名の男女順を待つ。間、博士の說明を熱心に聞く。白髯を胸になびかせた老博士

博士「と云ふ譯であります。と云ふ譯がどう云ふ譯かと云ふ譯は言葉が酩復し誠に聞きぐるしいぢやろが、マア聞きなさい。人と生れて不老不死を望まぬものはない今の世にも之を望み昔の人もこれを望んだであらう、醫學があらゆる學術のうち最も速かに發達したのも死に度くない爲である」

患者「ハックショイ」

博士「と噫をしたトタンに藥を飲むのも死にたくないためである諸君よ、不如歸の浪子は何と云つた、人間はなぜ死ぬんでせう生き度いわ千年も萬年も。諸君よ喜び給へ諸君は永久に不老不死である。デハこれから吾輩の學說を發表しやう。若返り法の博士ヴオロノフ氏は睾丸の移植に成功したとは諸君も新しい記憶でせうわしもやはり外科手術に依つて眼でも足でも戀に破れたハートでも取かへる事が出來る。であるから私の住むパイハー村には一人も老人がゐない。只このわしだけぢやで何時も若い男女が戀を語つたりして幸福な生活を繰返してゐる、不老不死の實現されて居るのはわしの村だけぢや。人間の心臟とか腕とか、マア自動車で云ふ、部分品は死刑囚のを申受けるのぢや」

患者一同立ち上り思ひ／＼に申出る

患者(A)「先生、お願ひですから戀に破れたこのハートを取かへて下さい」

患者(B)「(六十歳前後の老婆)先生お願ひですから失はれました處女の純潔さと水もしたゝる樣な美しさを御與へ下さいまし」

患者(C)「先生私にも失はれました財產を御與へ下さいまし」

博士「これ／＼あわてゝはいけません。いくら博士でも物質上の御救助は出來ぬ。マア待ちなさい物には順序がある、一番の御婦人貴女御希望は何ですかな」

聲樂家「アノ私は聲樂家でございますが近頃とても聲量が落ちましたので先生の手術によりまして聲帶の故障の部分を取かへて頂きたいと思ひまして……」

博士「ハハア、聲量が落ちたのですなア誰か他の醫者に見せましたか」

聲樂家「イエ、別に醫者には見ていたゞきませんでしたが、宅が易者に見せ貰つた方がよからうと申しますので」

博士「タクと云ふのは何ですか飜譯して圓タクとでも云ふのですか、日本では」

聲樂家「イヽエあの夫の事でございます」

博士「アーさうですか、それで易者は何と云ひましたれ」

聲樂家「アノ、こう申しますのでございます」

博士「どう云ひましたれ？」

聲樂家「エ、、アノ、その結婚以來聲量が落ちましたと申しました處、それでは貴女は御夫婦御圓滿の結果の現れがカクもさうさせたのぢやと申しますのよ」

博士「ハハア、夫婦圓滿な家庭生活に貴女のエネルギーの大部分が消もうされ盡くされカクも聲帶に戀化を示したと、醫學上の見地から云はれたのぢや」

聲樂家「醫者ではないのです」

博士「ア、易者でしたれ、デハ何故に聲量が落ちたと云ひました」

聲樂家「ツマリ易者の申しますには、御夫婦御圓滿ですかつておつしやいましたからハイつて御答へしますとガッカリ遊ばして貴女は常に旦那樣と睦言のみかはされる睦言は御存知の通り大きな聲では語りません、それが爲に發聲法をお忘れになられたのだから御主人と喧嘩をなさらない限り再びステージへ立つことは出來ないと申ますの、私再びステージへ立ち度いのですが、戀愛結婚ですから喧嘩だけはしたくありませんわ、兄や妹にホーラ見た事かつて申されますもの、オー愛する吾夫よ！」

博士「よろしい、もうそれでよろしい、これ以上話を繼續する事は他の患者に如何なる影響を與へるかも知れん、それはれ（博士頭をかき乍ら）事實上に於て發聲法を忘れたらしい。しかし愛する夫と喧嘩をしてまで發聲法を練習することもあるまい。よろしい、手術をして上げます。オイ（助手を呼ぶ）この御方を手術室へ御案內しなさい」

助手「先生なんで締めませう」

博士「そこの荒繩で締めろ」

助手中央にかけてある荒繩を取り室へ入る。他の患者靑くなつて顏を見合す「痛いよう」と云ふ聲聞こえる。患者一同立上つて去らうとする。博士これを押止め

博士「オイ一寸待て（さらに患者に向つて）サテ皆さん一見まことに慘忍なる手術のやうであるがこゝにかういふ機械が發明されたのぢや（ラヂオセットと同型のもの）目下當局に於て頭を惱ませてゐるこの都會の騒音防止がこの私の機械によつて實現される時代は決して遠くはない。オイその戸を開けて御覽（助手來て戸を開ける戸外の騒音聞こゆやがて戸を締める）文明人が短命であると云ふ事は、この都會の騒音が如何に人體に影響してゐるかと云ふ問題を學說で發表してゐる、然るにこの機械は騒音防止機である殺音器ぢや然し必要なる音響のみを利用するさ（博士自ら窓を開ける、騒音聞こえる、調節機を廻す、次第に騒音殺音されて音樂に變る）どうぢや廢物利用ぢや。彼女の手術にもこれを利用する」

手術室から痛いようと云ふ聲、次第にソプラノに聞ゆ、他の患者聞きとれてアンコールをやる

博士「どうも痛いようのアンコールは困るから誰か他の方を締めませう」

患者逃げ仕度をする

博士「それは冗談ぢや、ハ、、、、、」

聲樂家博士に禮を述べて歸る。

博士「お次の若いお方、貴男は何處がお惡いのぢやれ」

靑年「エ、、斯う申上げると氣でも狂つてゐるのぢやないかと思はれるかも知れませんが、實は私を二た目と見られない醜形にして戴きたいのです」

博士「ハハア、これは珍しい申出ぢやれ見れば立派な靑年ぢや、好男子ぢや、何かそれには仔細のあることぢやらう」

靑年「實は持つて生れた器量が身の仇となり、知らず／＼のうちに罪惡を犯すやうになりますので一層一思ひに死んでしまはふかと思ひましたが、先生の御高名を新聞で知りましたので成らうことなら老人にして戴きたいのです」

博士「ハハアなか／＼感心な心掛ぢや」

と博士患者の控へ所を見て老患者に向ひ

博士「そちらの御老體貴公の御希望は何ぢやな」

老人「エ、私は一寸申上げにくいのですが、此處に居ります此婦人（と傍らの婦人を指す）と近く結婚生活に入ることになつて居りますが、御覽の通り六十を越した見る影もないこの親爺とまだ二十にもならない少女とは餘りに不釣合ぢやで、一つこの私を若くしていたゞきたい、一目見た時好きになつたのよつてな好男子にして欲しいのです如何です先生」

博士「して出來んことはないが醫は仁術である、みだりに利用され度くはない、この御婦人は貴方と結婚される事は恐らく望んでは居りますまい」

老人「何を望まうと望むまいと貴公の知つた事ぢやない、この婦人が好くやうに直すのが貴公の仕事ぢや、金さへ出せば文句はあるまい、それが出來なければ詐欺だぞ、ヤイ何とか云へ、金は貸す程あるぞ、俺は金貸だ」

博士「マア／＼お靜まりなさい、それではそこのお若いお方ぢや、此御方は貴方と反對の申出ぢやから、この方の若さも美貌も總てを取替へませう」

老人は靑年をジロ／＼見て居たがサモ滿足さうに微笑む

老人「ヘイこれだけの若さと美しさ、素晴らしいものですれ、早速お願ひ申しますよ」

博士「よろしい、では御二人さん手術室へ御入り下さい」

二人手術室へ入る。トタンに舞臺暗轉ドンチヤンガチヤンの大音響にパッと舞臺明るくなり、兩人手術室よりフラ／＼にて出て來る。

博士「よろしい、御二方とも變りましたからお歸り下さい」

老人朦朧として下手へ入る、靑年は娘と共に嬉しさうに退場

博士「アハ、、、どうぢや皆さん、凄いぢやらう、併しあれはインチキ手術と云ふ奴だ、二人共替へたのぢやない、音響と光を利用したマア錯覺ぢやな、面白いなあの强慾な親爺が一人でトボ／＼貧乏な靑年の家へ歸り、若い男女が嬉しさうにいそ／＼と、然も金持ちの家へ歸つたのぢや、今にあの老人が、どなり込んで來ますぞ、これからが面白いのぢや」

やがて足音高く老人プン／＼しながら登場

老人「ヤイ、この野郎、ふざけた事をするない、大手術なぞ大法螺を吹きやがつて手を拔くない、タヽキ大工だつて斯うまで手を拔かねえ、どう考へても俺はやつぱり俺ぢやないか、事もあらうにあの若造にあの娘までやつて仕舞やがつて、サア勘辨ならねえ」

博士「マア／＼さうお騒ぎになつては困ります」

老人「ナニ、これが騒がずに居られるかい、此インチキ博士め」

博士「マアお聞きなさい、御腹をお立てになつてゐる貴方は手術前の貴方ぢやない、手術前の御老人になりました、現在の貴方は手術前の靑年です」

老人「何でもいゝ、手術前の俺が靑年であらうが何であらうが、俺は我慢が出來ねえ。サアあの娘を返せ、もつとも俺が元の靑年だとすれば娘を返せと云ふ權利はないが、ア、俺はいよ／＼解らなくなつた、俺の頭は狂ひさうだ、あの若造があの娘と睦まじく暮して居るさまを俺は殘念で見ては居られない。俺がさつきの俺でないにしても、此儘にはして置かぬ。さうだ、俺は手術前の俺の惡事を知つてゐるぞ、それも今となつてはあいつの惡事になる理屈だ。俺はそれをしやべつてやる（老人他の患者に向つて）皆さん聞いて下さい。あいつは、あの娘の親爺を殺してその財產を橫領したのです、然るに、どうです彼はいけづうづうしくも、その娘と結婚しやうとは何たる憎むべき奴でせう何その上に若返つて社會に害毒を流さうとは人道上許すべからざる問題です。モウこの上は彼も死刑は免れまい」

靑年登場。これを立聞く。老人の言葉終るを待つて首うなだれて入つて來る

靑年「一寸御待ち下さいまし、どう考へても夢のやうです」

老人「何が夢だ、大泥棒の人殺しめ」

靑年「貴方は何をおつしやるんです。私は人樣の物は塵一本手にかけた事はありません。こともあらうに人殺しなぞとは」

老人「貴方におぼえがなくとも俺におぼえがある、俺が貴樣になる前に、つまり手術を受ける前にあの女の親爺を殺したのだその財產を橫領したのだ。錯覺を起すなよ。手術前の俺のした事はお前の罪になる。サア自首しろッ」

博士「成程、これは聞けば聞く程面白い。御老人、貴方はなかなか探偵趣味をお持ちですな。それ程の證據があれば罪は明白です。併し、いよ／＼靑年が自首するとなれば、若くて美しいあの娘さんはどうなりませう。それから巨萬の財產はどうなりませう。この御婦人は誰を頼りに暮します。御老人貴方がこの婦人と結婚なさつては如何です。御互に顏見知り會ひと云ふだけでも緣が深い。それに父親の下手人まで發見したのですから」

老人「それは願つたり、かなつたりです」

博士「お若い御婦人はお若い方を好む。どのみち、この靑年は死刑を免れませんから、ムザ／＼あの若さと美しさをはうむつてしまうのは殘念ですから、どうでせう、もう一度手術することにしませう」

老人「よろしい、人正に死なんとする時その云ふやよし、善は急げだ、先生氣の變らない裡に早く手術して下さい」

博士「よろしい、デハ此方へお越下さい」

老人靑年を連れて急ぎ手術室へ入る

ドシンバッタンの音響にて二人共フラ／＼になつて出て來る

博士「サア早く貴方は自首をなさい」

老人急ぎ退場する、博士靑年に向ひ

博士「貴方は早く歸つて御婦人を大切にして上げなさい」

靑年考へながら漸々退場

博士「どうです諸君！あの老人は自分で自分の惡い事を仰言つて自首した迄ぢやアッハヽ、、(完)

手術室

内緒話が歩く

ブーン　あの人もやつぱりかみつくのかしら
そういへばこはい顏をしてるわ

セイ坊

近眼女史のお裁縫

佐方幸ゑがく

墨汁

十月二日　約六百名よりなる優勢なる匪賊の集團は午前八時頃より牛莊に來襲し、牛莊城を包圍して公安隊と交戰、終に城內に侵入して掠奪放火を行ふ、急報に接した我が軍では救援のため飛行機二臺を派して爆彈投下をなさしめ、又海城に一部隊を集結して牛莊に急行した▲滿洲に於ける我が鮮人同胞保護に關し、陸軍省は關東軍に對し積極的保護の訓令を發した

十月三日　東鷄冠山、孤家子大甸子方面に於て敗走兵に虐殺された我が鮮人同胞數百名に關する重松大隊よりの報告を發表さる▲袁金鎧氏を主席とした遼寧自治政府の政府委員內定す▲大連神戸を中心として日滿を股にかけた數萬圓の時計の密輸事件發覺し關係者十數名續々大連署に召喚さる

十月四日　上海の排日運動激化して全市は無警察狀態に陷り對日强暴性はます／＼尖銳化し邦貨取扱者懲罰令が制定布告さる▲コロンバイル獨立軍はハルビン西北方六百三十三キロの地點に駐屯する支那軍に奇襲を試み、遂に獨立の火蓋を切る▲パングボーン、ハーンドン兩氏の搭乘したミス・ヴイードル號は午前七時太平洋橫斷の壯途に上つた

十月五日　太平洋橫斷の壯途についたミス・ヴイードル號は午前七時十六分無事に太平洋の處女空を征服して對岸米國ウエナッチに到着す、かくて劃期的な榮冠は若きパングボーン、ハーンドン兩鳥人の手に歸した

十月六日　定例閣議に於て南支方面の邦人保護に關し、大體漢口と上海に同胞を集めることに決定され、同時に外務省より南京政府に嚴重なる抗議をなすこととなつた

十月七日　正隆銀行員毒殺未遂事件の犯人名越正吉に對して精神鑑定をなすこととなり、奉天醫大に送ることに決定す▲洮南に於て獨立を宣言した張海鵬氏は、更にチチハルの黑龍江政府に對し可及的急速に政權の引渡しを要求した

十月八日　我が飛行機は午前中錦州附近の上空を飛行し、滿蒙治安維持のため擾亂の策源地錦州政府を覆滅するの止むなき旨を書いたビラを撒布す

今週の歴史

十月二日……江戸大地震死者[illegible]二年)
人身の賣買[illegible]
ロンドン海軍[illegible]五年)
十月三日……江華島事件[illegible]
十月四日……佛國歷史家[illegible]七年)
十月五日……南北兩朝統一[illegible]
英飛行船[illegible]て航空大臣等[illegible](昭和五年)
十月六日……多田滿仲沒す[illegible]
マーシャル群[illegible]年)
十月七日……八ケ月に亘る[illegible]軍の死者七萬[illegible]四萬人と稱さ[illegible]
十月八日……岩倉右大臣[illegible]治四年)

今週の献立

	日	月	火	水	木	金	土
朝	一味噌汁 里芋 一貝の細煮 奈良漬	一味噌汁 牛蒡 卵 一鹽昆布 青菜の淺漬	一味噌汁 玉葱 一海苔細煮	一味噌汁 キャベツ卵 一大豆と昆布の煮付 一おろし大根	一味噌汁 豆腐、春菊 一燒海苔	一味噌汁 小蕪 一納豆	一味噌汁 油揚、葱 一煮豆…黑豆
晝	一鯖の鹽燒附おろし大根ほうれん草の胡麻和へ	一トースト 紅茶 果物 枝豆マッシユ	一コンビーフと馬鈴薯の煮物 らつきよ 燒茄子生姜醬油	一ひじき、油揚の煮物 お平（高野豆腐 かまぼこ）	一春雨と牛肉の煮物 大根のあちやら	一フランスパン コーヒ 中熟卵 果物	一蓮根の油煎煮 茄子の芥子漬
夜	一マカロニ、スープ 牛肉のオムレツもどき サラド（りんご、胡瓜人參）	一清汁はんぺん、そうめん、椎茸 ハムのおろし和へ サワラの味噌漬	一海老のフライ附りんご胡瓜と太刀魚の酢味噌和へ 一ポテトスープ	一豆腐、豚肉のコロケット、附玉葱のバタ煎り 一清汁 烏賊、みつば	一サワラの照燒附土生姜の甘酢 もやしの胡麻和へ 一清汁 かしわ葱	一牛肉のアイルランド煮 春菊の浸しもの きんぴら牛蒡	一栗御飯 海老のトマトソース煮 一清汁 松茸、みつば

牛肉のオムレツもどき

▲材料＝挽肉七十匁、馬鈴薯二三個、玉葱二個、卵三個、鹽、胡椒

馬鈴薯は一糎位の賽の目に切り茹でておき、玉葱は適當に切り、挽肉、玉葱、馬鈴薯をバタでいため鹽、胡椒で調味し卵のよくほぐしたのでとぢます。

枝豆マジユ

▲材料＝枝豆、莢つき五合、牛乳一合、バター、鹽、胡椒

枝豆を洗ひ鹽茹にして中實を出し裏ごしにかけ、鍋にバター小匙三杯位をとかし枝豆を入れていため牛乳を徐々に加へてねり、鹽、胡椒で調味します。

ハムのおろし和へ

▲材料＝ハム、大根、甘酢少々

ハムを纖切りにし、大根を卸して輕く絞り甘酢で調味しハムを和へる青海苔を上にふりかけるときれいです。

豆腐豚肉のコロケツト

（附玉葱のバタ煎り）

▲材料＝豆腐二丁、豚挽肉三十匁、グリンピース少々、卵二個、片栗粉、パン粉、メリケン粉、鹽、胡椒、油、バタ

豆腐はつぶして茹で布巾で絞り水氣を切り、豚肉はバターでいためておく、グリンピース、豚肉、豆腐を混ぜて卵一個を加へ片栗粉少々を入れ鹽、胡椒で調味し適當な形にまとめ普通のコロケットの樣に油で揚げます、玉葱バター煎りはバタなどが[illegible]

牛肉のアイルランド煮

▲材料＝牛肉百[illegible]、玉葱二個、鹽、[illegible]メリケン粉

牛肉は賽の目に[illegible]葱は牛肉と大體[illegible]切る）鍋に全部[illegible]にして煮る、軟[illegible]リケン粉の水ど[illegible]どろつとし鹽胡[illegible]で加減よくする[illegible]りのみぢん切り[illegible]ろしい。

海老のトマトソース煮

▲材料＝海老五[illegible]ケン粉、卵、[illegible]三個、グリン[illegible]バター、トマ[illegible]約三合

海老は背わた[illegible]イにして二厘位[illegible]當に切り椎茸は[illegible]つら纖切りにす[illegible]さかし玉葱を先[illegible]を入れていため[illegible]トマトソースを[illegible]調味し海老を入[illegible]つて直にグリン[illegible]